

令和7年度

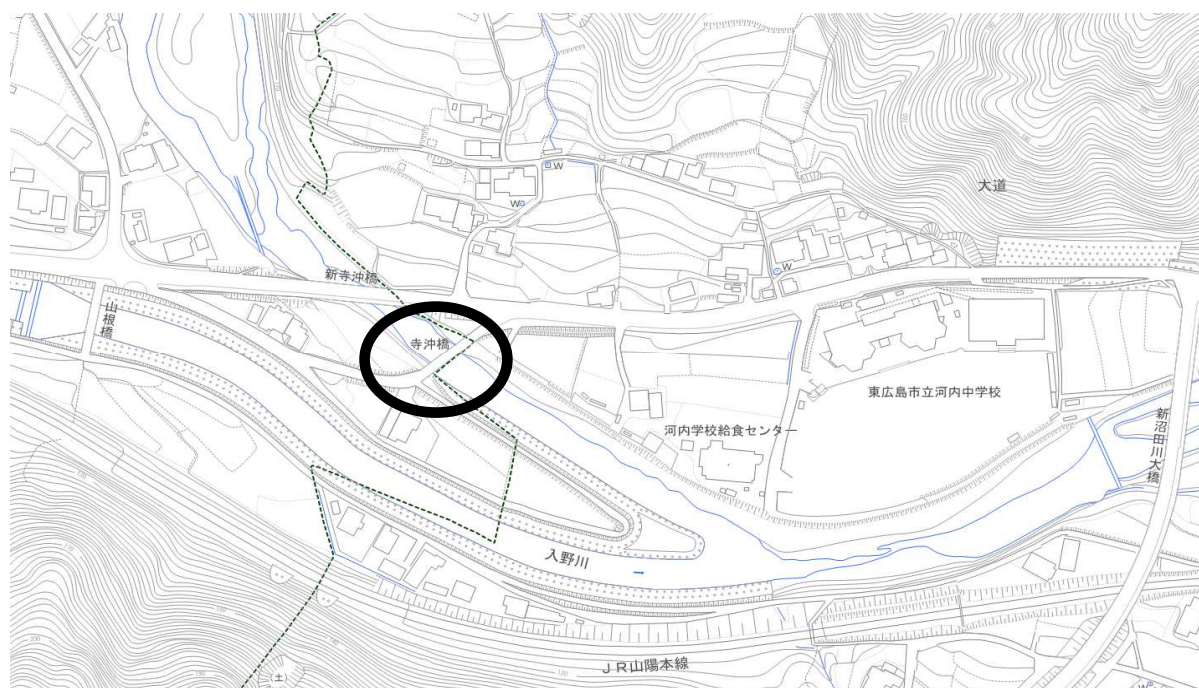
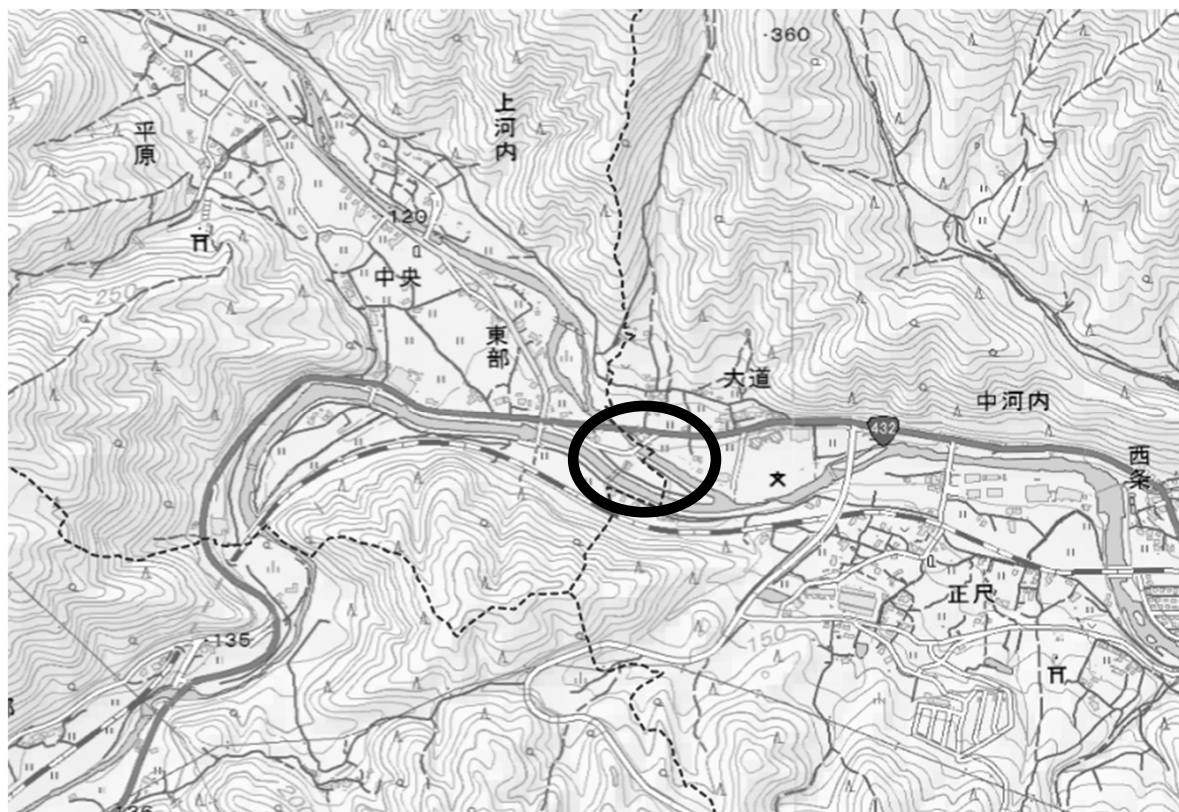
橋梁長期保全事業

寺沖橋橋梁補修工事

仕様書

施 工 箇 所 東広島市河内町上河内、中河内

令和7年度 橋梁長期保全事業
寺沖橋橋梁補修工事 位置図



特記仕様書

(令和7年度 橋梁長期保全事業 寺沖橋橋梁補修工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（発注者指定型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等
12. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 熔融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 工程
 - (1) 関係機関との協議
2. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
3. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））
 - (2) コンクリート殻（有筋）(搬出)
 - (3) コンクリート殻（無筋）(搬出)
 - (4) アスファルト殻(搬出)

第4章 施工管理

1. 品質管理
 - (1) 断面修復工

第5章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の

40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

- ・現場作業

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面（写し）を提出するものとし、更新手続き（許可内容が同じもの）の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（発注者指定型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（発注者指定型）である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushishutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

(6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協

同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」又は「東広島市週休2日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
鋼材	異形棒鋼	
セメント及び混和材		
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表

、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
鋼材	異形棒鋼	
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3. 溶融スラグを利用した資材の使用

1. 溶融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する溶融スラグ（以下「溶融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。溶融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「溶融スラグの有効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和6年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする

第3章 施工条件

1. 工程

(1) 関係機関との協議

協議内容	河川管理者（広島県）と河川占用の許可及び河川管理者（漁協）と協議後
範囲	足場施工着手

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から28日間（2人／日）を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

3. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

土砂・砂質土・礫質土

(名称) 株式会社大地リサイクルセンター第3処分場

(所在地) 東広島市河内町戸野字荏田5861

(運搬距離) 9.7 k m

(2) コンクリート殻（有筋）（搬出）

当該工事により発生するコンクリート殻（有筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 16.6 k m を見込んでいる。

(3) コンクリート殻（無筋）（搬出）

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 17.3 k m を見込んでいる。

(4) アスファルト殻（搬出）

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 5.9 k m を見込んでいる。

第4章 施工管理

1. 品質管理

(1) 断面修復工

本工事において、断面修復工の品質管理は下記のとおり行うこと。

試験項目	試験方法	規格値	測定箇所	摘 要
引張強度試験		1.5N/mm ² 以上	供試体	

第5章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当たっては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
橋梁補修工		式		1	レベル2
ひび割れ補修工		式		1	レベル3
低圧注入工法	L=56m	構造物		1	レベル4
断面修復工		式		1	レベル3
左官工法	V=2.1m3 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有】	構造物		1	レベル4
表面含浸工		式		1	レベル3
下地処理	サンダケレン	m2		530	レベル4
表面保護工（表面含浸工）	亜硝酸リチウム併用型表面含浸工	m2		530	レベル4
橋梁地覆補修工		式		1	レベル3
橋名板再設置工		箇所		1	レベル4
橋梁地覆とりこわし		m3		11	レベル4
鉄筋	D13	t		0.7	レベル4
コンクリート	24N	m3		8	レベル4
橋面防水工		式		1	レベル3
橋面防水	塗膜系	m2		190	レベル4
表層工	再生密粒度AS(20) t=50mm	m2		190	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
基層工	再生粗粒度AS(20) t=50mm×2層	式		190	レベル4
橋梁付属物工		式		1	レベル2
伸縮継手工		式		1	レベル3
伸縮部補修工		m		24.8	レベル4
水切り工		式		1	レベル3
水切り工	EPDMスポンジ	m		68	レベル4
排水施設工		式		1	レベル3
排水管	TSステンレス管	箇所		8	レベル4
橋梁用防護柵工		式		1	レベル3
橋梁用防護柵		m		68	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2		190	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	Co殻（無筋）	m3		2	レベル4
殻運搬	Co殻（有筋）	m3		11	レベル4
殻運搬	AS殻	m3		27	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
殻処分	Co殻（無筋）	t		5	レベル4
殻処分	Co殻（有筋）	t		27	レベル4
殻処分	AS殻	t		62	レベル4
スクラップ処分費	スクラップ	t		0.3	レベル4
現場発生品運搬	スクラップ	式		1	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	砂・砂質土・礫質土	式		1	レベル4
残土等処分		式		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
仮設工		式		1	レベル3
吊足場	安全ネット 板張防護 朝顔両側設置	式		1	レベル4
土留・仮締切工		式		1	レベル3
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		56	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					

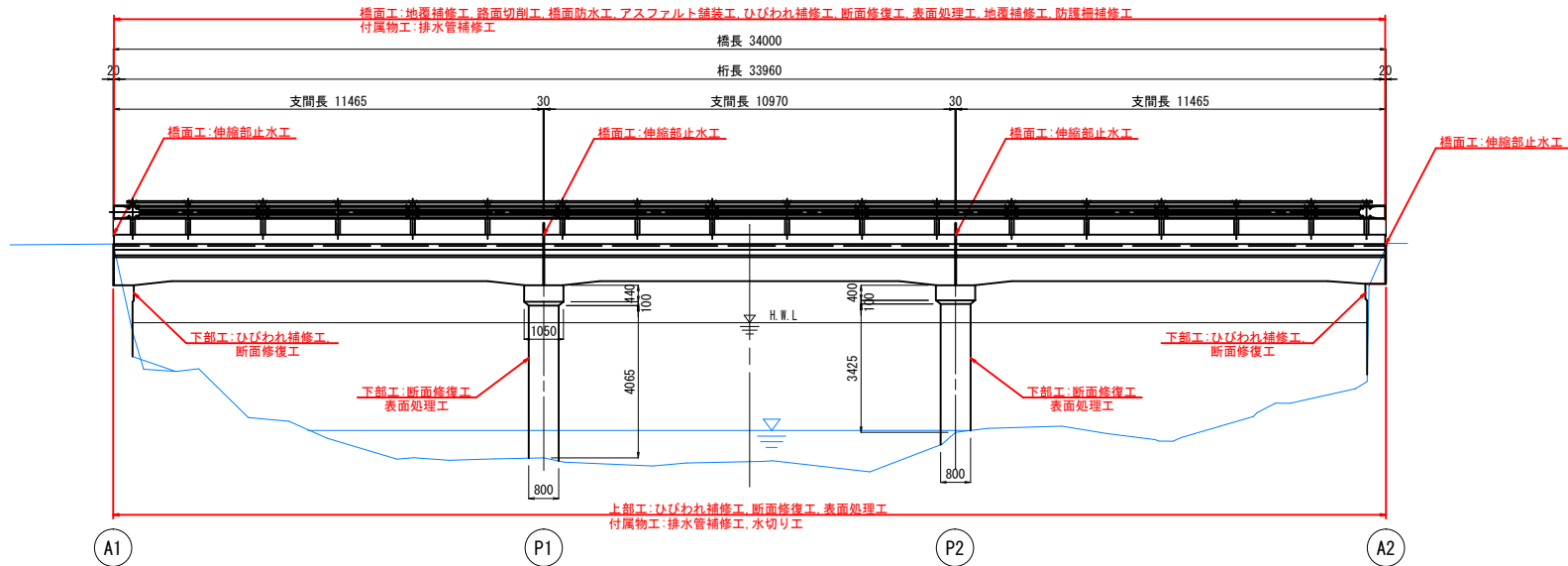
工事数量総括表

頁0 -0004

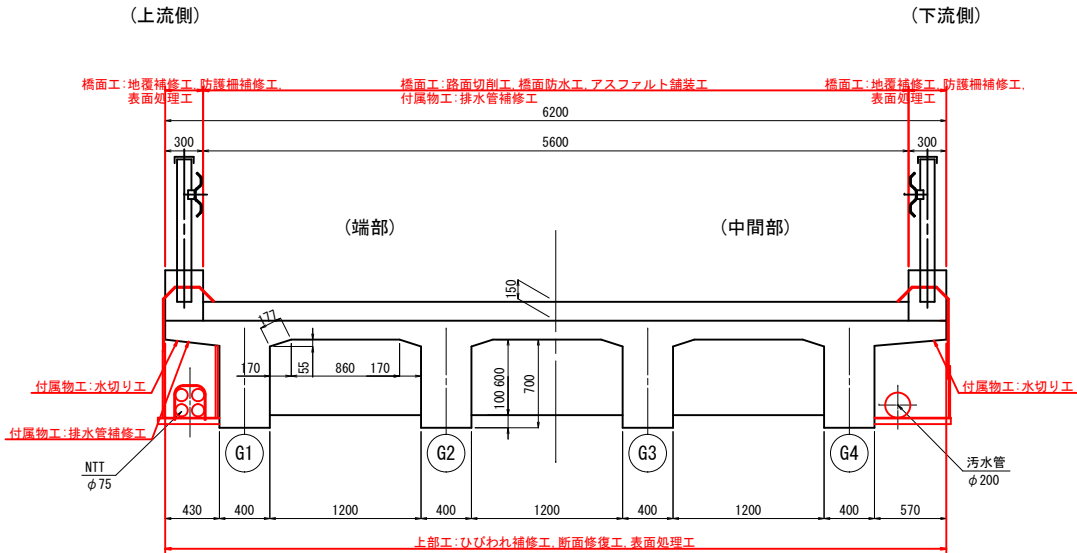
[illegible]

寺 沖 橋 補 修 計 画 一 般 図

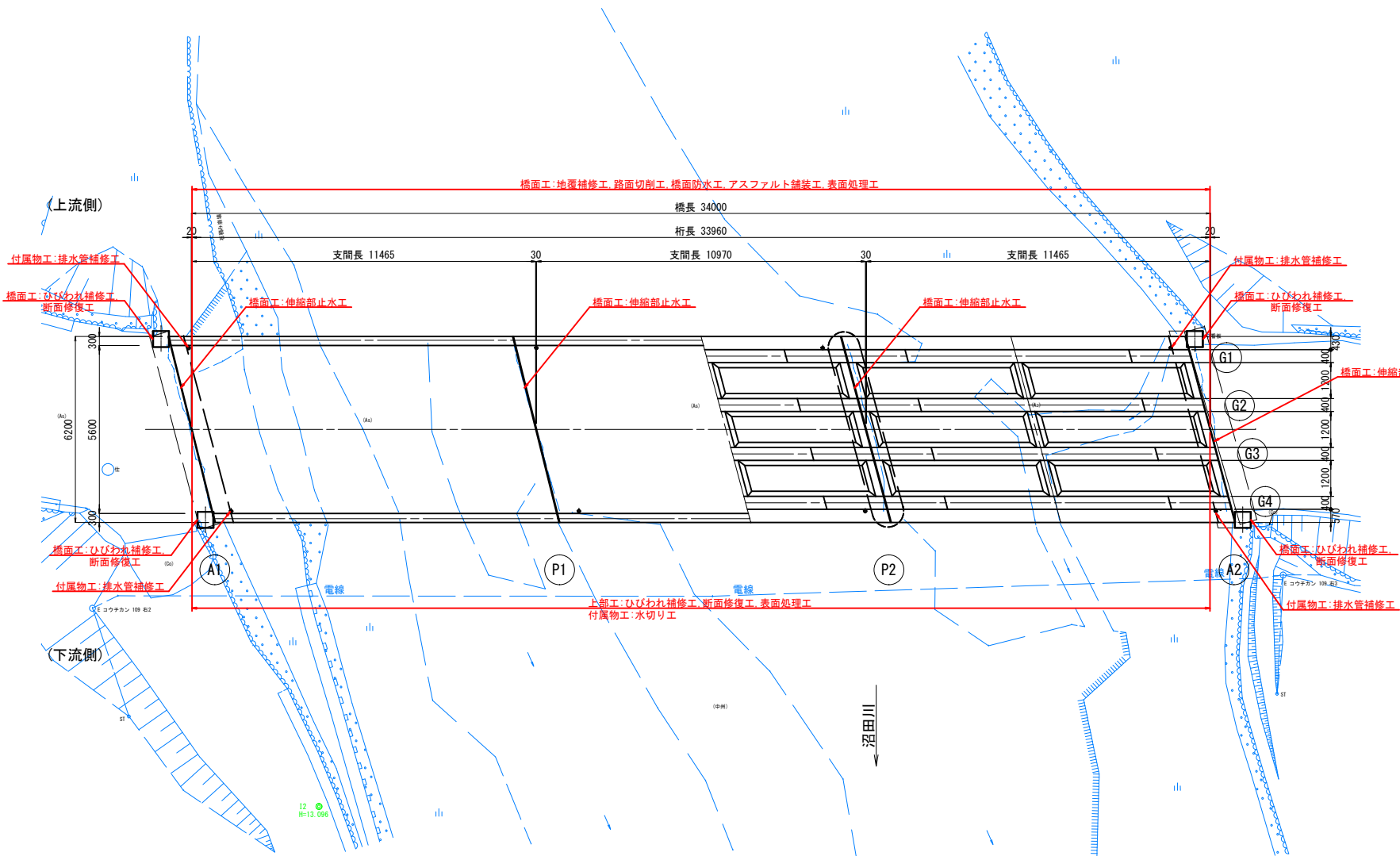
側面図 S=1:100



断面図 S=1:30



平面図 S=1:100



橋梁緒元表

路線名	下条大道線
橋 名	寺沖橋
橋 種	RC橋 (T桁橋)
橋 格	二等橋
橋 長	34,000m
有効幅員	5,600m
橋台形式	重力式橋台
橋脚形式	壁式橋脚
竣工年	1952年
交差物件	(二) 沼田川

橋梁補修一覧表

工 種	対象部材	内 容
ひびわれ注入工	主桁、床版、横桁	ひびわれ内に注入器具を使用し、亜硝酸リチウム水溶液を先行注入後、セメント系注入材を注入する。
断面修復工 (左官工法)	主桁、床版、横桁	劣化コンクリートの除去及び鋼材防錆処理後、ポリマーセメント系材料にて復旧する。
表面処理工 (表面含浸工法)	床版、地覆	躯体表面を洗浄後、亜硝酸リチウム併用型表面含浸材を塗布する。
水切り工	床版	躯体表面を洗浄後、EPDM系ゴム製面木にて新設する。
ひびわれ注入工	橋台	ひびわれ内に注入器具を使用し、セメント系注入材を注入する。
断面修復工 (左官工法)	橋台、橋脚	劣化コンクリートの除去及び鋼材防錆処理後、ポリマーセメント系材料にて復旧する。
断面修復工 (左官工法)	基礎	土のう締切を行い劣化コンクリートの除去及び鋼材防錆処理後、ポリマーセメント系材料にて復旧する。
表面処理工 (表面含浸工法)	橋脚	躯体表面を洗浄後、亜硝酸リチウム併用型表面含浸材を塗布する。
ひびわれ注入工	観柱	ひびわれ内に注入器具を使用し、セメント系注入材を注入する。
断面修復工 (左官工法)	観柱	劣化コンクリートの除去及び鋼材防錆処理後、ポリマーセメント系材料にて復旧する。
橋面防水工 アスファルト舗装工	舗装	既設舗装を撤去後、床版上に塗膜系防水層、排水用導水管、アスファルト舗装を施工する。
伸縮部止水工	伸縮装置	施工箇所の清掃後、ゴム状弾性目地材を充填する。
排水管補修工	排水管	排水管の設置及び延長を行う。
地覆補修工 防護柵補修工	地覆・防護柵	既設高欄及び地覆取壊し後、地覆を再構築+嵩上げ (嵩上げりH=250) を行い、宝木付きガードレール (路面よりH=1100) を設置する。

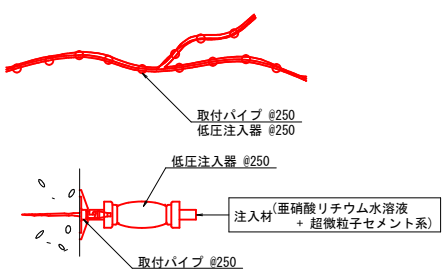
注記
1. 施工に当っては現地計測の上、施工数量を決定のこと。
2. 劣化部位の位置と範囲は、打音検査等により適宜確認のこと。
3. ひびわれ注入工は開口幅 0.2mm以上を対象とし、0.2mm未満は補修を行わない。

寺沖橋

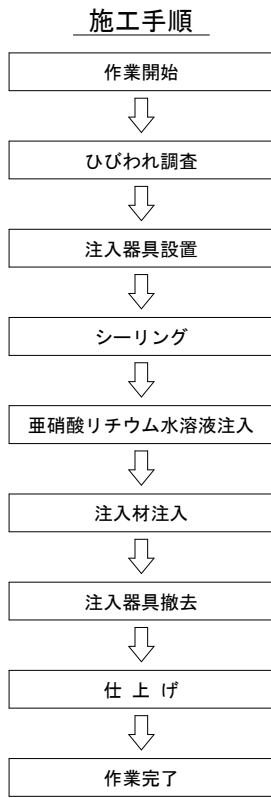
図面番号	1 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修計画一般図	番 号	/
路線 河川	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 詳 細 図 (参 考 図) (そ の 1)

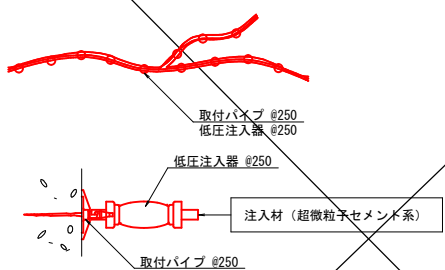
ひびわれ補修工
低圧注入工法
(参考図)



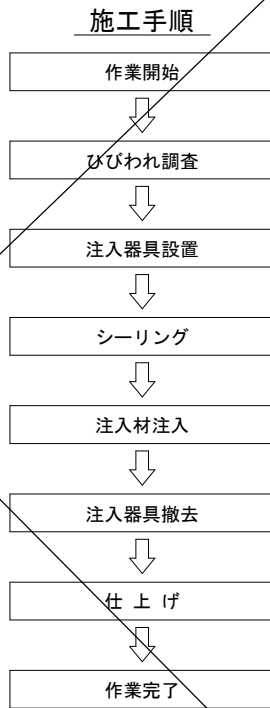
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 鉛直方向のひびわれについては、特に注入材の逸脱に注意すること。
- ※ 注入材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料については使用しないこと。
- ※ 注入はひびわれの下方から上方向に向かって、順次注入を行う。
- ※ 注入パイプ取付は25cm間隔を基本とする。



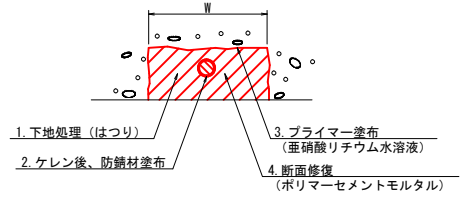
ひびわれ注入工
(参考図)



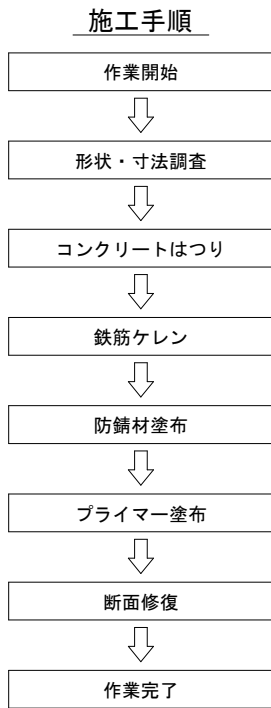
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 鉛直方向のひびわれについては、特に注入材の逸脱に注意すること。
- ※ 注入材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料については使用しないこと。
- ※ 注入はひびわれの下方から上方向に向かって、順次注入を行う。
- ※ 注入パイプ取付は25cm間隔を基本とする。



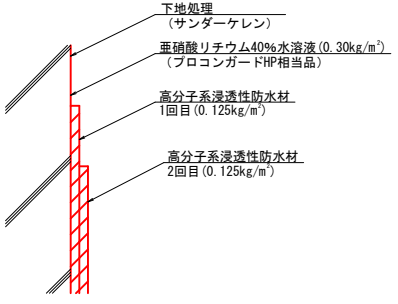
断面修復工(左官工法)
(参考図)



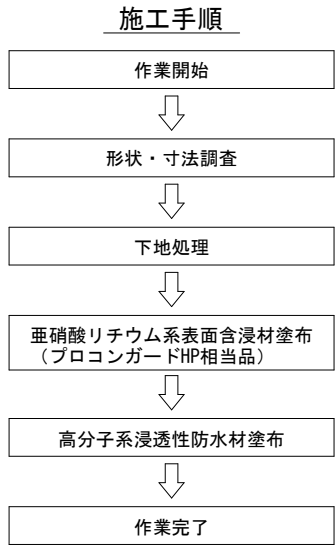
- ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
- ※ 端部は、L字カットを行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所(25%以下)は、新たに同径の鉄筋を追加設置すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、既設鉄筋に35D以上継ぎ手長を設けること。
- ※ 断面修復工は、原形復旧を基本とする。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。



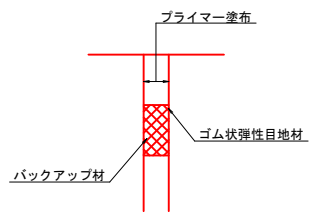
表面処理工
(表面被覆工法-高分子系浸透性防水材)
(参考図)



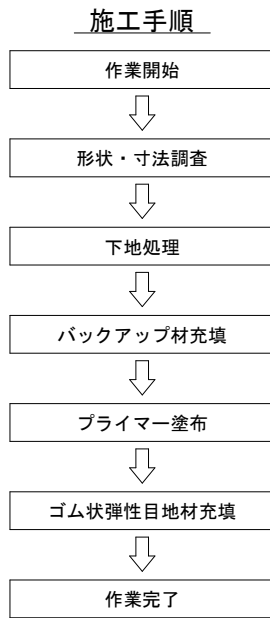
- ※ 表面含浸材は亜硝酸リチウム水溶液 + 高分子系浸透性防水材とする。(プロコンガードHP相当品)
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量: 0.25kg/m²以上とすること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。



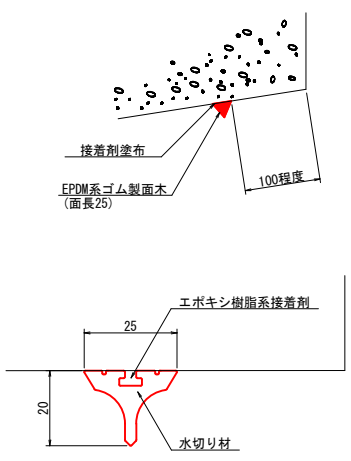
伸縮部止水工
(参考図)



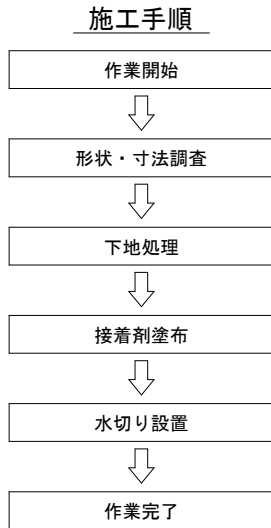
- ※ 施工箇所の清掃を十分に行うこと。
- ※ 充填材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料については使用しないこと。



水切り工
(参考図)



- ※ 水切り設置面のコンクリートは、不陸のないよう調整を行うこと。

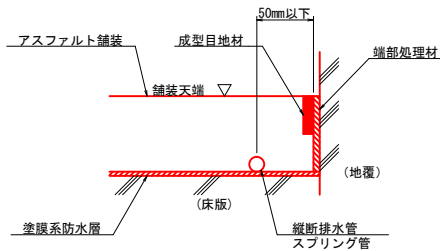


寺沖橋				
図面番号	2 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	補修詳細図(参考図)(その1)		番 号	/
路線 名	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

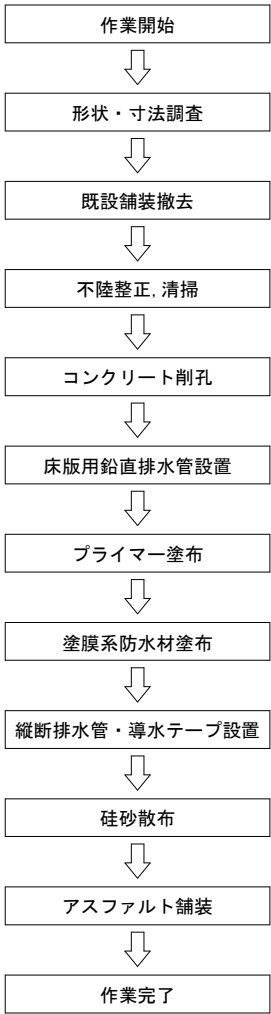
寺 沖 橋 補 修 詳 細 図 (参 考 図) (そ の 2)

橋面防水工
(参考図)

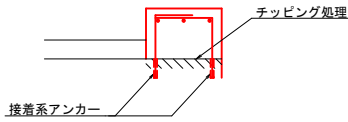


- ※ 舗装版取壊しを行う際は、床版等を破損しないよう注意すること。
- ※ コンクリートを削孔する際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。
- ※ 排水装置設置の際に主構造と干渉する場合は、排水装置位置を調整すること。
- ※ 既設舗装撤去後に床版上面に不陸が見られる場合は、モルタル等で不陸整正を行うこと。
- ※ 排水勾配が逆勾配となる箇所については、施工時に排水勾配を設けること。
- ※ 防水材塗布時は表面水分量10%以下とすること。
- ※ 防水材塗布は、気温5℃未満では施工しないこと。
- ※ 縦断排水管および導水テープの流末処理については、既設排水樹を穿孔し、排水樹内に差し込むこと。

施工手順

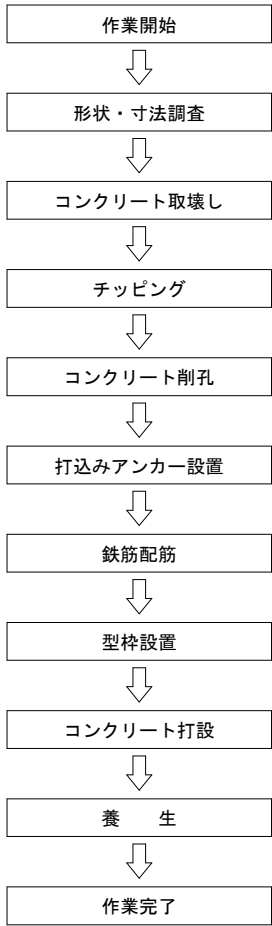


地覆補修工
(参考図)

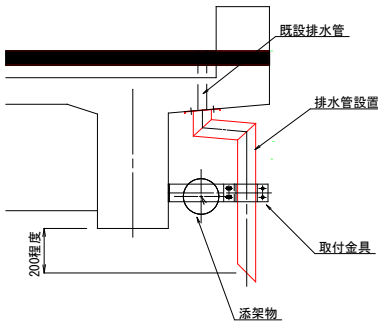


- ※ コンクリート取壊しの際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施して削孔位置を決定すること。
- ※ 施工の際は日々復旧を行い、交通規制解放後に交通の支障とならないように復旧を行うこと。

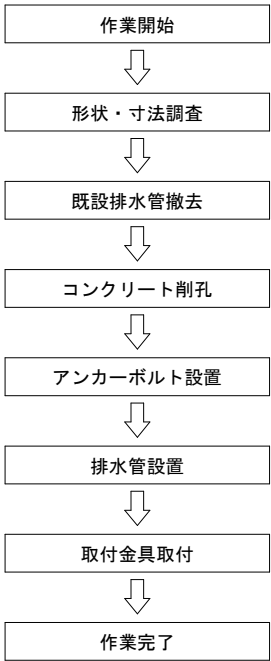
施工手順



排水装置補修工
(参考図)



施工手順



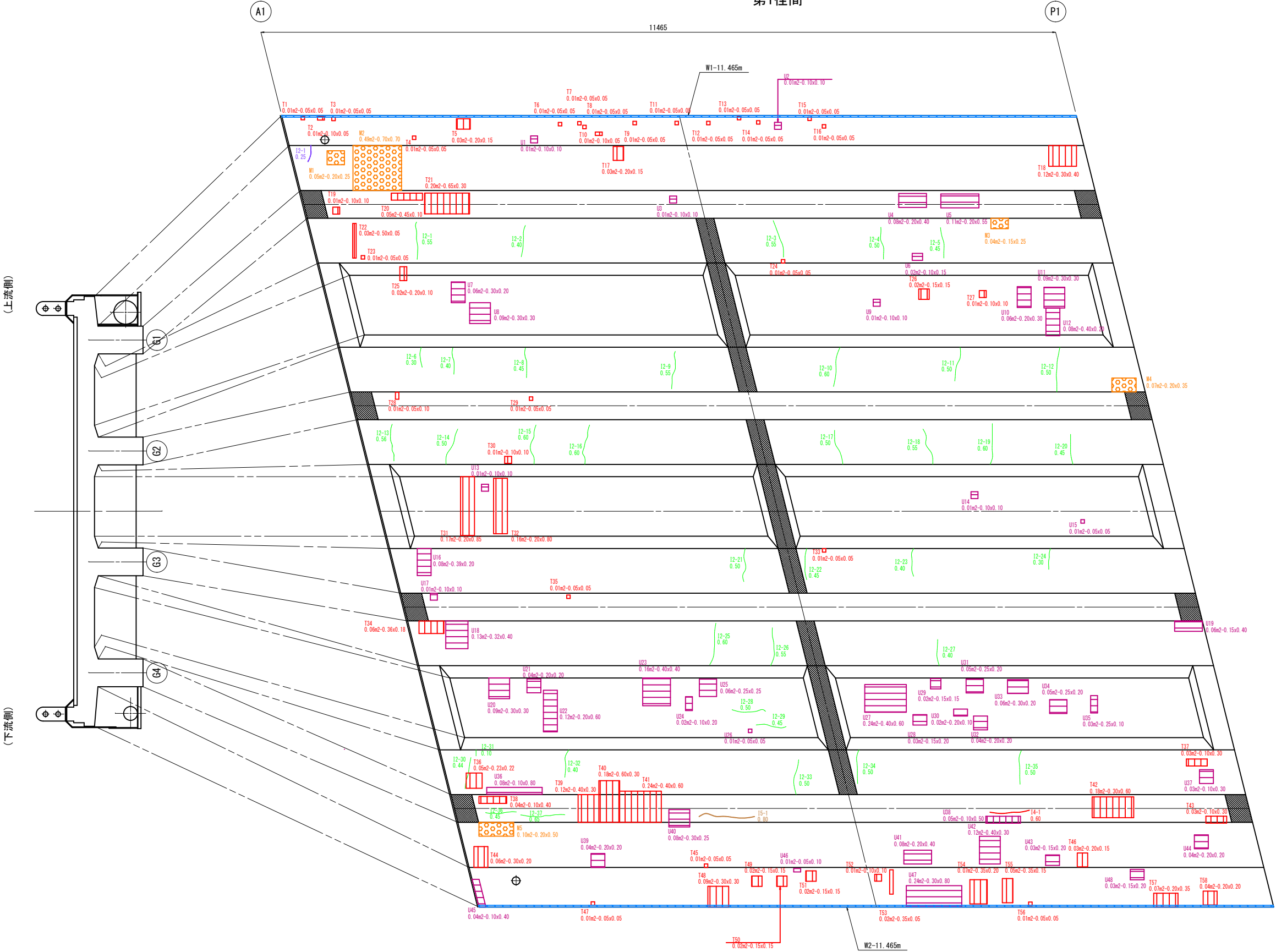
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋				
図面番号	3 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	補修詳細図(参考図)(その2)		番号	/
路線 河川	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 1)

S=1:30

第1径間



凡 例

補修工法		
I		ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
		ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
		ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W < 2.0mm)
		ひびわれ注入工 (2.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
		ひびわれ充填工 (5.0mm < W)
T		断面修復工 (左官工法)
U		断面修復工 (左官工法)
M		断面修復工 (左官工法)
S		断面修復工 (左官工法)
W		水切り工
10-0.00/0.00		補修工法 補修番号-補修延長
T0-m2-0.00x0.00		補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
U0-m2-0.00x0.00		補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
M0-m2-0.00x0.00		補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
S0-m2-0.00x0.00		補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
W0-0.00		補修工法 補修番号-補修延長

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等によるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋

図面番号	4 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その1)	番 号	/
路線 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 2)

数量表(1径間 床版)

[illegible]

数量表(1径間 床版)

	断面修復 (m2)															
	浮き				剥落・鉄筋露出				セパレート後埋めのOo脱落				豆板			
	U		T		S		M									
	縦 × 横 =	面積	縦 × 横 =	面積	縦 × 横 =	面積	縦 × 横 =	面積								
U-1	0.10 × 0.10 =	0.01	T-1	0.05 × 0.05 =	0.01				M-1	0.20 × 0.25 =	0.05					
U-2	0.10 × 0.10 =	0.01	T-2	0.10 × 0.05 =	0.01				M-2	0.70 × 0.70 =	0.49					
U-3	0.10 × 0.10 =	0.01	T-3	0.05 × 0.05 =	0.01				M-3	0.15 × 0.25 =	0.04					
U-4	0.20 × 0.40 =	0.08	T-4	0.05 × 0.05 =	0.01				M-4	0.20 × 0.05 =	0.01					
U-5	0.20 × 0.55 =	0.11	T-5	0.20 × 0.15 =	0.03				M-5	0.20 × 0.50 =	0.10					
U-6	0.10 × 0.15 =	0.02	T-6	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-7	0.30 × 0.20 =	0.06	T-7	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-8	0.30 × 0.30 =	0.09	T-8	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-9	0.10 × 0.10 =	0.01	T-9	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-10	0.20 × 0.30 =	0.06	T-10	0.10 × 0.05 =	0.01											
U-11	0.30 × 0.30 =	0.09	T-11	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-12	0.40 × 0.20 =	0.08	T-12	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-13	0.10 × 0.10 =	0.01	T-13	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-14	0.10 × 0.10 =	0.01	T-14	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-15	0.05 × 0.05 =	0.01	T-15	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-16	0.39 × 0.20 =	0.08	T-16	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-17	0.10 × 0.10 =	0.01	T-17	0.20 × 0.15 =	0.03											
U-18	0.32 × 0.40 =	0.13	T-18	0.30 × 0.40 =	0.12											
U-19	0.15 × 0.40 =	0.06	T-19	0.10 × 0.10 =	0.01											
U-20	0.30 × 0.30 =	0.09	T-20	0.45 × 0.10 =	0.05											
U-21	0.20 × 0.20 =	0.04	T-21	0.65 × 0.30 =	0.20											
U-22	0.20 × 0.60 =	0.12	T-22	0.50 × 0.05 =	0.03											
U-23	0.40 × 0.40 =	0.16	T-23	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-24	0.10 × 0.20 =	0.02	T-24	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-25	0.25 × 0.25 =	0.06	T-25	0.20 × 0.10 =	0.02											
U-26	0.05 × 0.05 =	0.01	T-26	0.15 × 0.15 =	0.02											
U-27	0.40 × 0.60 =	0.24	T-27	0.10 × 0.10 =	0.01											
U-28	0.15 × 0.20 =	0.03	T-28	0.05 × 0.10 =	0.01											
U-29	0.15 × 0.15 =	0.02	T-29	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-30	0.20 × 0.10 =	0.02	T-30	0.10 × 0.10 =	0.01											
U-31	0.25 × 0.20 =	0.05	T-31	0.20 × 0.85 =	0.17											
U-32	0.20 × 0.20 =	0.04	T-32	0.20 × 0.80 =	0.16											
U-33	0.30 × 0.20 =	0.06	T-33	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-34	0.25 × 0.20 =	0.05	T-34	0.36 × 0.18 =	0.06											
U-35	0.25 × 0.10 =	0.03	T-35	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-36	0.10 × 0.80 =	0.08	T-36	0.23 × 0.22 =	0.05											
U-37	0.10 × 0.30 =	0.03	T-37	0.10 × 0.30 =	0.03											
U-38	0.10 × 0.50 =	0.05	T-38	0.10 × 0.40 =	0.04											
U-39	0.20 × 0.20 =	0.04	T-39	0.40 × 0.30 =	0.12											
U-40	0.30 × 0.25 =	0.08	T-40	0.60 × 0.30 =	0.18											
U-41	0.20 × 0.40 =	0.08	T-41	0.40 × 0.60 =	0.24											
U-42	0.40 × 0.30 =	0.12	T-42	0.30 × 0.60 =	0.18											
U-43	0.15 × 0.20 =	0.03	T-43	0.10 × 0.30 =	0.03											
U-44	0.20 × 0.20 =	0.04	T-44	0.30 × 0.20 =	0.06											
U-45	0.10 × 0.40 =	0.04	T-45	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-46	0.05 × 0.10 =	0.01	T-46	0.20 × 0.15 =	0.03											
U-47	0.30 × 0.80 =	0.24	T-47	0.05 × 0.05 =	0.01											
U-48	0.15 × 0.20 =	0.03	T-48	0.30 × 0.30 =	0.09											
			T-49	0.15 × 0.15 =	0.02											
			T-50	0.15 × 0.15 =	0.02											
			T-51	0.15 × 0.15 =	0.02											
			T-52	0.10 × 0.10 =	0.01											
			T-53	0.35 × 0.05 =	0.02											
			T-54	0.35 × 0.20 =	0.07											
			T-55	0.35 × 0.15 =	0.05											
			T-56	0.05 × 0.05 =	0.01											
			T-57	0.20 × 0.35 =	0.07											
			T-58	0.20 × 0.20 =	0.04											
合計		2.85			2.53						0.71					

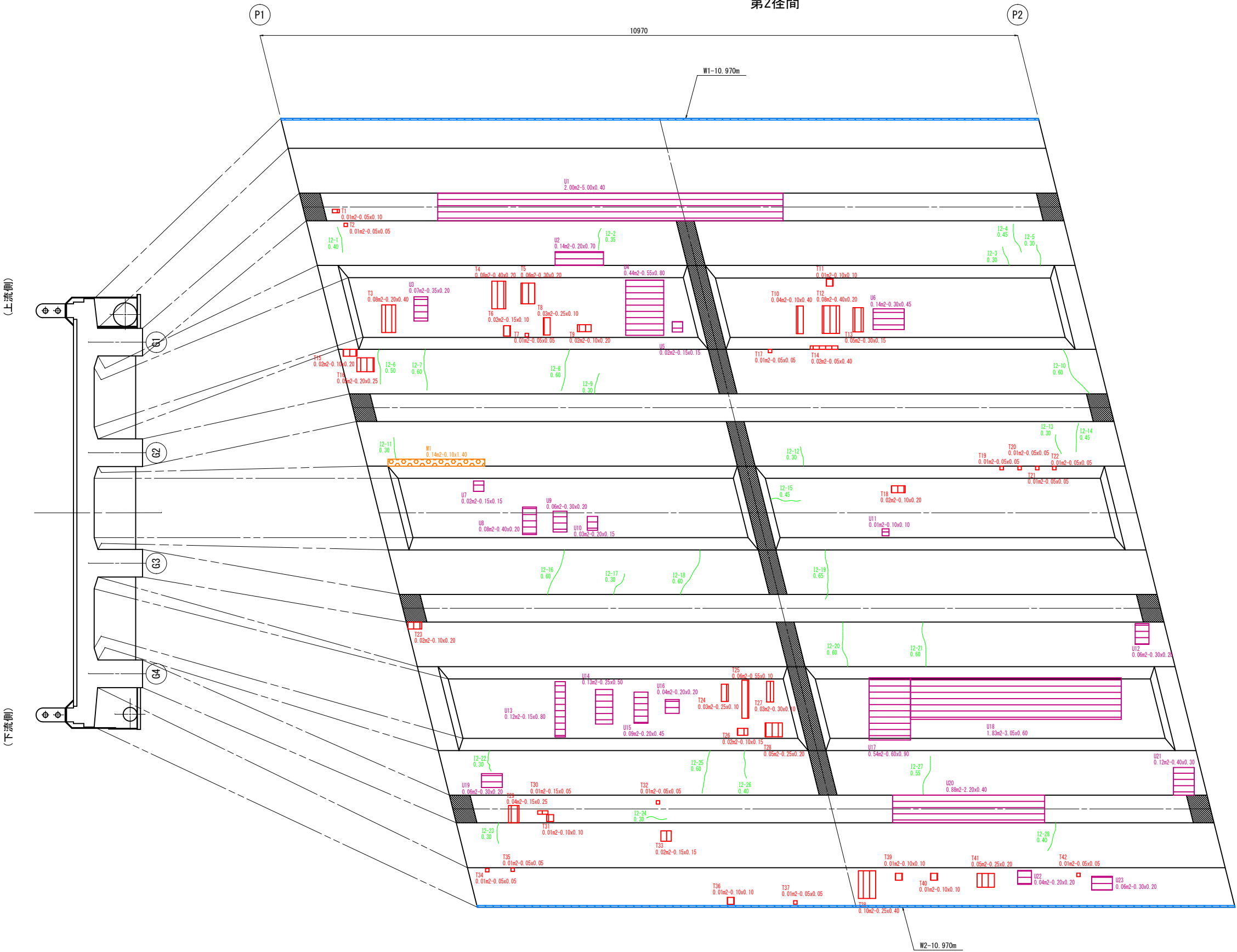
寺冲村

図面番号	5 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図 (その2)	番号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 3)

S=1:30

第2径間



凡 例

補修工法		
I		ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
		ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
		ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W < 2.0mm)
		ひびわれ注入工 (2.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
		ひびわれ充填工 (5.0mm < W)
T		断面修復工 (左官工法)
U		断面修復工 (左官工法)
M		断面修復工 (左官工法)
S		断面修復工 (左官工法)
W		水切り工
10-0.00/0.00		補修工法 補修番号-補修延長
T0-m2-0.00x0.00		補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
U0-m2-0.00x0.00		補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
M0-m2-0.00x0.00		補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
S0-m2-0.00x0.00		補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
W0-0.00		補修工法 補修番号-補修延長

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋

図面番号	6 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	補修図(その3)		番 号	/
路線 名	下条大道線			
河川				
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 4)

数量表(2径間 床版)

[illegible]

数量表(2径間 床版)

	断面修復 (m2)																				
	浮き				剥落・鉄筋露出				セパレート後埋めの脱落				豆板								
	U			面積	T			面積	S			面積	M								
	縦	×	横		縦	×	横		縦	×	横		縦	×	横						
	U-1	5.00	×	0.40	=	2.00	T-1	0.05	×	0.10	=	0.01				M-1	0.10	×	1.40	=	0.
	U-2	0.20	×	0.70	=	0.14	T-2	0.05	×	0.05	=	0.01									
	U-3	0.35	×	0.20	=	0.07	T-3	0.20	×	0.40	=	0.08									
	U-4	0.55	×	0.80	=	0.44	T-4	0.40	×	0.20	=	0.08									
	U-5	0.15	×	0.15	=	0.02	T-5	0.30	×	0.20	=	0.06									
	U-6	0.30	×	0.45	=	0.14	T-6	0.15	×	0.10	=	0.02									
	U-7	0.15	×	0.15	=	0.02	T-7	0.05	×	0.05	=	0.01									
	U-8	0.40	×	0.20	=	0.08	T-8	0.25	×	0.10	=	0.03									
	U-9	0.30	×	0.20	=	0.06	T-9	0.10	×	0.20	=	0.02									
	U-10	0.20	×	0.15	=	0.03	T-10	0.10	×	0.40	=	0.04									
	U-11	0.10	×	0.10	=	0.01	T-11	0.10	×	0.10	=	0.01									
	U-12	0.30	×	0.20	=	0.06	T-12	0.40	×	0.20	=	0.08									
	U-13	0.15	×	0.80	=	0.12	T-13	0.30	×	0.15	=	0.05									
	U-14	0.25	×	0.50	=	0.13	T-14	0.05	×	0.40	=	0.02									
	U-15	0.20	×	0.45	=	0.09	T-15	0.10	×	0.20	=	0.02									
	U-16	0.20	×	0.20	=	0.04	T-16	0.20	×	0.25	=	0.05									
	U-17	0.60	×	0.90	=	0.54	T-17	0.05	×	0.05	=	0.01									
	U-18	3.05	×	0.60	=	1.83	T-18	0.10	×	0.20	=	0.02									
	U-19	0.30	×	0.20	=	0.06	T-19	0.05	×	0.05	=	0.01									
	U-20	2.20	×	0.40	=	0.88	T-20	0.05	×	0.05	=	0.01									
	U-21	0.40	×	0.30	=	0.12	T-21	0.05	×	0.05	=	0.01									
	U-22	0.20	×	0.20	=	0.04	T-22	0.05	×	0.05	=	0.01									
	U-23	0.30	×	0.20	=	0.06	T-23	0.10	×	0.20	=	0.02									
							T-24	0.25	×	0.10	=	0.03									
							T-25	0.55	×	0.10	=	0.06									
							T-26	0.10	×	0.15	=	0.02									
							T-27	0.30	×	0.10	=	0.03									
							T-28	0.25	×	0.20	=	0.05									
							T-29	0.15	×	0.25	=	0.04									
							T-30	0.15	×	0.05	=	0.01									
							T-31	0.10	×	0.10	=	0.01									
							T-32	0.05	×	0.05	=	0.01									
							T-33	0.15	×	0.15	=	0.02									
							T-34	0.05	×	0.05	=	0.01									
							T-35	0.05	×	0.05	=	0.01									
							T-36	0.10	×	0.10	=	0.01									
							T-37	0.05	×	0.05	=	0.01									
							T-38	0.25	×	0.40	=	0.10									
							T-39	0.10	×	0.10	=	0.01									
							T-40	0.10	×	0.10	=	0.01									
							T-41	0.25	×	0.20	=	0.05									
							T-42	0.05	×	0.05	=	0.01									

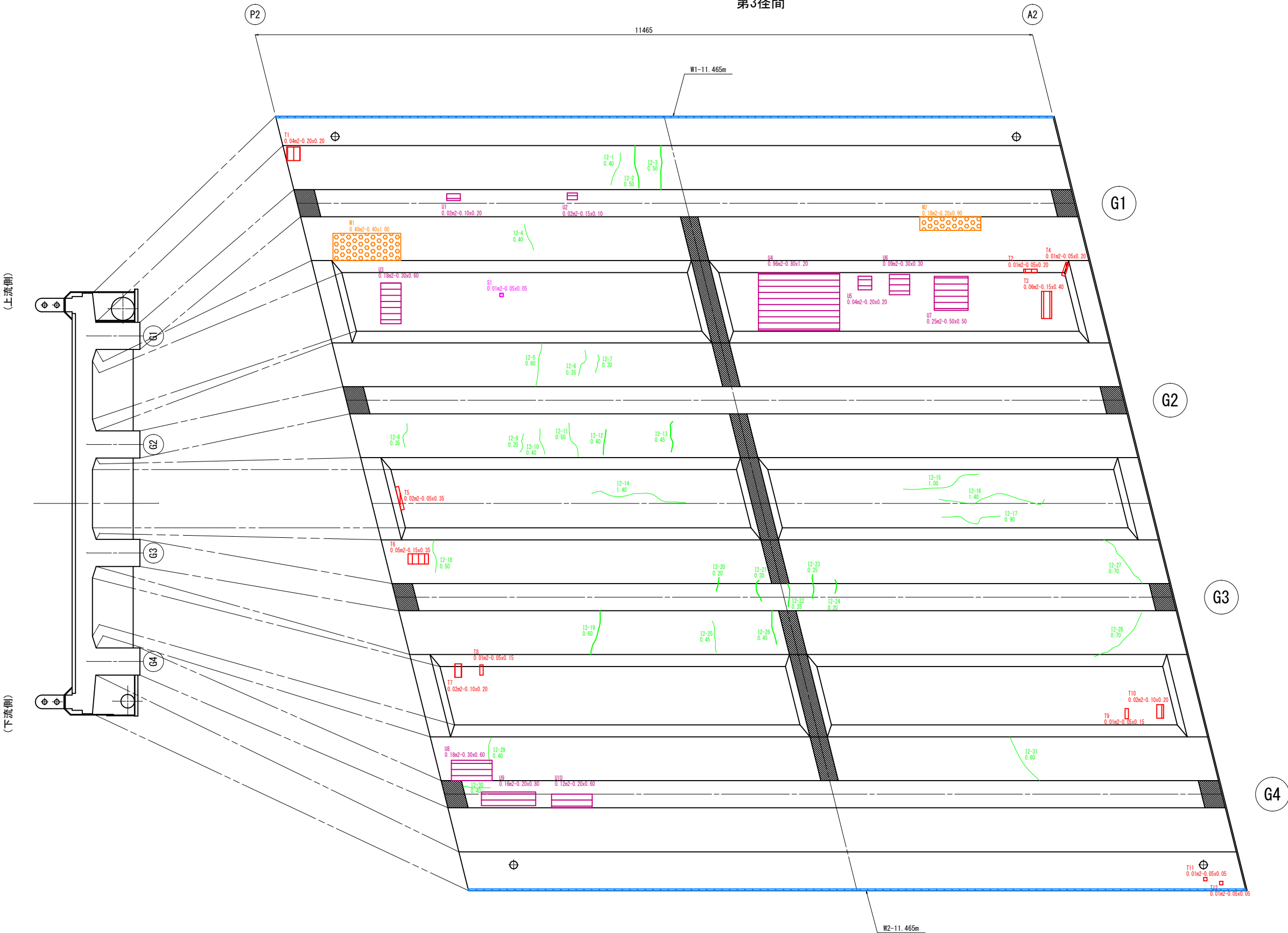
寺沖村

図面番号	7 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その4)	番号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 5)

S=1:30

第3径間



凡 例

補修工法		
I		ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
		ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
		ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W < 2.0mm)
		ひびわれ注入工 (2.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
		ひびわれ充填工 (5.0mm < W)
T		断面修復工 (左官工法)
U		断面修復工 (左官工法)
M		断面修復工 (左官工法)
S		断面修復工 (左官工法)
W		水切り工
10-0.00/0.00 補修工法 補修番号-補修延長		
T0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
U0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
M0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
S0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
W0-0.00 補修工法 補修番号-補修延長		

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等によるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋

図面番号	8 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その5)	番 号	/
路線 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 6)

数量表(3径間 床版)

[illegible]

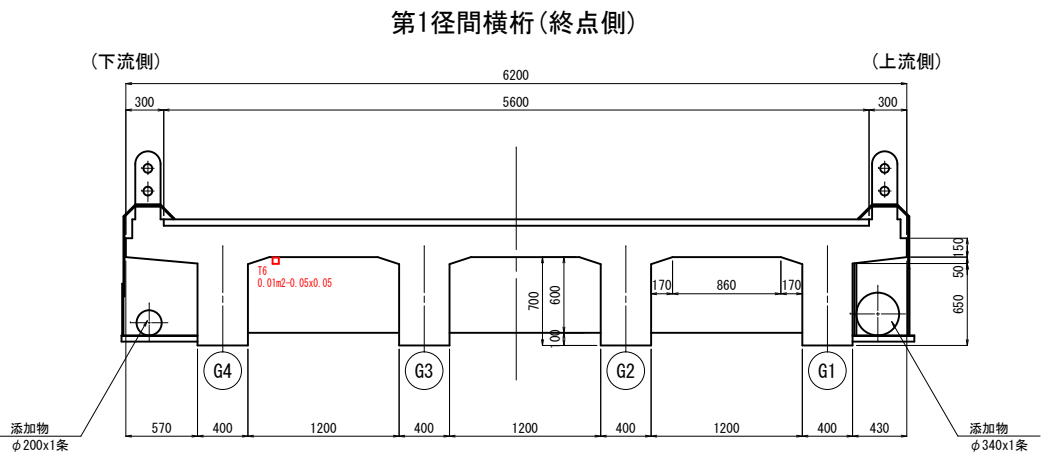
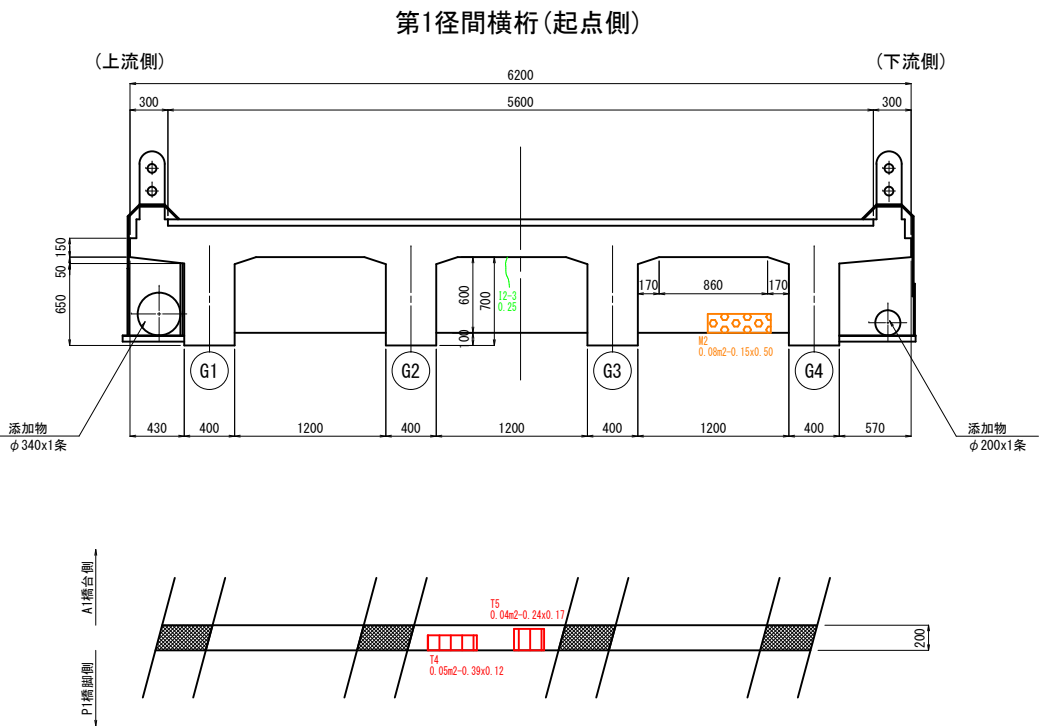
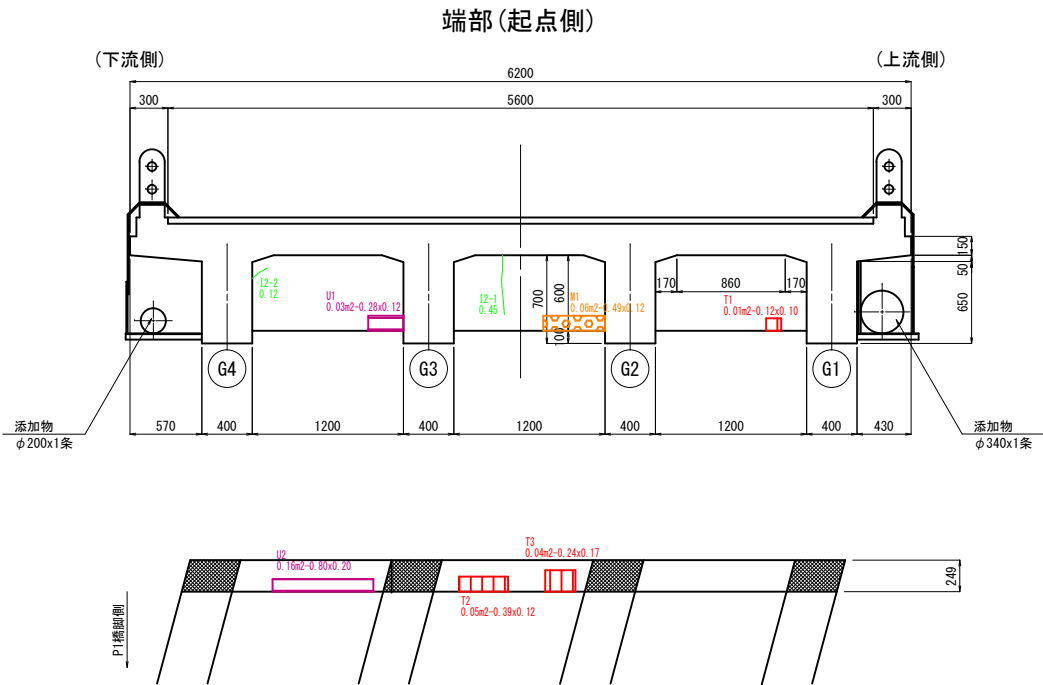
数量表(3径間 床版)

[illegible]

寺冲橋

図面番号	9 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図 (その6)	番号	/
路線 河川 名	下条大道路		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 7) S=1:30



凡 例

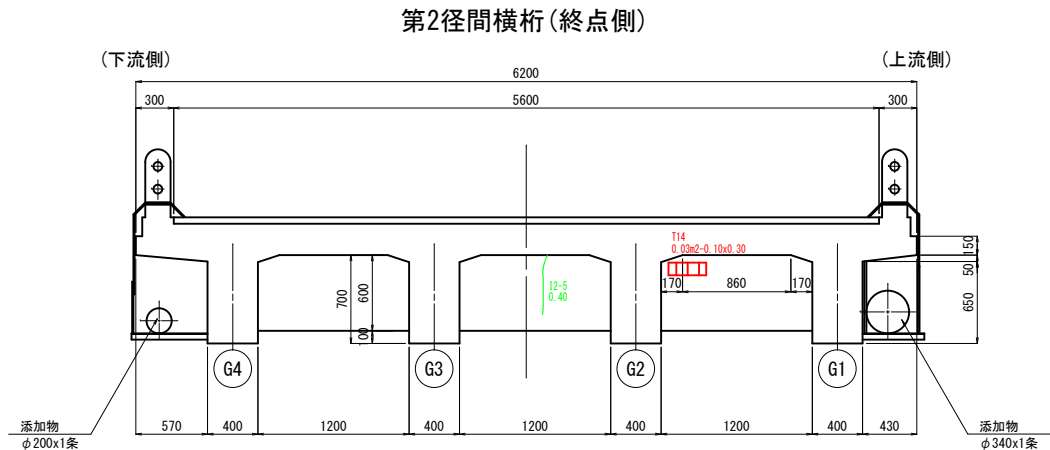
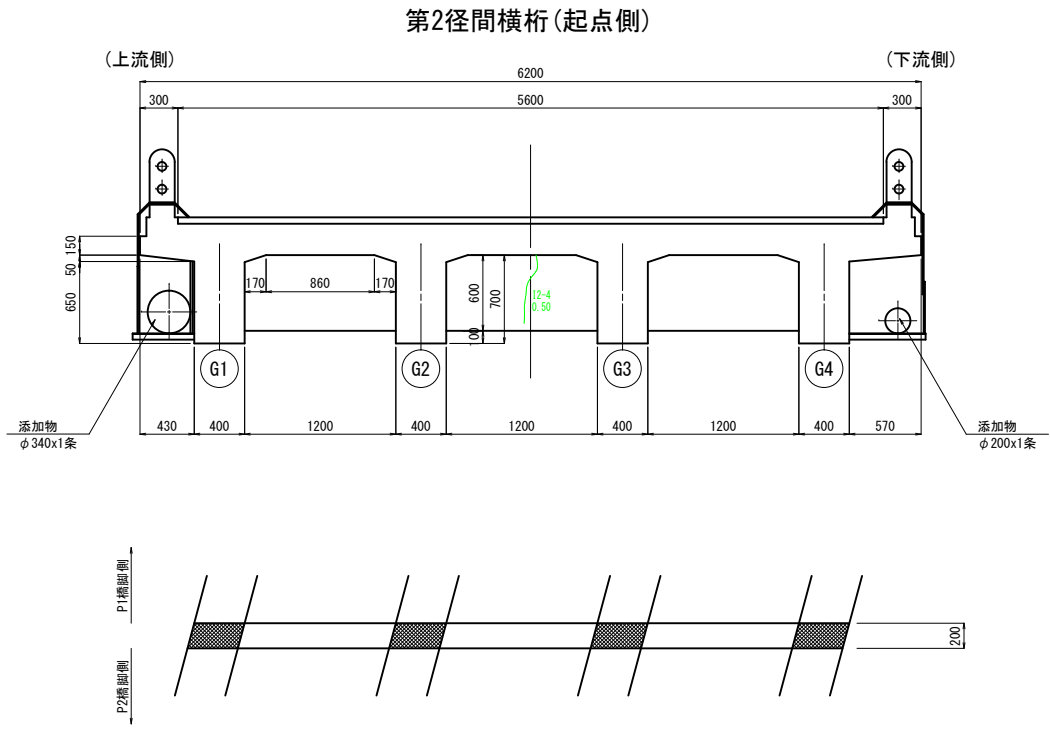
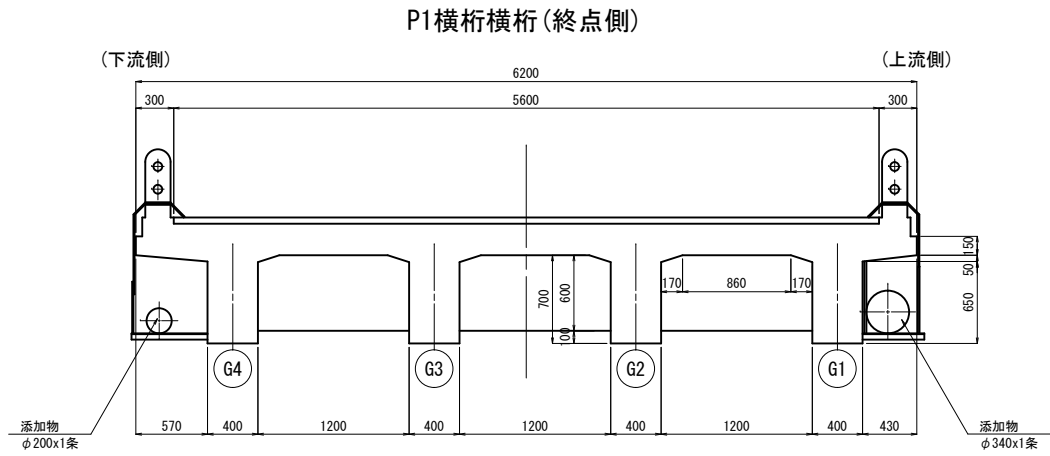
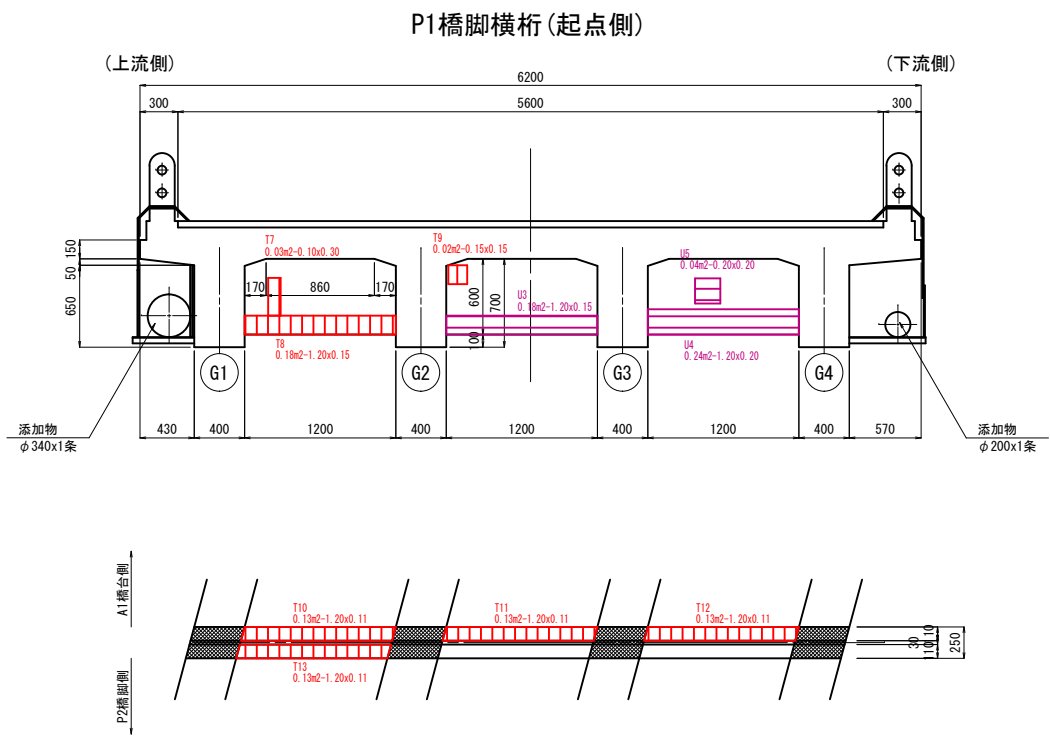
補修工法		
I		ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
		ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
		ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W < 2.0mm)
		ひびわれ注入工 (2.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
		ひびわれ充填工 (5.0mm < W)
T		断面修復工(左官工法)
U		断面修復工(左官工法)
M		断面修復工(左官工法)
S		断面修復工(左官工法)
10-0.00/0.00 補修工法 補修番号-補修延長		
T0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
U0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
M0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
S0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋

図面番号	10 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	補修図(その7)		番 号	/
路線 名	下条大道線			
河川				
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

寺 沖 橋 損 傷 図 (そ の 8) S=1:30



凡 例

補修工法		
I		ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
		ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
		ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W < 2.0mm)
		ひびわれ注入工 (2.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
		ひびわれ充填工 (5.0mm < W)
T		断面修復工 (左官工法)
U		断面修復工 (左官工法)
M		断面修復工 (左官工法)
S		断面修復工 (左官工法)
補修工法 補修番号-補修延長		
T0-0.00/0.00		
補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
T0-m2-0.00x0.00		
補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
U0-m2-0.00x0.00		
補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
M0-m2-0.00x0.00		
補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
S0-m2-0.00x0.00		

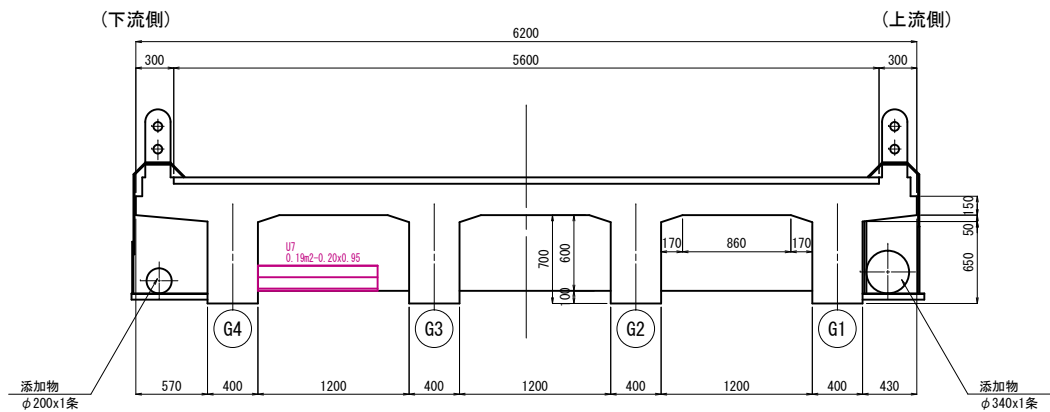
※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋

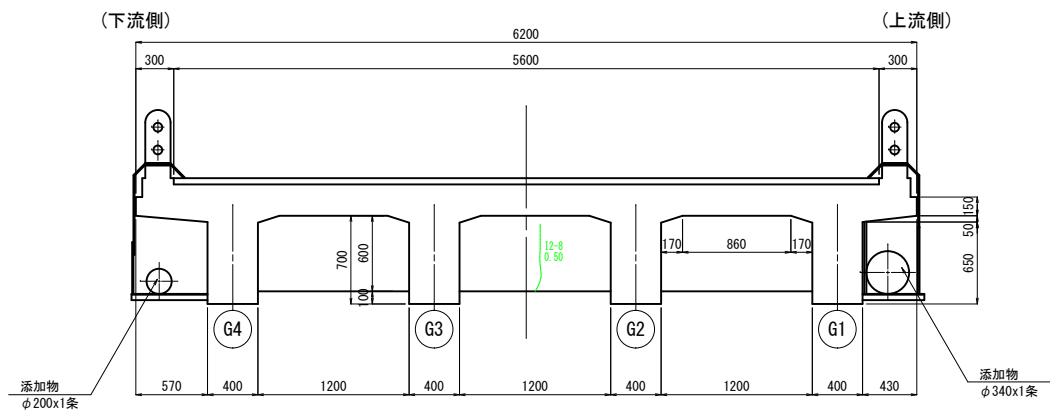
図面番号	11 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	補修図(その8)		番号	/
路線 河川 名	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

S=1 : 30

P2横桁横桁(終点側)



第3径間横桁(終点側)



6200



- ※ 本図面は、現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋			
図面番号	12 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その9)	番号	/
路線 河川	下条大道路		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 10)

数量表(横析)

[illegible]

数量表(横杆)

	断面修復 (m2)																				
	浮き					剥落・鉄筋露出					セパレート後埋め〇脱落					豆板					
	U					T					S					M					
	縦	×	横	=	面積	縦	×	横	=	面積	縦	×	横	=	面積	縦	×	横	=	面積	
U-1	0.28	×	0.12	=	0.03	T-1	0.12	×	0.10	=	0.01					M-1	0.49	×	0.12	=	0.06
U-2	0.80	×	0.20	=	0.16	T-2	0.39	×	0.12	=	0.05					M-2	0.15	×	0.50	=	0.08
U-3	1.20	×	0.15	=	0.18	T-3	0.24	×	0.17	=	0.04					M-3	0.15	×	0.90	=	0.14
U-4	1.20	×	0.20	=	0.24	T-4	0.39	×	0.12	=	0.05					M-4	0.10	×	0.30	=	0.03
U-5	0.20	×	0.20	=	0.04	T-5	0.24	×	0.17	=	0.04										
U-6	0.20	×	0.35	=	0.07	T-6	0.05	×	0.05	=	0.01										
U-7	0.20	×	0.95	=	0.19	T-7	0.10	×	0.30	=	0.03										
U-8	0.15	×	1.20	=	0.18	T-8	1.20	×	0.15	=	0.18										
U-9	0.15	×	0.20	=	0.03	T-9	0.15	×	0.15	=	0.02										
U-10	0.15	×	0.95	=	0.14	T-10	1.20	×	0.11	=	0.13										
						T-11	1.20	×	0.11	=	0.13										
						T-12	1.20	×	0.11	=	0.13										
						T-13	1.20	×	0.11	=	0.13										
						T-14	0.10	×	0.30	=	0.03										
						T-15	0.10	×	0.10	=	0.01										
						T-16	0.10	×	0.10	=	0.01										
						T-17	1.20	×	0.11	=	0.13										
						T-18	0.20	×	0.10	=	0.02										
						T-19	0.20	×	0.10	=	0.02										
						T-20	0.20	×	0.35	=	0.07										
						T-21	0.05	×	0.05	=	0.01										
						T-22	0.05	×	0.05	=	0.01										
						T-23	0.10	×	0.10	=	0.01										
						T-24	0.05	×	0.05	=	0.01										
						T-25	0.55	×	0.10	=	0.06										
						T-26	0.20	×	0.10	=	0.02										
						T-27	0.10	×	0.10	=	0.01										
												</									

寺沖橋

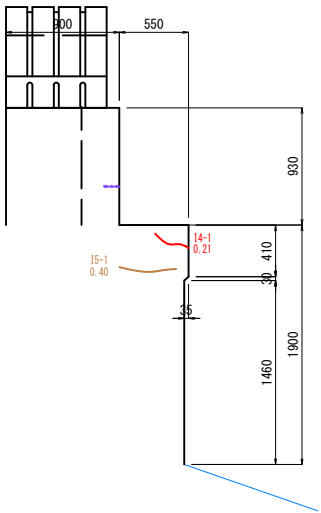
図面番号	13 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図 (その10)	番号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		

東 広 島 市

S=1 : 30

A1橋台

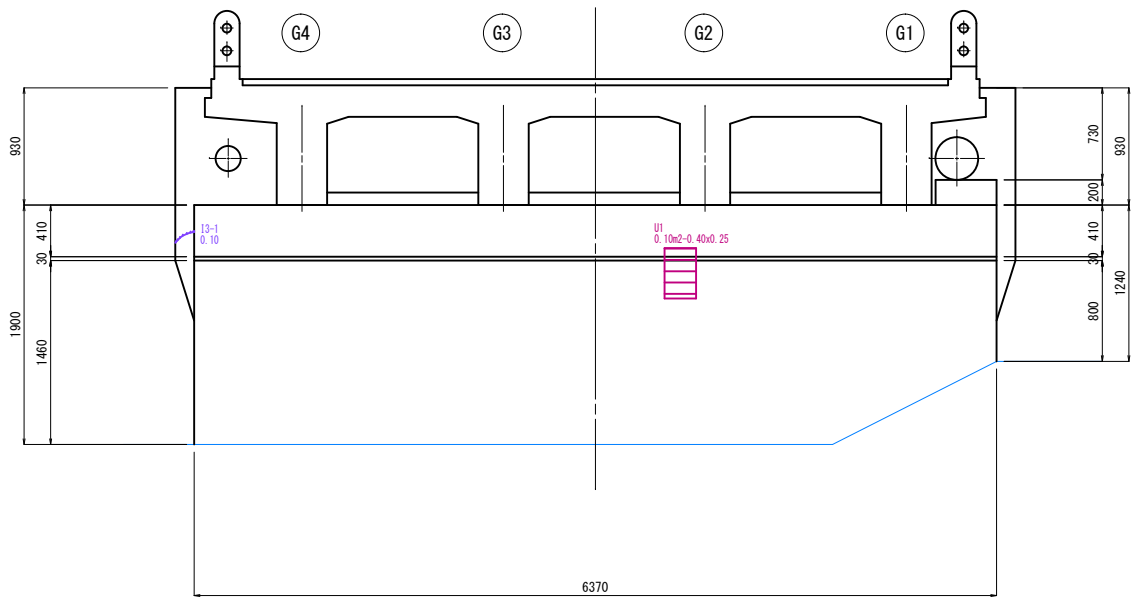
下流側側面図



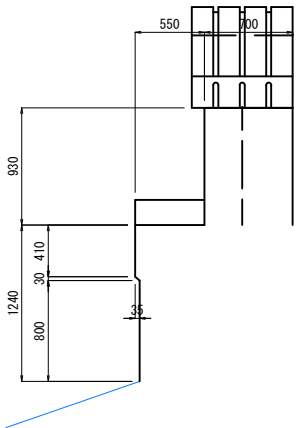
(下流側)

正面图

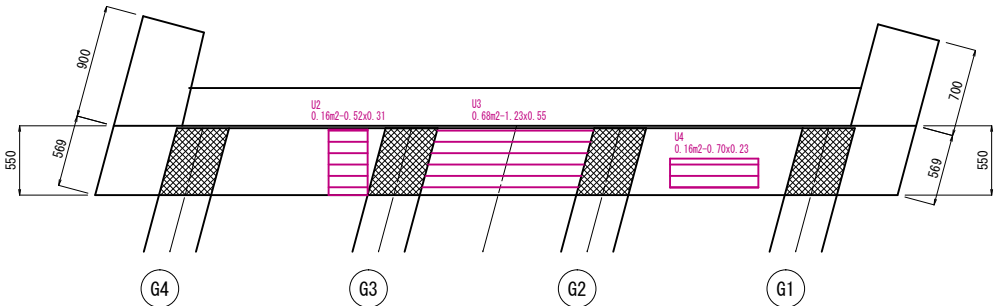
(上流側)



上流側側面図



橋座



数量表(A1橋台)

	びびわれ注入工 (m)								
0.2mm～0.5mm		0.5mm～1.0mm		1.0mm～2.0mm		2.0mm～5.0mm		5.0mm以上	
12		13		14		15		16	
		13-1	0.10	14-1	0.21	15-1	0.40		
					</				

数量表(A1橋台)

	断面修復 (m2)		
	浮き		
	U		
	縦	× 横	= 面積
U-1	0.40 ×	0.25 =	0.10
U-2	0.52 ×	0.31 =	0.16
U-3	1.23 ×	0.55 =	0.68
U-4	0.70 ×	0.23 =	0.16
合計			1.10
	断面修復合計		
			1.10

凡例

補修工法	
I	 ひびわれ注入工 ($0.2mm \leq W < 0.5mm$)
	 ひびわれ注入工 ($0.5mm \leq W < 1.0mm$)
	 ひびわれ注入工 ($1.0mm \leq W < 2.0mm$)
	 ひびわれ注入工 ($2.0mm \leq W \leq 5.0mm$)
	 ひびわれ充填工 ($5.0mm < W$)
T	 断面修復工 (左官工法)
U	 断面修復工 (左官工法)
S	 断面修復工 (左官工法)
SE	 断面修復工 (左官工法)
	<u>10-0.00/0.00</u> 補修工法 補修番号-補修延長
	<u>T0-m2-0.00x0.00</u> 補修工法 補修番号-面積 補修幅x補修幅
	<u>U0-m2-0.00x0.00</u> 補修工法 補修番号-面積 補修幅x補修幅
	<u>M0-m2-0.00x0.00</u> 補修工法 補修番号-面積 補修幅x補修幅
	<u>S0-m2-0.00x0.00</u> 補修工法 補修番号-面積 補修幅x補修幅
	<u>SE0-m2-0.00x0.00</u> 補修工法 補修番号-面積 補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巢、ふん宮等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

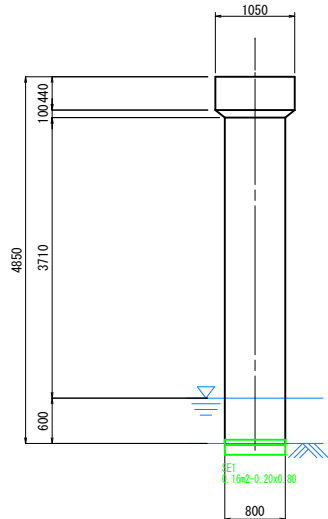
寺冲楢

図面番号	14 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修工事		
種 別	補修図(その11)	番 号	/
路線 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

S=1 : 50

P1橋脚

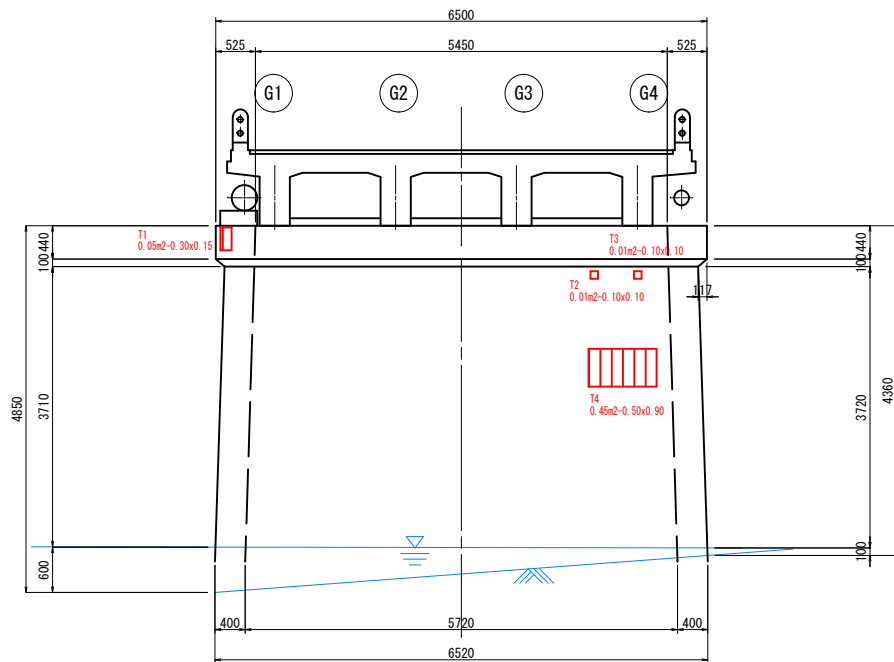
上流側側面図



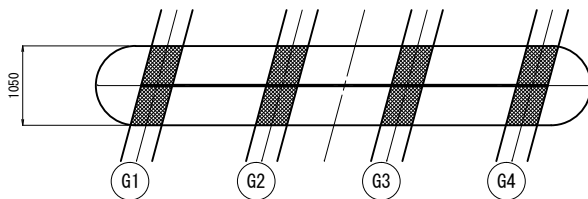
(上流側)

起点側

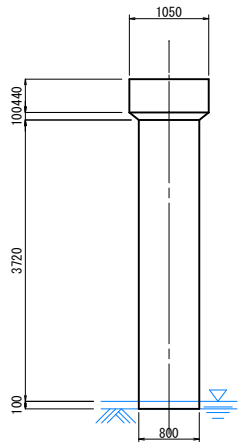
(下流側)



橋座



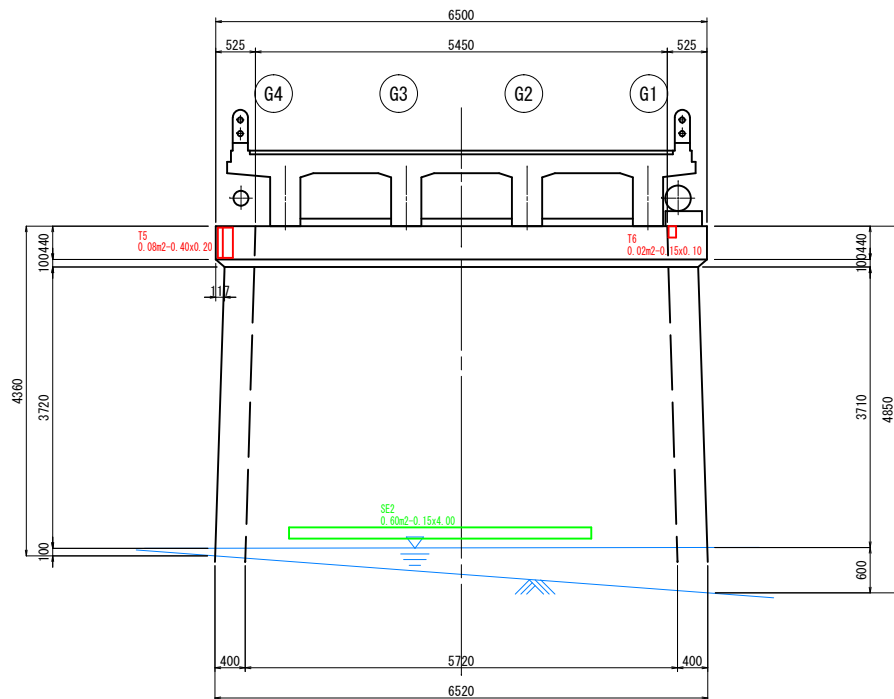
下流側側面図



(下流側)

終点側

(上流側)



数量表 (P1 橋脚)

[illegible]

凡例

補修工法		
I		ひびわれ注入工 ($0.2\text{mm} \leq W < 0.5\text{mm}$)
		ひびわれ注入工 ($0.5\text{mm} \leq W < 1.0\text{mm}$)
		ひびわれ注入工 ($1.0\text{mm} \leq W < 2.0\text{mm}$)
		ひびわれ注入工 ($2.0\text{mm} \leq W \leq 5.0\text{mm}$)
		ひびわれ充填工 ($5.0\text{mm} < W$)
T		断面修復工 (左官工法)
U		断面修復工 (左官工法)
S		断面修復工 (左官工法)
SE		断面修復工 (左官工法)
10-0.00/0.00 補修工法 補修番号-補修延長		
T0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
U0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
M0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
S0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		
SE0-m2-0.00x0.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅		

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋

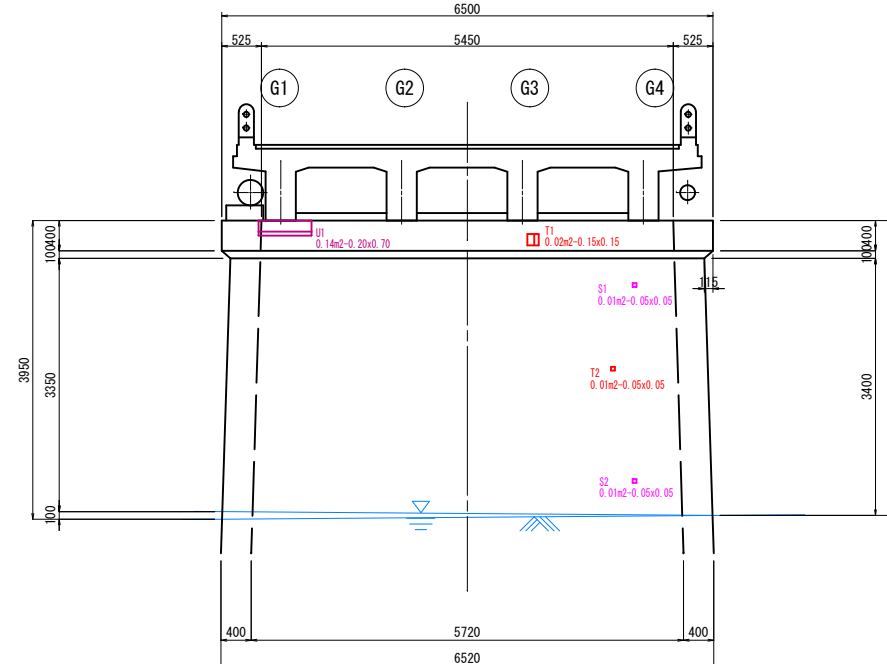
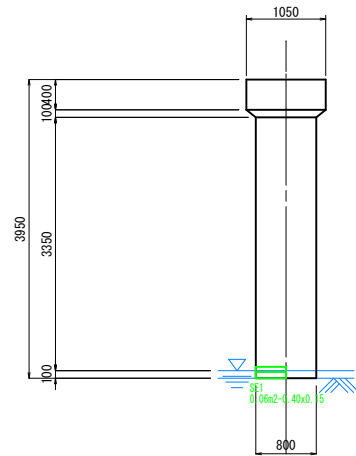
図面番号	15 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その12)	番号	/
路線 河川 名	下条大道路		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

S=1 : 50

起点側

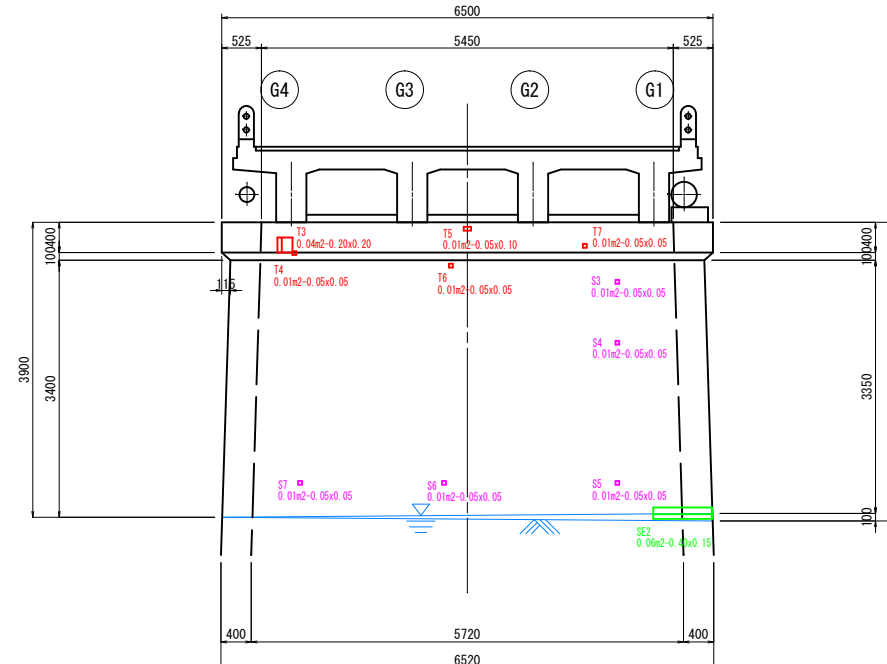
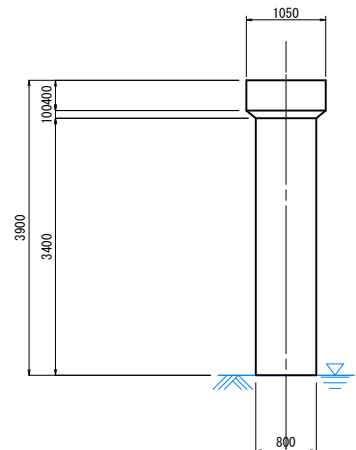
(上流側)

(下流側)



(下流側)

(上流側)



凡 例

断面修復 (㎡)

断面修復 (㎡)																								
浮き					剥落・鉄筋露出					セパレート後処理のCo脱落					洗堀									
U					T					S					SE									
	縦	×	横	=	面積		縦	×	横	=	面積		縦	×	横	=	面積		縦	×	横	=	面積	
	U-1	0.20	×	0.70	=	0.14	T-1	0.15	×	0.15	=	0.02	S-1	0.05	×	0.05	=	0.01	SE-1	0.40	×	0.15	=	0.06
							T-2	0.05	×	0.05	=	0.01	S-2	0.05	×	0.05	=	0.01	SE-2	0.40	×	0.15	=	0.06
							T-3	0.20	×	0.20	=	0.04	S-3	0.05	×	0.05	=	0.01						
							T-4	0.05	×	0.05	=	0.01	S-4	0.05	×	0.05	=	0.01						
							T-5	0.05	×	0.10	=	0.01	S-5	0.05	×	0.05	=	0.01						
							T-6	0.05	×	0.05	=	0.01	S-6	0.05	×	0.05	=	0.01						
							T-7	0.05	×	0.05	=	0.01	S-7	0.05	×	0.05	=	0.01						

補修工法		
I		ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
		ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
		ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W < 2.0mm)
		ひびわれ注入工 (2.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
		ひびわれ充填工 (5.0mm < W)
T		断面修復工 (左官工法)
U		断面修復工 (左官工法)
S		断面修復工 (左官工法)
SE		断面修復工 (左官工法)
10-0.00/0.00 補修工法 補修番号 補修延長		
T0-m2-0.00/x.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅×補修幅		
U0-m2-0.00/x.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅×補修幅		
M0-m2-0.00/x.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅×補修幅		
S0-m2-0.00/x.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅×補修幅		
SE0-m2-0.00/x.00 補修工法 補修番号-面積-補修幅×補修幅		

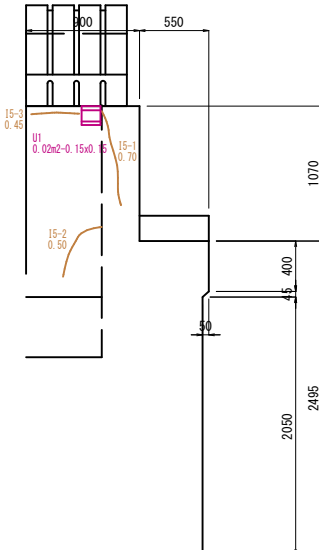
- ※ 本図面は、現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋			
図面番号	16 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修図(その13)	番 号	/
路線 河川	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

S=1 : 30

A2橋台

上流側側面図



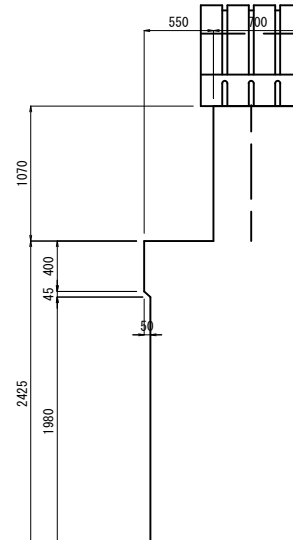
(上流側)

正面图

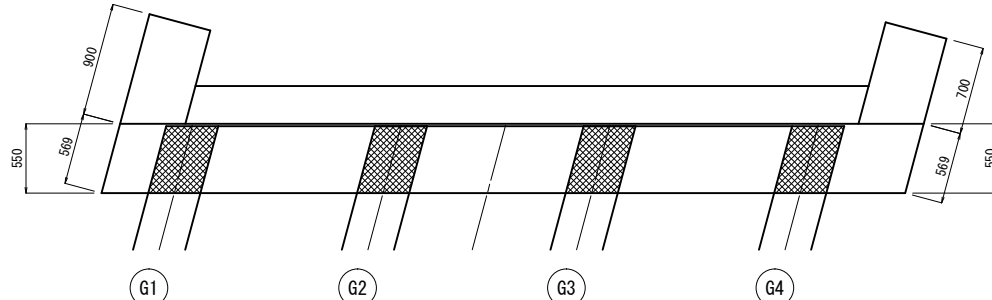
(下流側)



下流側側面図



橋座



数量表(A1橋台)

	ひびわれ注入工 (m)									
	0.2mm～0.5mm		0.5mm～1.0mm		1.0mm～2.0mm		2.0mm～5.0mm		5.0mm以上	
	12		13		14		15		16	
	12-1	0.50					15-1	0.70		
	12-2	0.45					15-2	0.50		
							15-3	0.45		
合計		0.95						1.65		

数量表(A1橋台)

	断面修復 (m2)			
	浮き			
	U			
	縦	×	横	=
				面積
U-1	0.15	×	0.15	= 0.02
U-2	0.20	×	0.10	= 0.02
合計				0.04
断面修復合計				
				0.04

凡例

補修工法		
I		ひびわれ注入工 ($0.2mm \leq W < 0.5mm$)
		ひびわれ注入工 ($0.5mm \leq W < 1.0mm$)
		ひびわれ注入工 ($1.0mm \leq W < 2.0mm$)
		ひびわれ注入工 ($2.0mm \leq W \leq 5.0mm$)
		ひびわれ充填工 ($5.0mm < W$)
T		断面修復工 (左官工法)
U		断面修復工 (左官工法)
S		断面修復工 (左官工法)
SE		断面修復工 (左官工法)
	<u>10-0.00/0.00</u>	補修工法 補修番号-補修延長
	<u>T0-m2-0.00x0.00</u>	補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
	<u>U0-m2-0.00x0.00</u>	補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
	<u>M0-m2-0.00x0.00</u>	補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
	<u>S0-m2-0.00x0.00</u>	補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅
	<u>SE0-m2-0.00x0.00</u>	補修工法 補修番号-面積-補修幅x補修幅

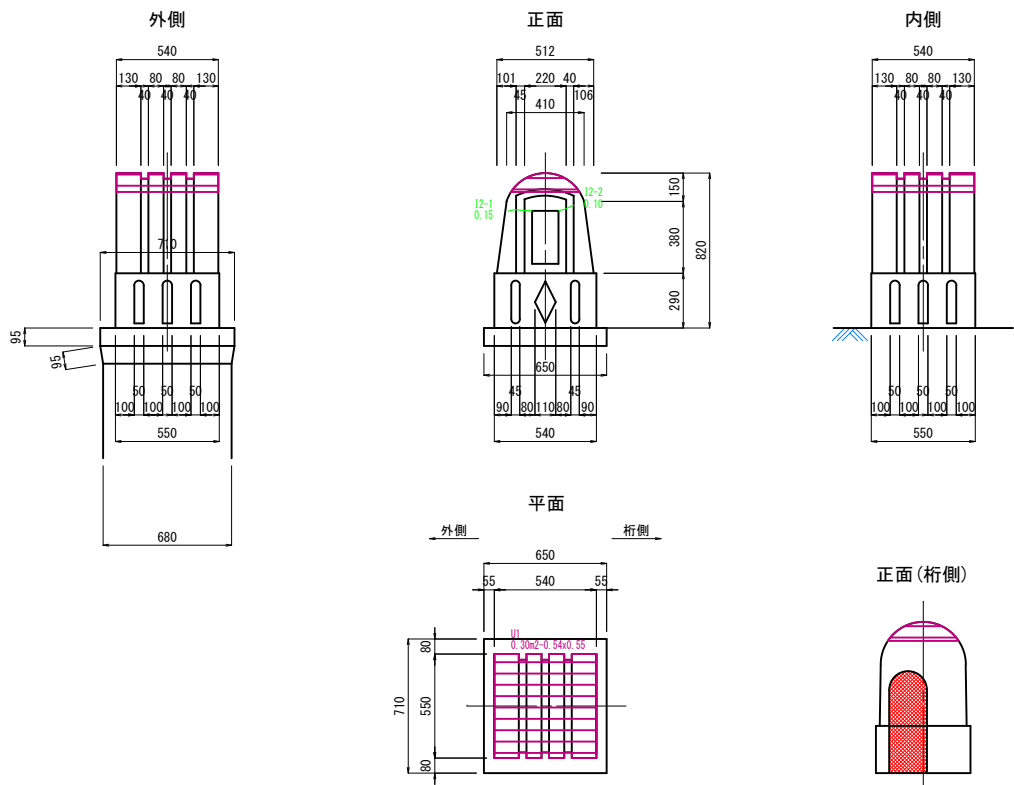
- ※ 本図面は、現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋

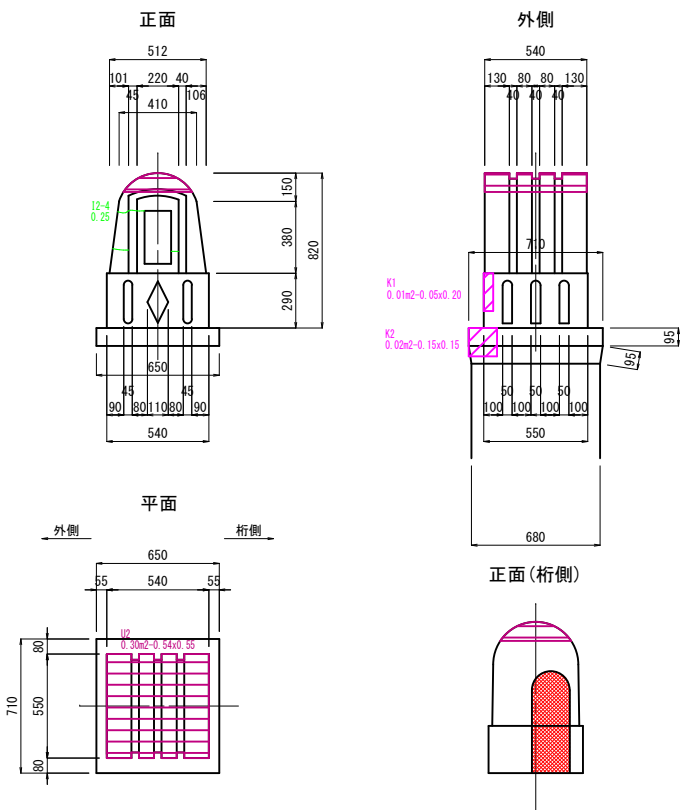
図面番号	17 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その14)	番号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 1 5) S=1:20

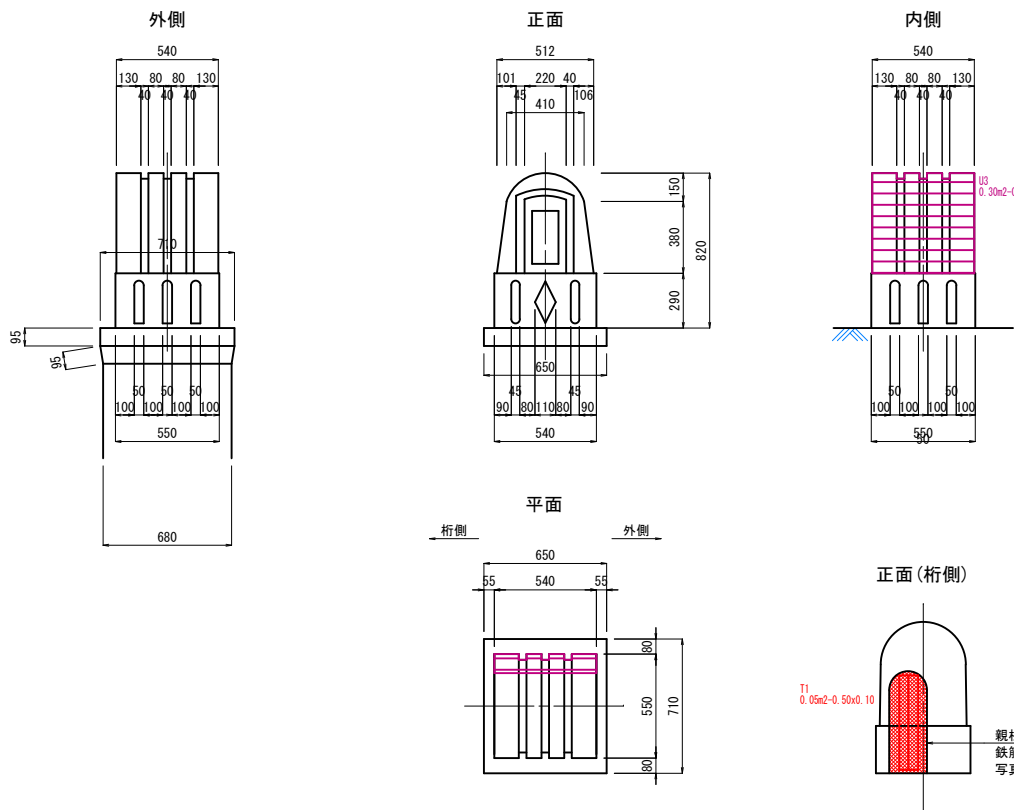
起点上流側親柱



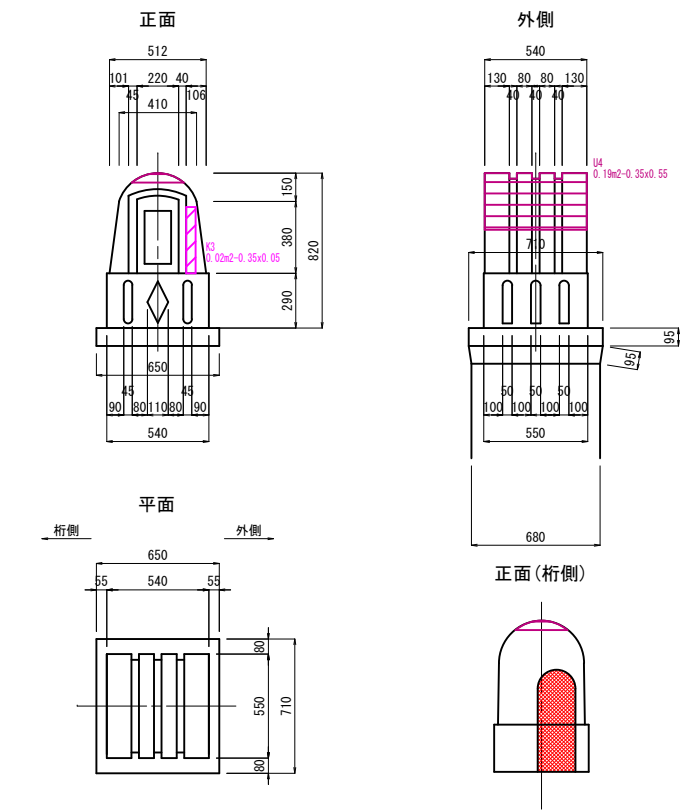
起点下流側親柱



終点上流側親柱



終点下流側親柱



凡 例

補修工法		
I		ひびわれ注入工 (0.2mm ≦ W < 0.5mm)
		ひびわれ注入工 (0.5mm ≦ W < 1.0mm)
		ひびわれ注入工 (1.0mm ≦ W < 2.0mm)
		ひびわれ注入工 (2.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
		ひびわれ充填工 (5.0mm < W)
T		断面修復工 (左官工法)
U		断面修復工 (左官工法)
K		断面修復工 (左官工法)
SE		断面修復工 (左官工法)
補修工法 補修番号 補修延長		
T0-m2-0.00x0.00		
補修工法 補修番号 面積 補修幅x補修幅		
U0-m2-0.00x0.00		
補修工法 補修番号 面積 補修幅x補修幅		
K0-m2-0.00x0.00		
補修工法 補修番号 面積 補修幅x補修幅		
SE0-m2-0.00x0.00		
補修工法 補修番号 面積 補修幅x補修幅		

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等によるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

寺沖橋

図面番号	18 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	補修図(その15)		番 号	/
路線 名	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 16)

数量表(親柱)

[illegible]

数量表(親柱)

[illegible]

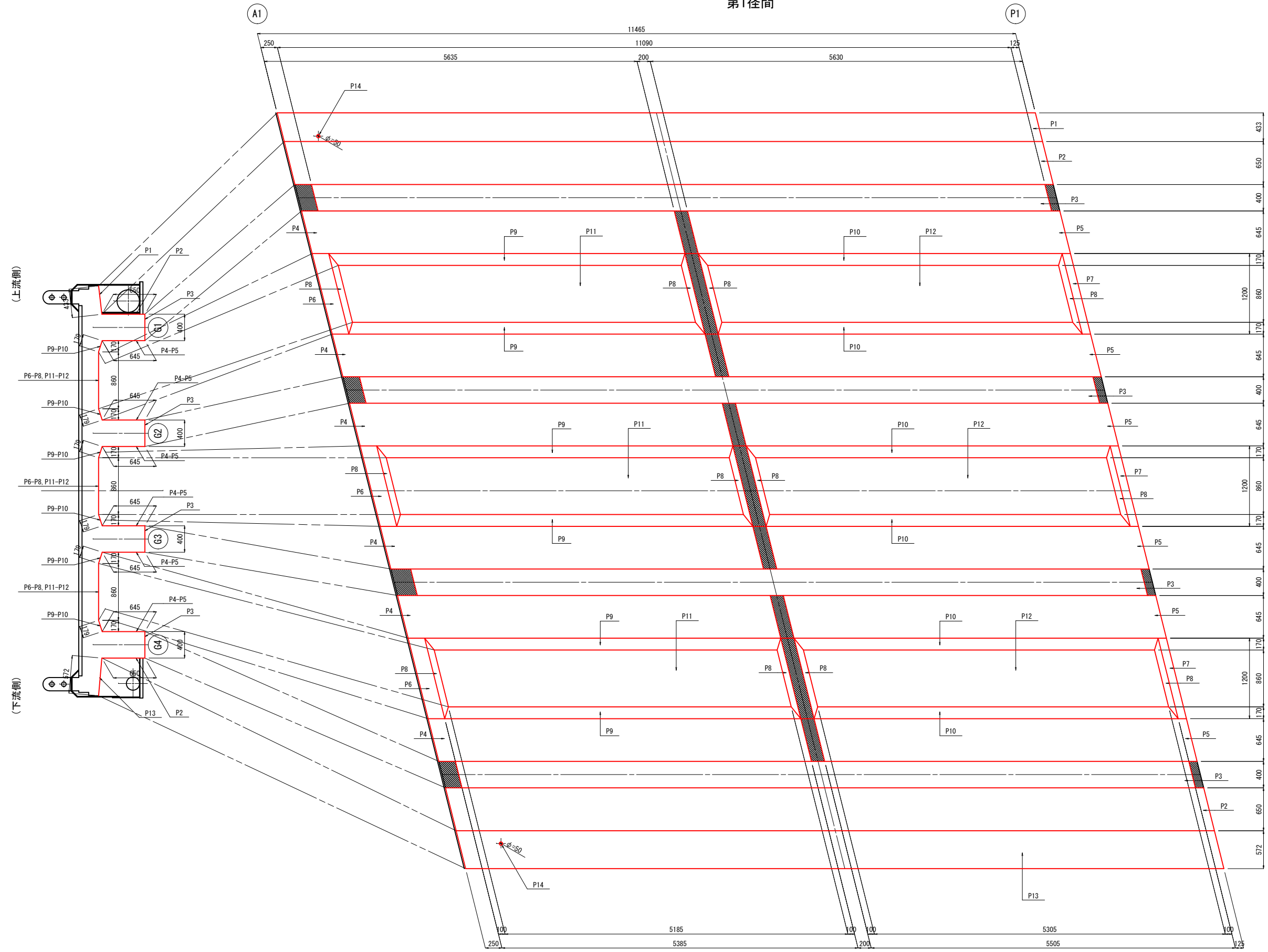
寺沖橋

図面番号	19 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図 (その16)	番号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

東 広 島 市

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 17) S=1:30

第1径間



凡 例

P		表面処理工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

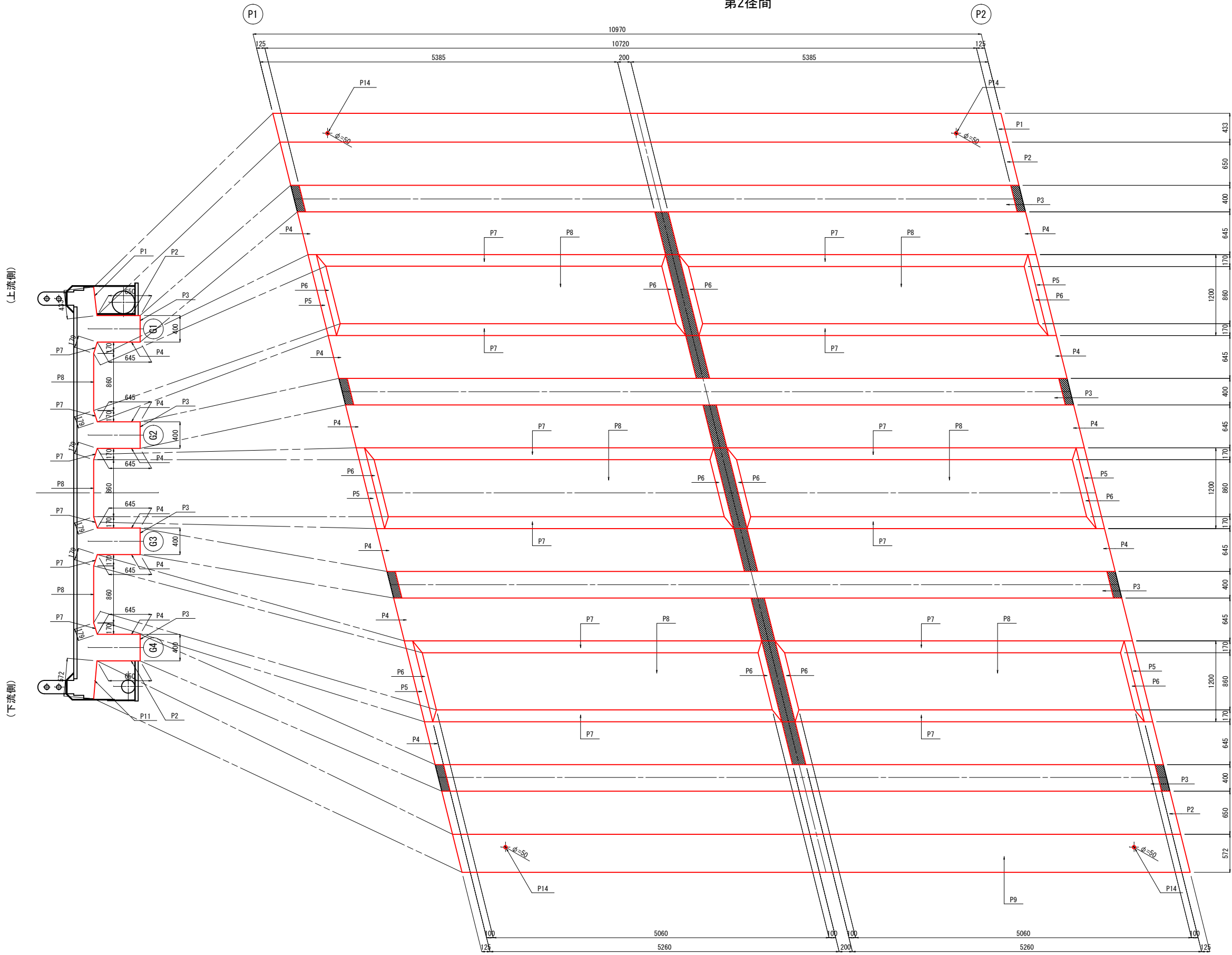
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材は亜硝酸リチウム併用型含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。

寺沖橋

図面番号	20 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	補修図(その17)		番 号	/
路線 河川 名	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 18) S=1:30

第2径間



凡 例

P		表面処理工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

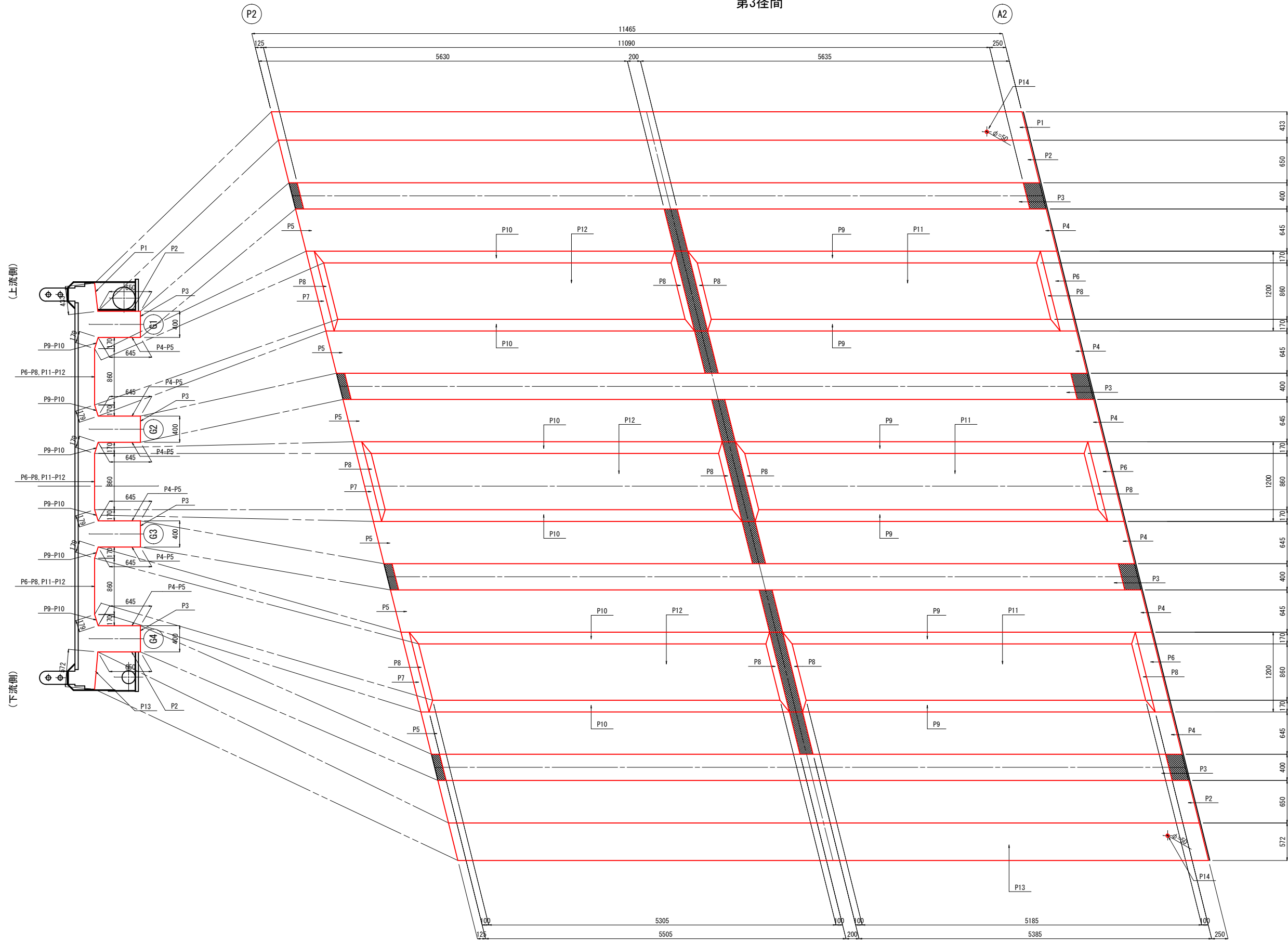
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 表面保護材は亜硝酸リチウム併用型含浸材とする。
※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
※ 気温0℃以下では施工しないこと。
※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。

寺沖橋

図面番号	21 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その18)	番 号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 19) S=1:30

第3径間



凡 例

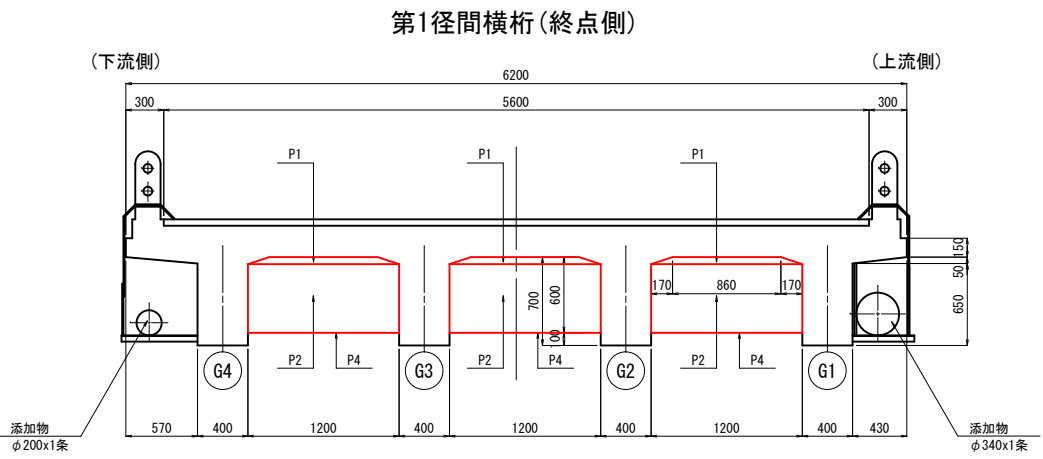
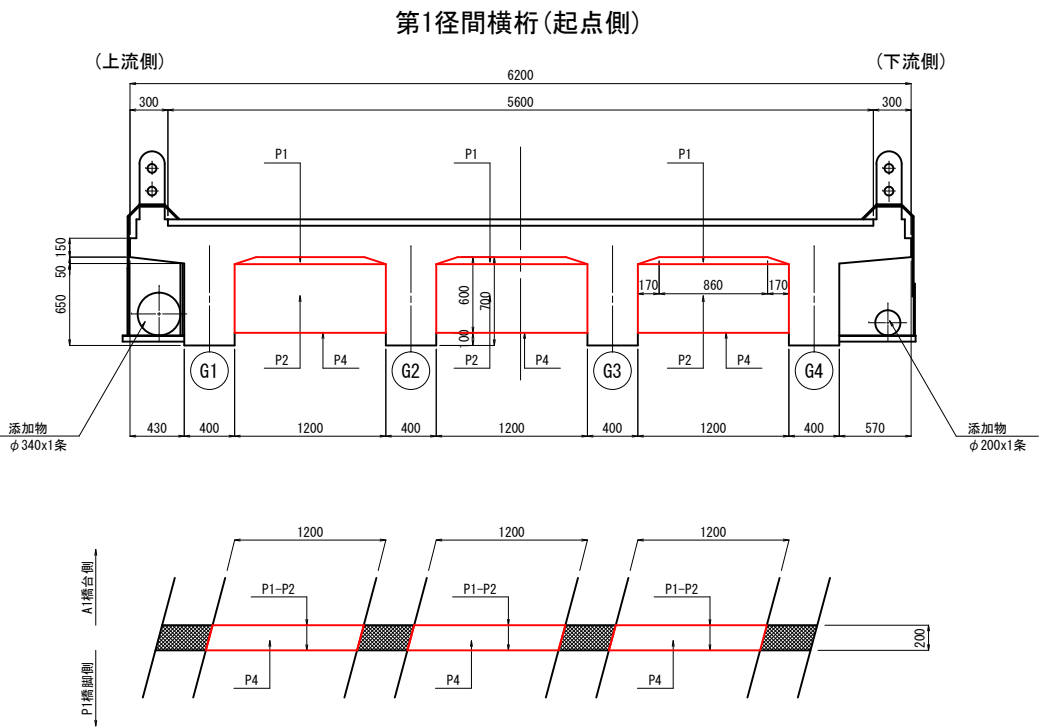
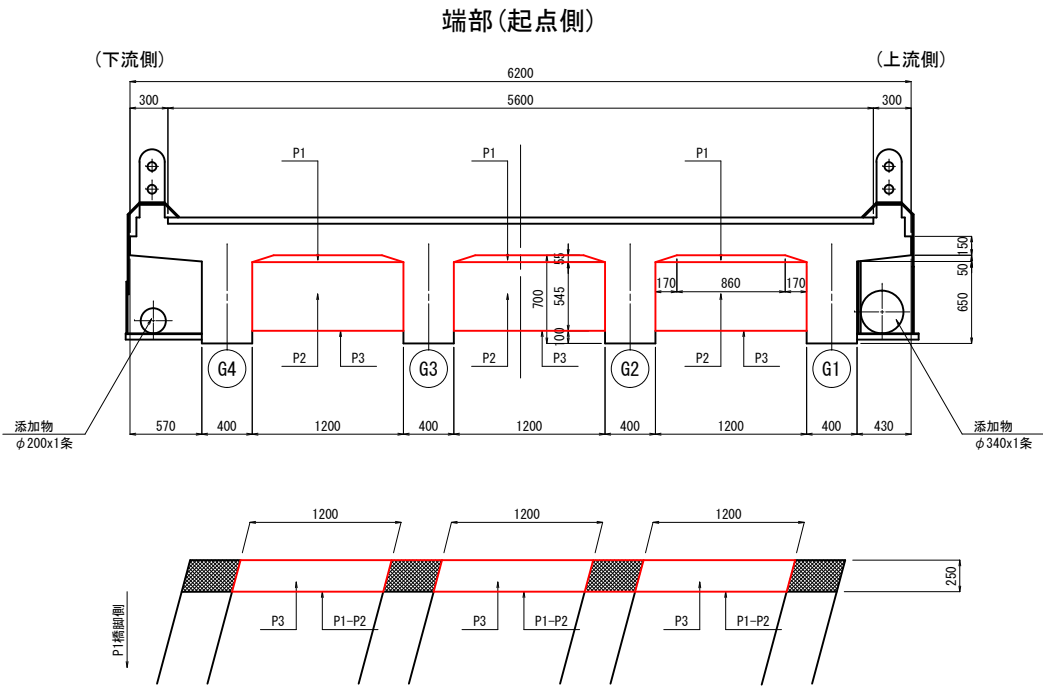
P		表面処理工
		設置面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材は亜硝酸リチウム併用型含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。

寺沖橋

図面番号	22 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その19)	番 号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 20) S=1:30



凡 例

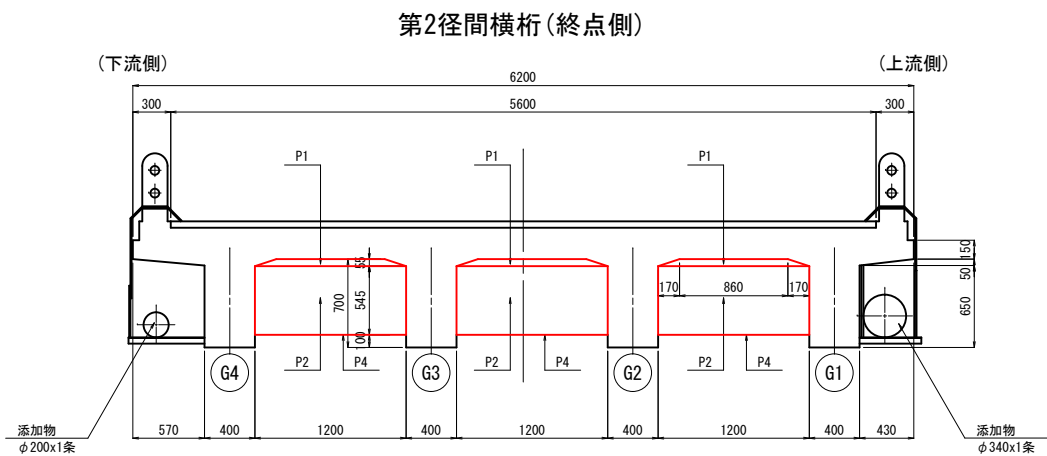
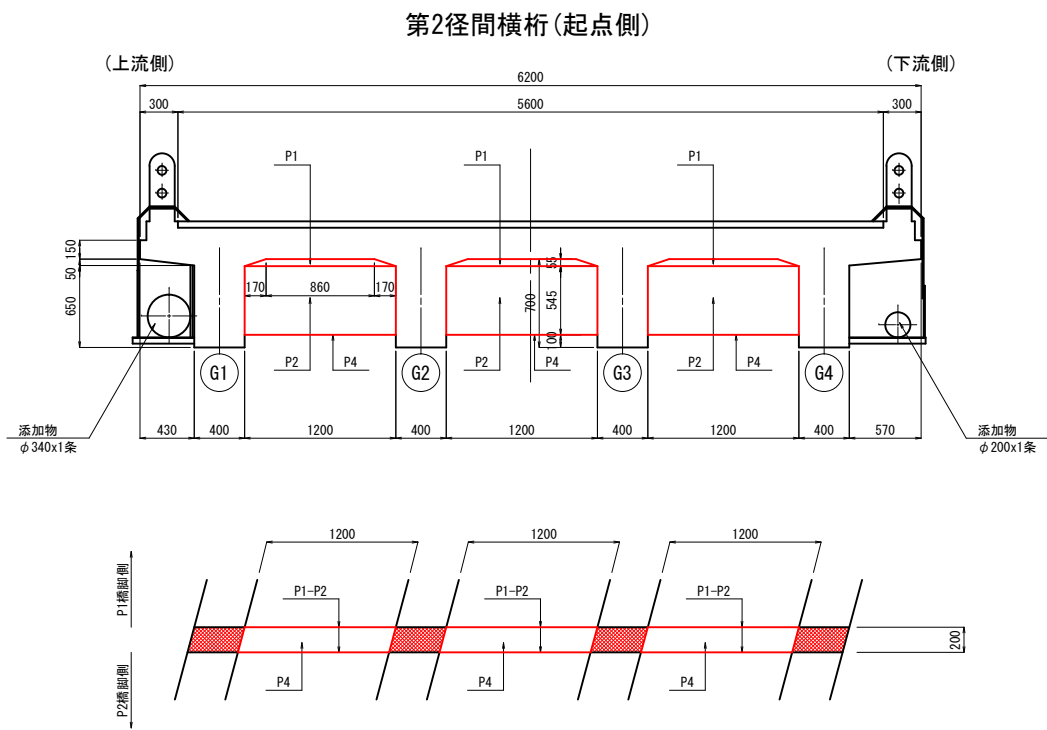
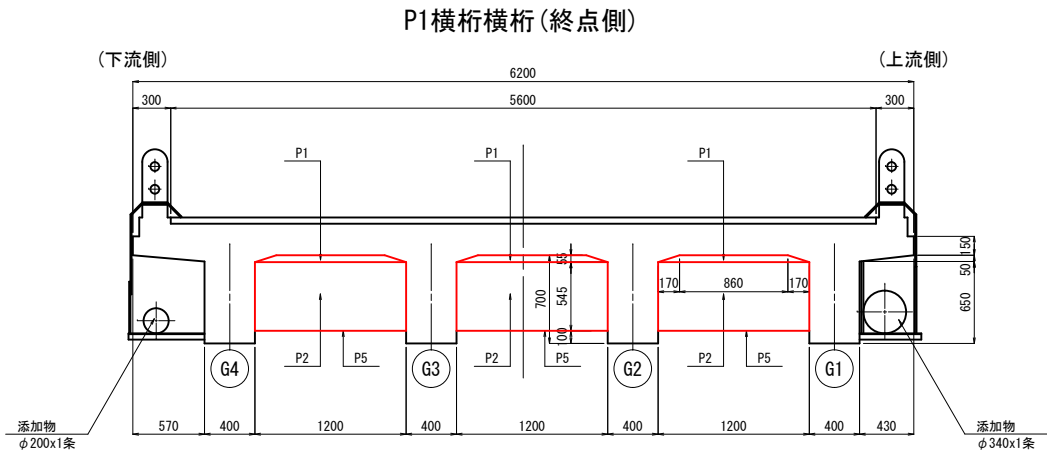
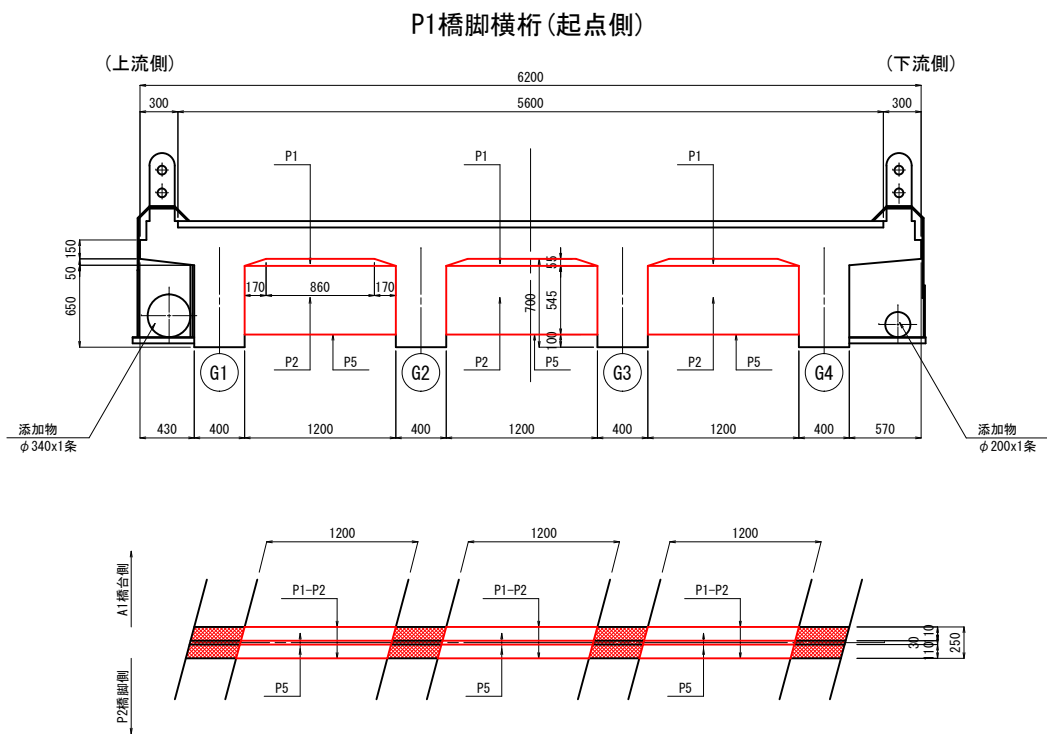
P		表面処理工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材は亜硝酸リチウム併用型含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。

寺沖橋

図面番号	23 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	補修図(その20)		番号	/
路線 河川 名	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 21) S=1:30



凡 例

P		表面処理工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

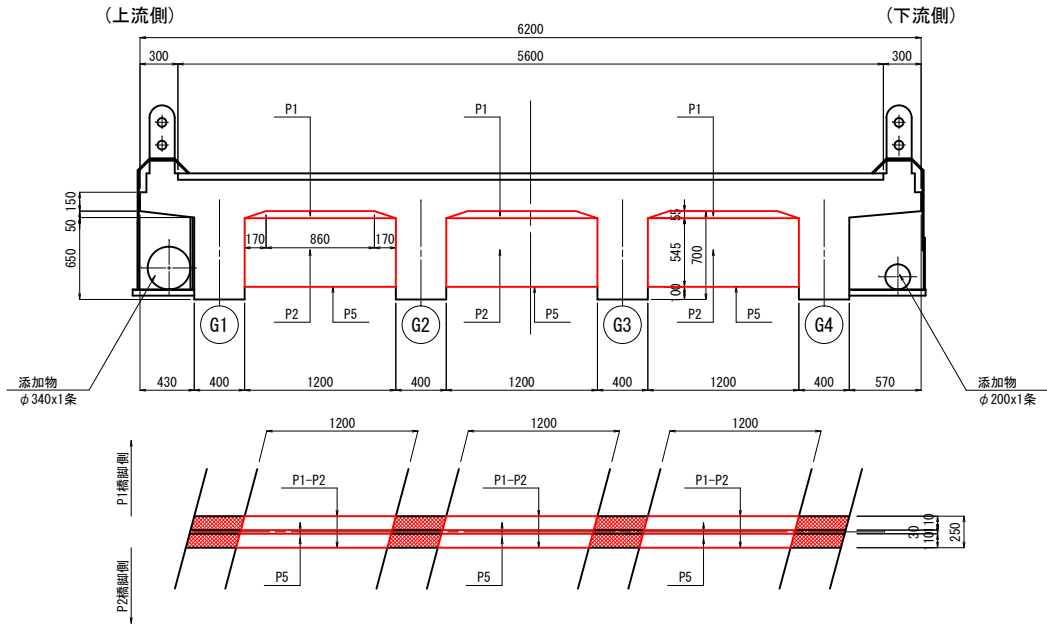
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材は亜硝酸リチウム併用型含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。

寺沖橋

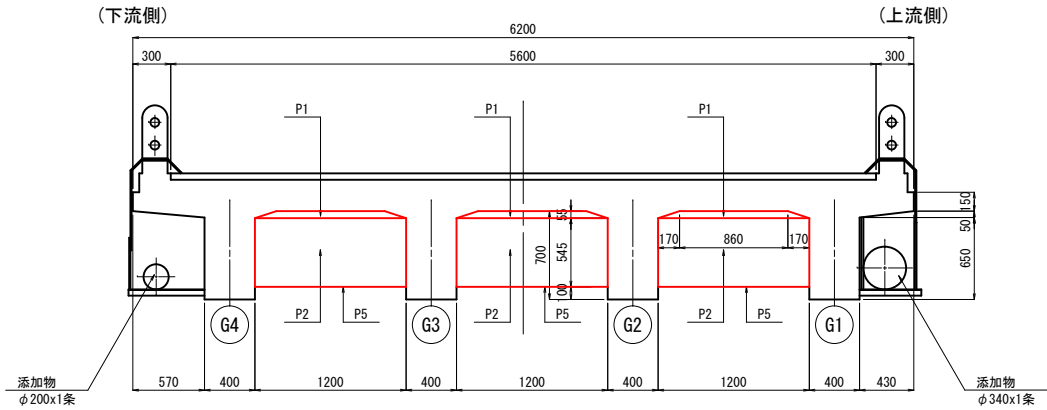
図面番号	24 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	補修図(その21)		番 号	/
路線 河川 名	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 2 2) S=1:30

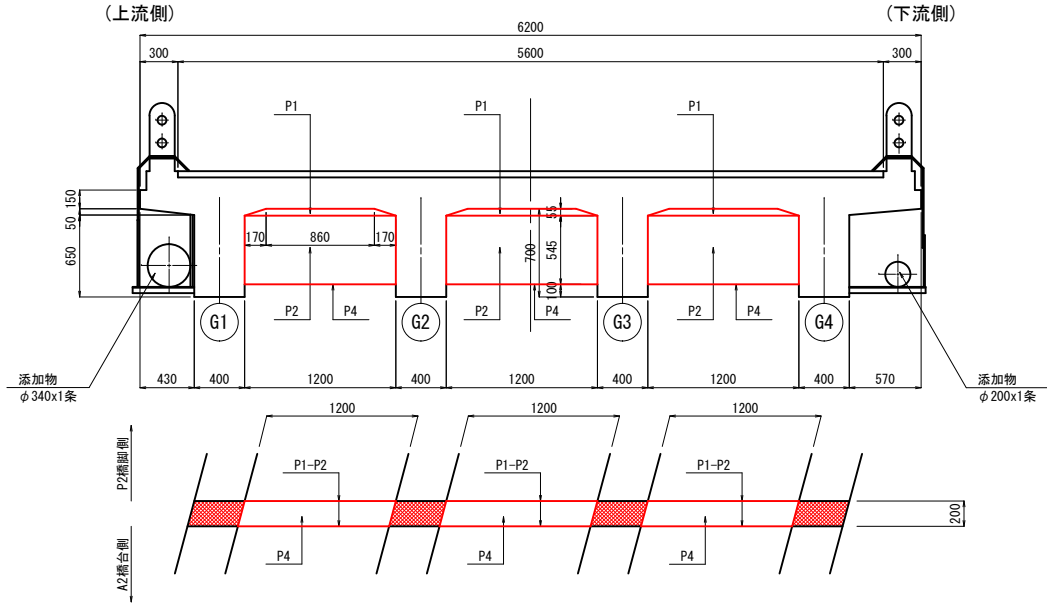
P2橋脚横桁(起点側)



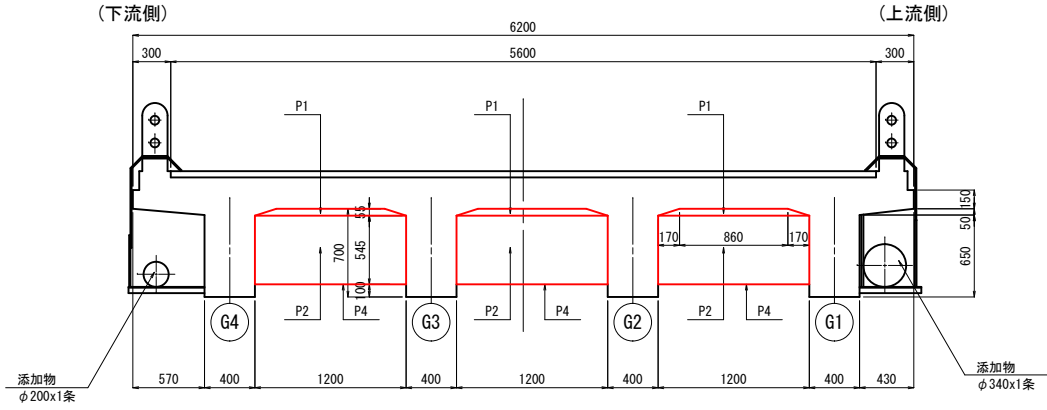
P2横桁横桁(終点側)



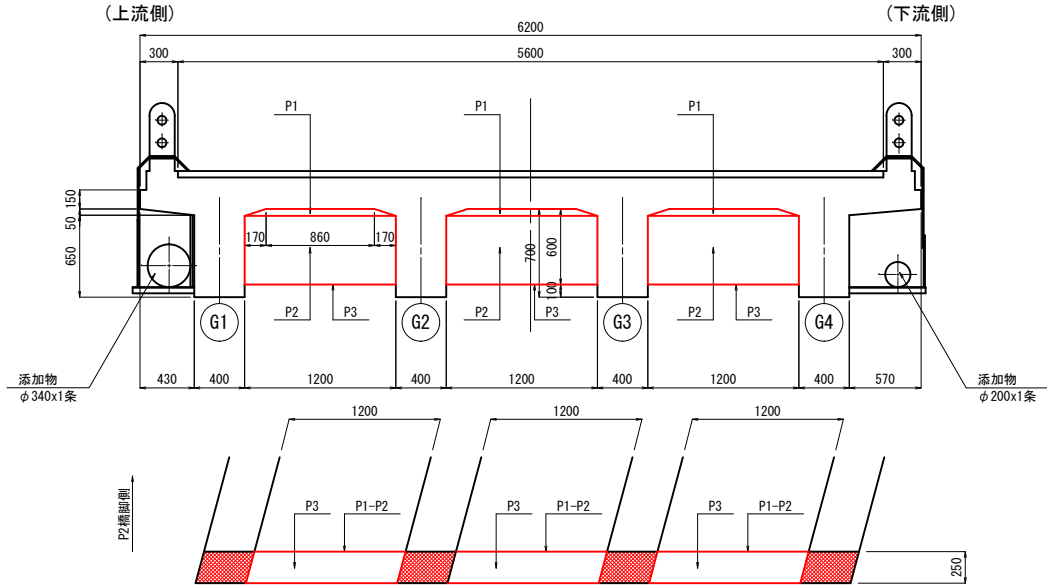
第3径間横桁(起点側)



第3径間横桁(終点側)



端部(終点側)



凡 例

P		表面処理工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

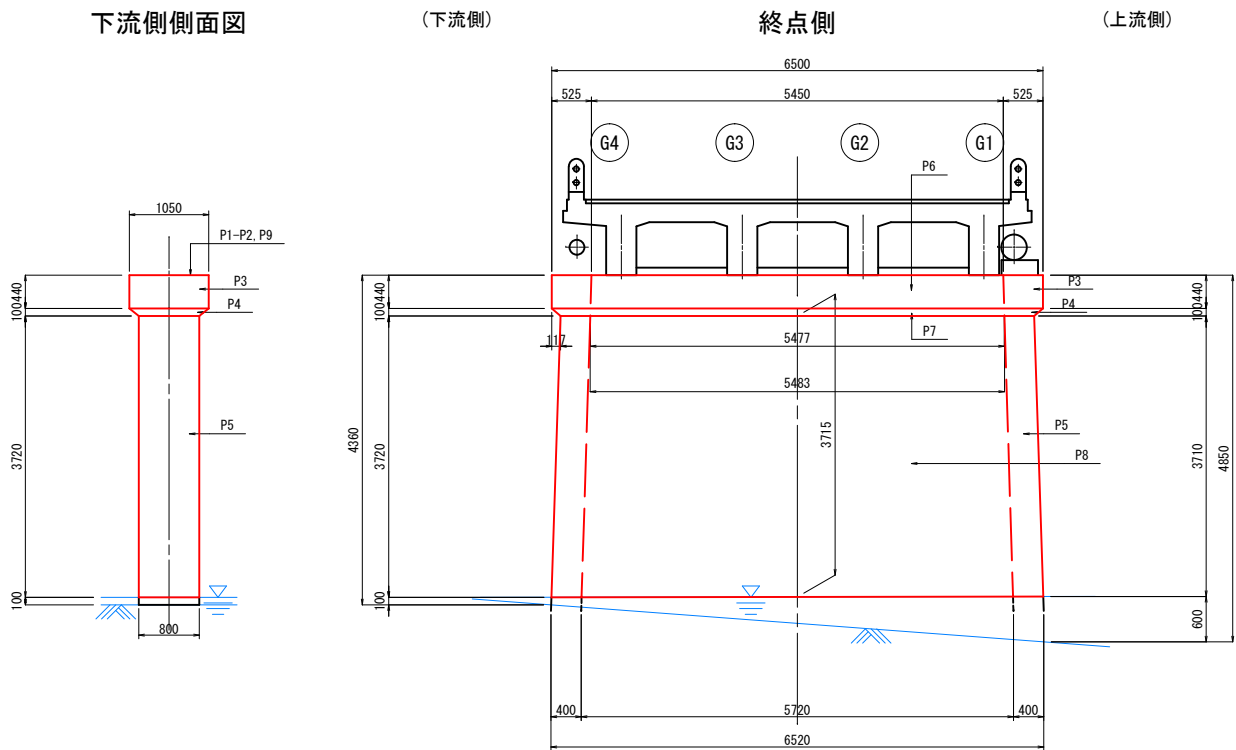
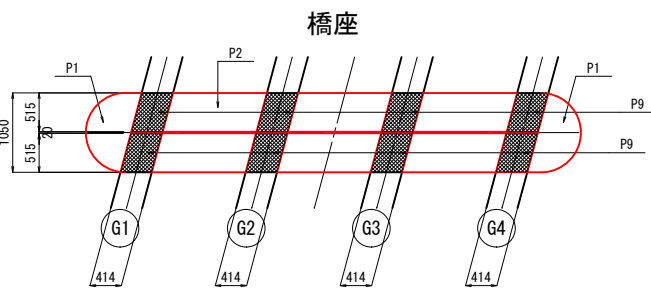
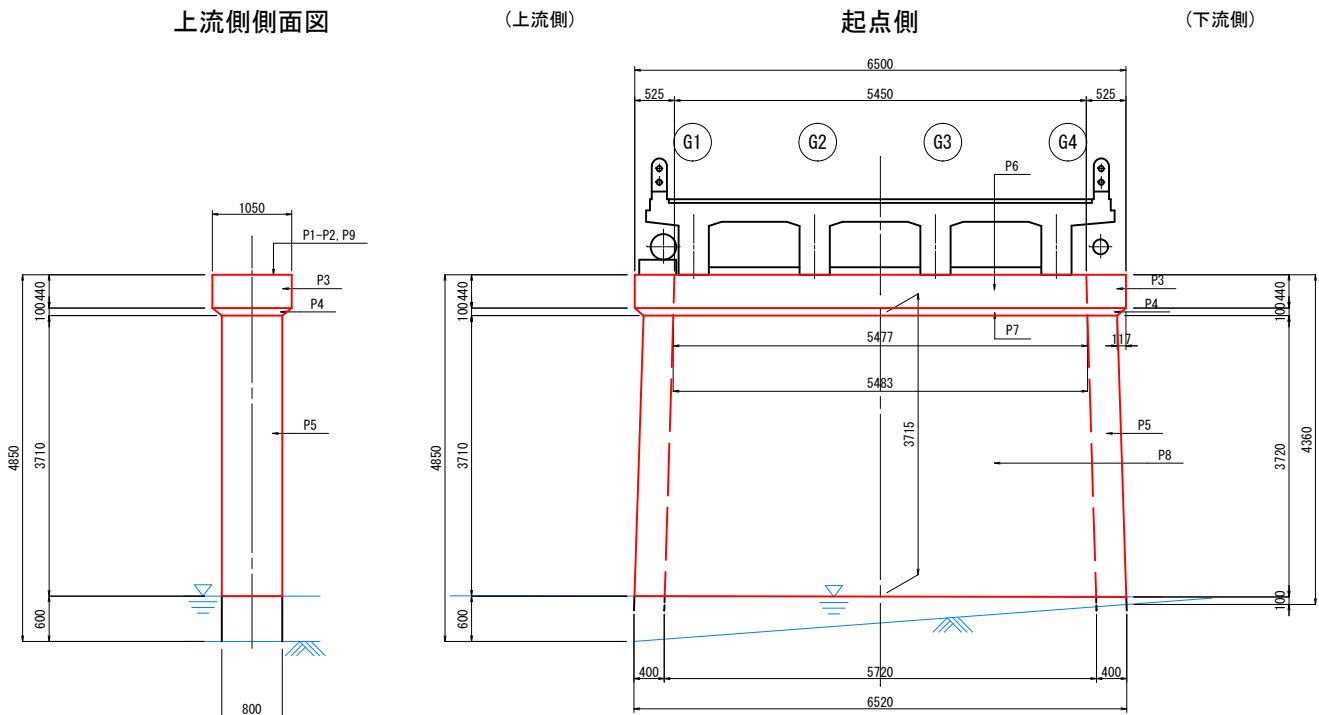
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材は亜硝酸リチウム併用型含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。

寺沖橋

図面番号	25 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その22)	番 号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 23) S=1:50

P1橋脚



凡 例

P		表面処理工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

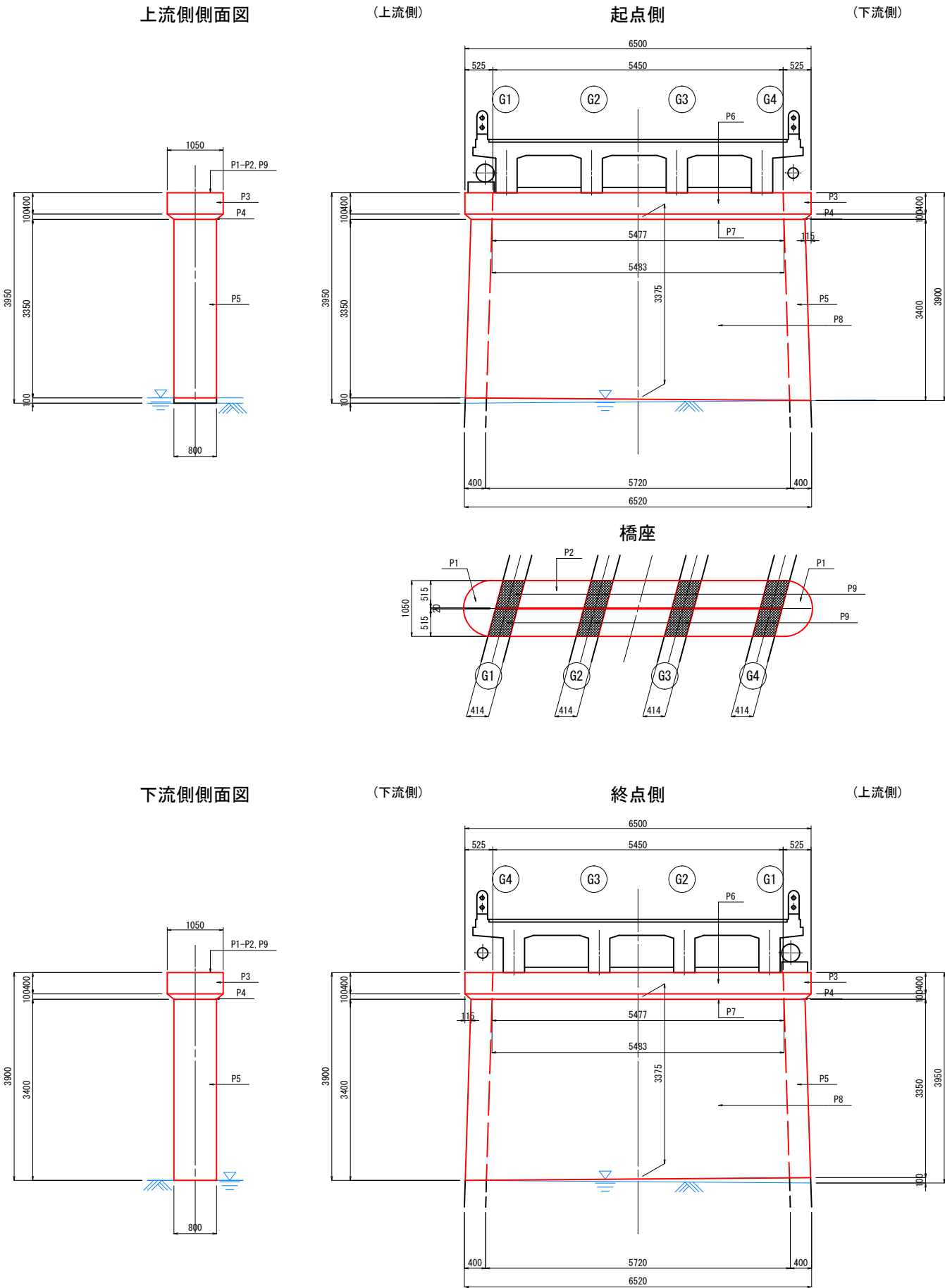
- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※ 表面保護材は亜硝酸リチウム併用型浸材とする。
※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
※ 気温0℃以下では施工しないこと。
※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。

寺沖橋

図面番号	26 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その23)	番 号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 補 修 図 (そ の 2 4) S=1:50

P2橋脚



凡 例

P		表面処理工
		設 置 面
P0		補修工法 補修番号

- ※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 表面保護材は亜硝酸リチウム併用型含浸材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。

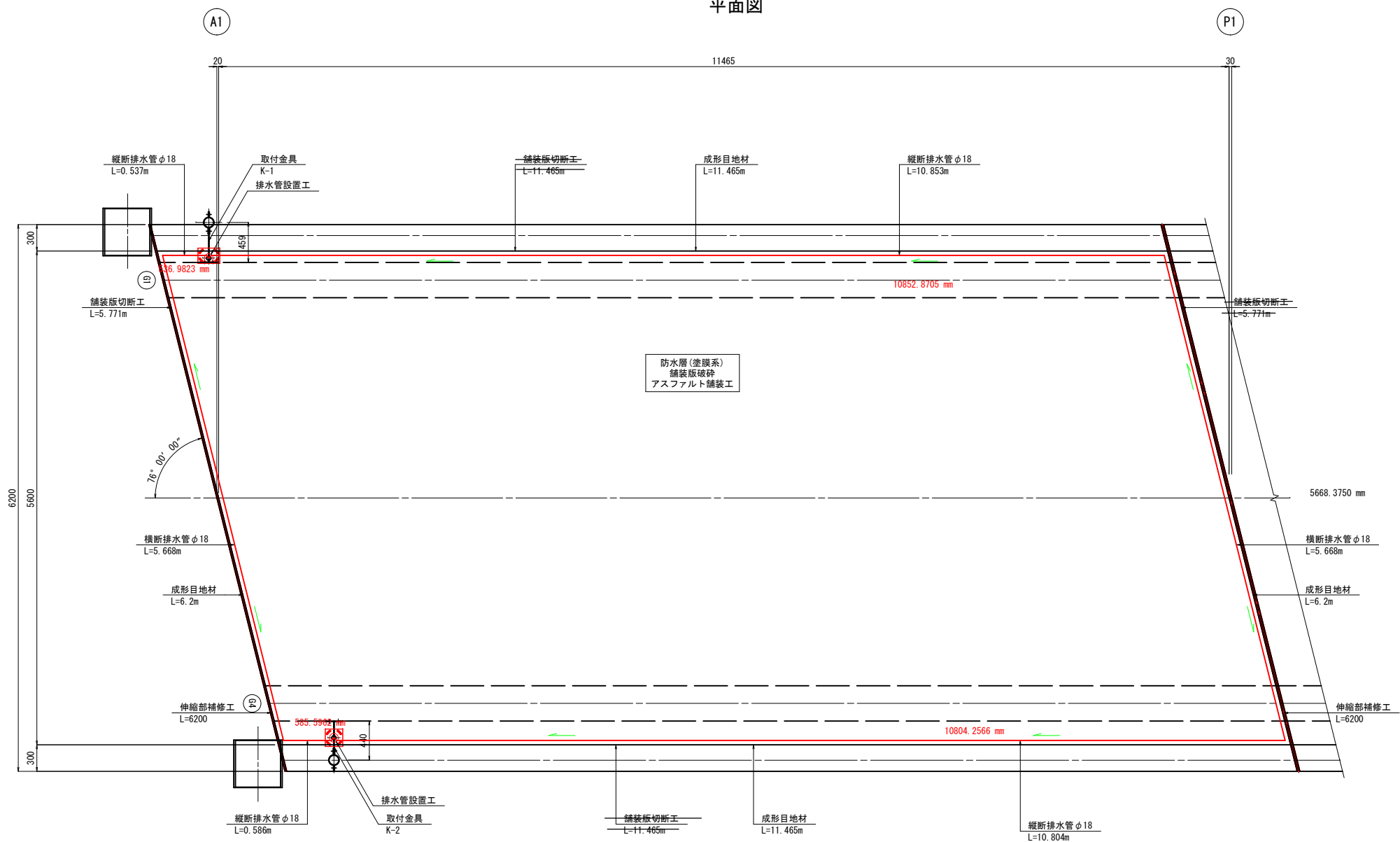
寺沖橋

図面番号	27 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	補修図(その24)	番 号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

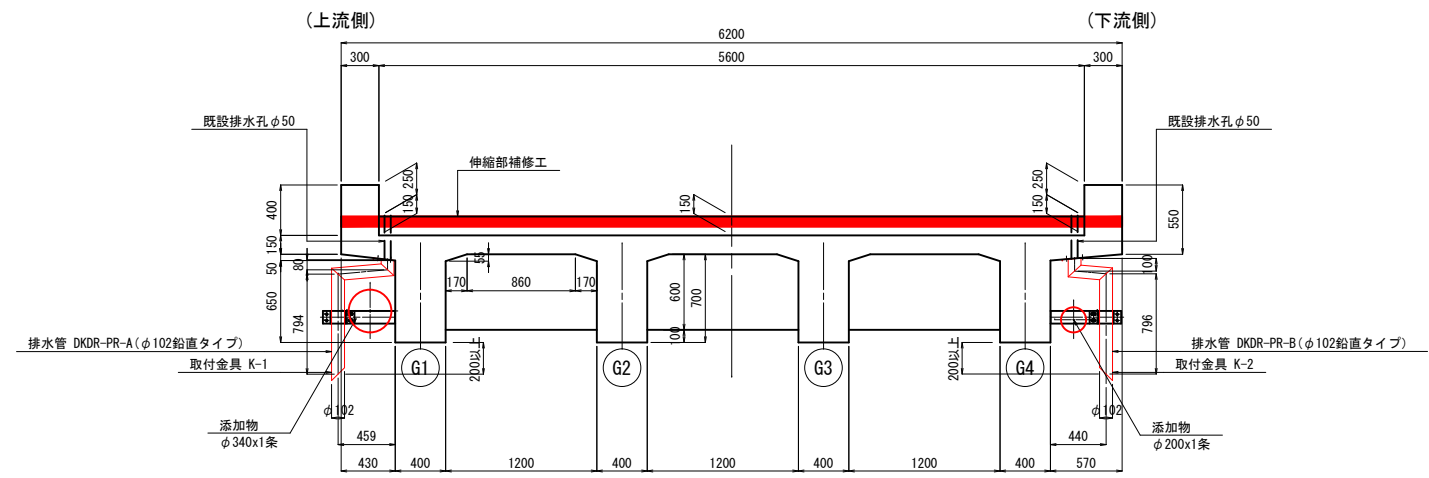
寺 沖 橋 橋 面 工 詳 細 図 (そ の 1) S=1:30

第1径間

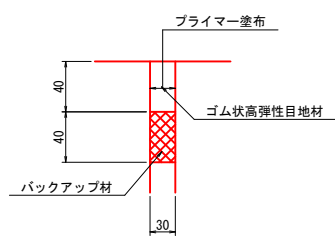
平面図



断面図 S=1:30



伸縮部詳細図 S=1:3



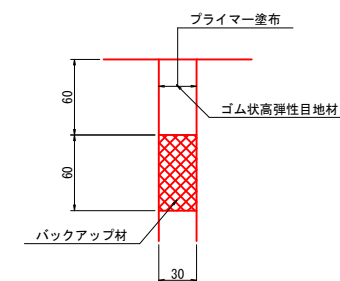
寺沖橋			
図面番号	28 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	橋面工詳細図(その1)	番号	/
路線 河川	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

S=1 : 30

平面図



S=1 : 30



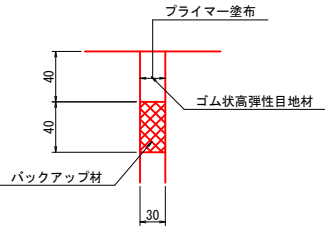
寺沖橋			
図面番号	29 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	橋面工詳細図(その2)		番 号 /
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

S=1 : 30

平面图



S=1:3

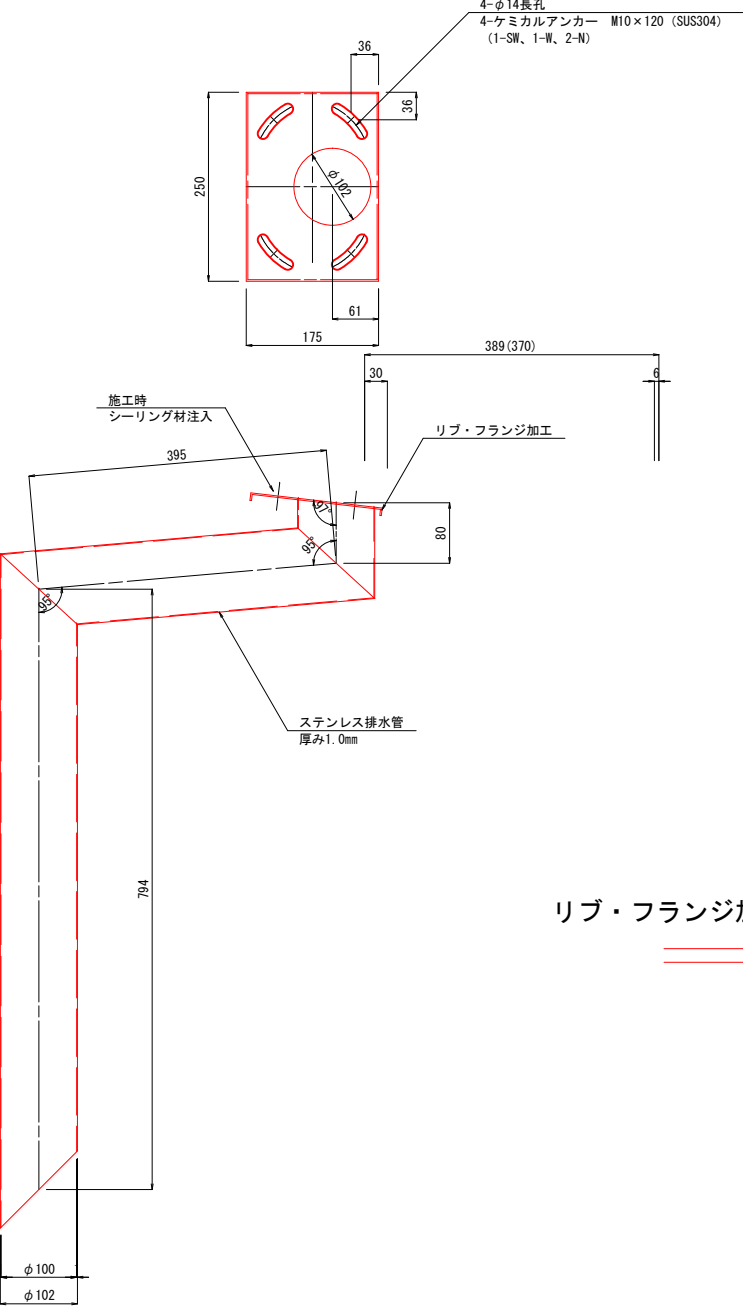


寺沖橋			
図面番号	30 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	橋面工詳細図(その3)		番 号 /
路線 河川 名	下条大線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 橋 面 工 詳 細 図 (そ の 4) S=1:5

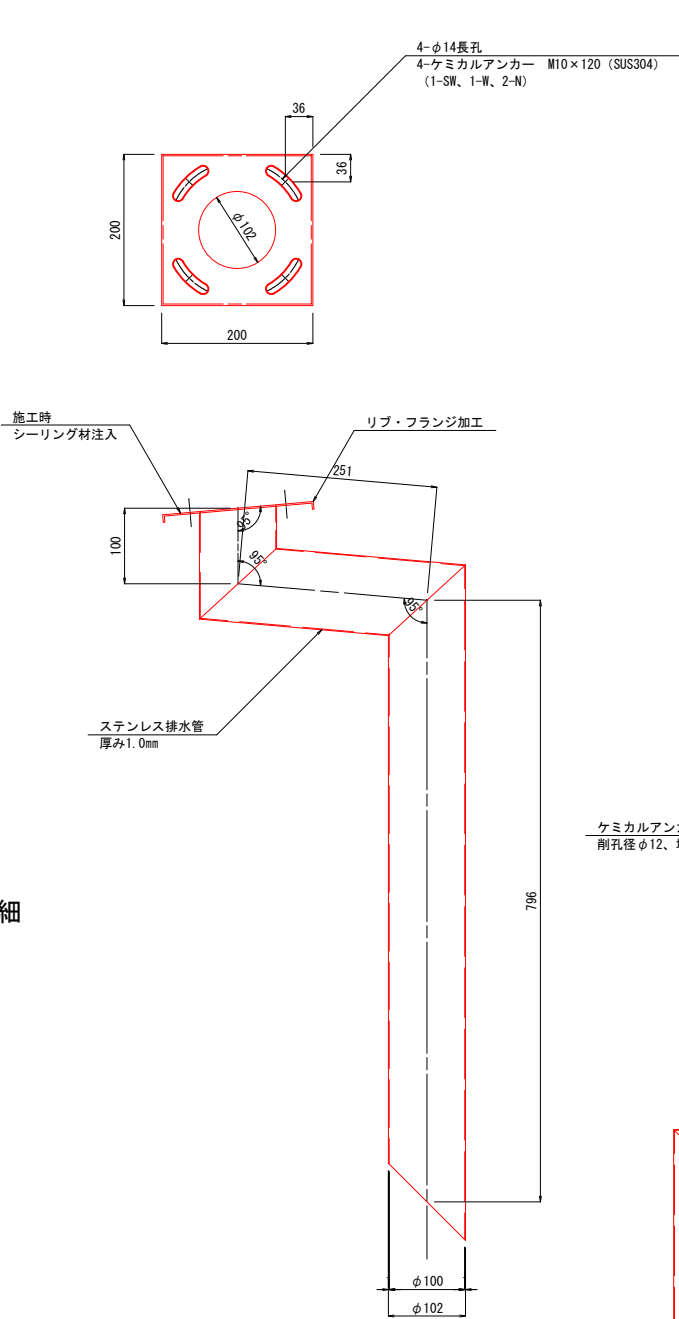
DKDR-PR-A (φ102鉛直タイプ)

製作数=4

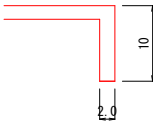


DKDR-PR-B (φ102鉛直タイプ)

製作数=4

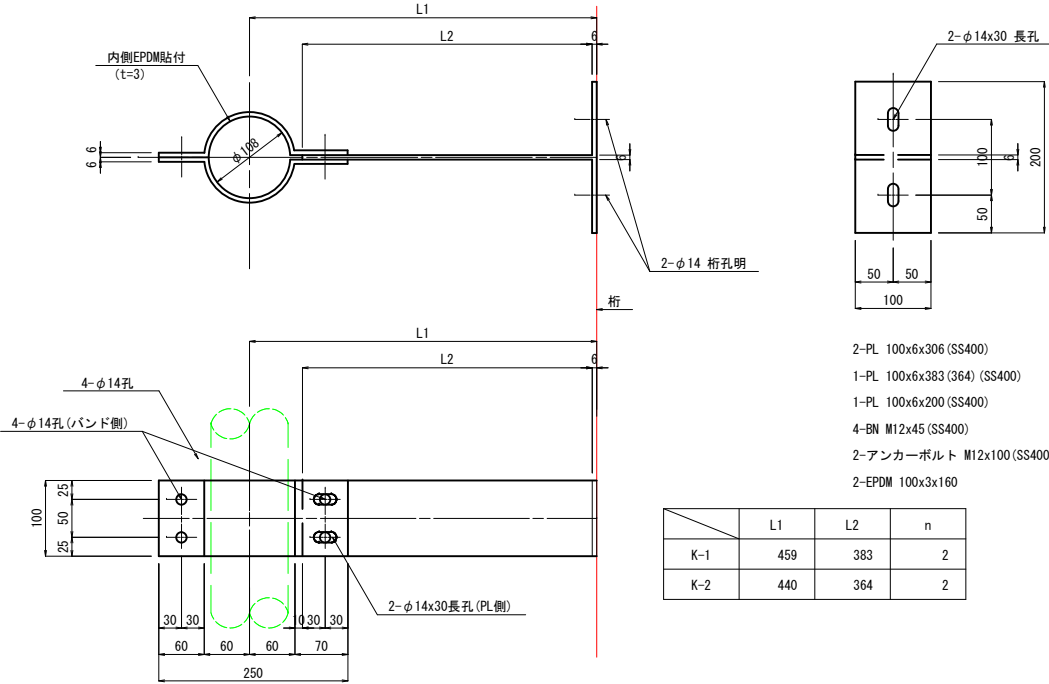


リブ・フランジ加工詳細

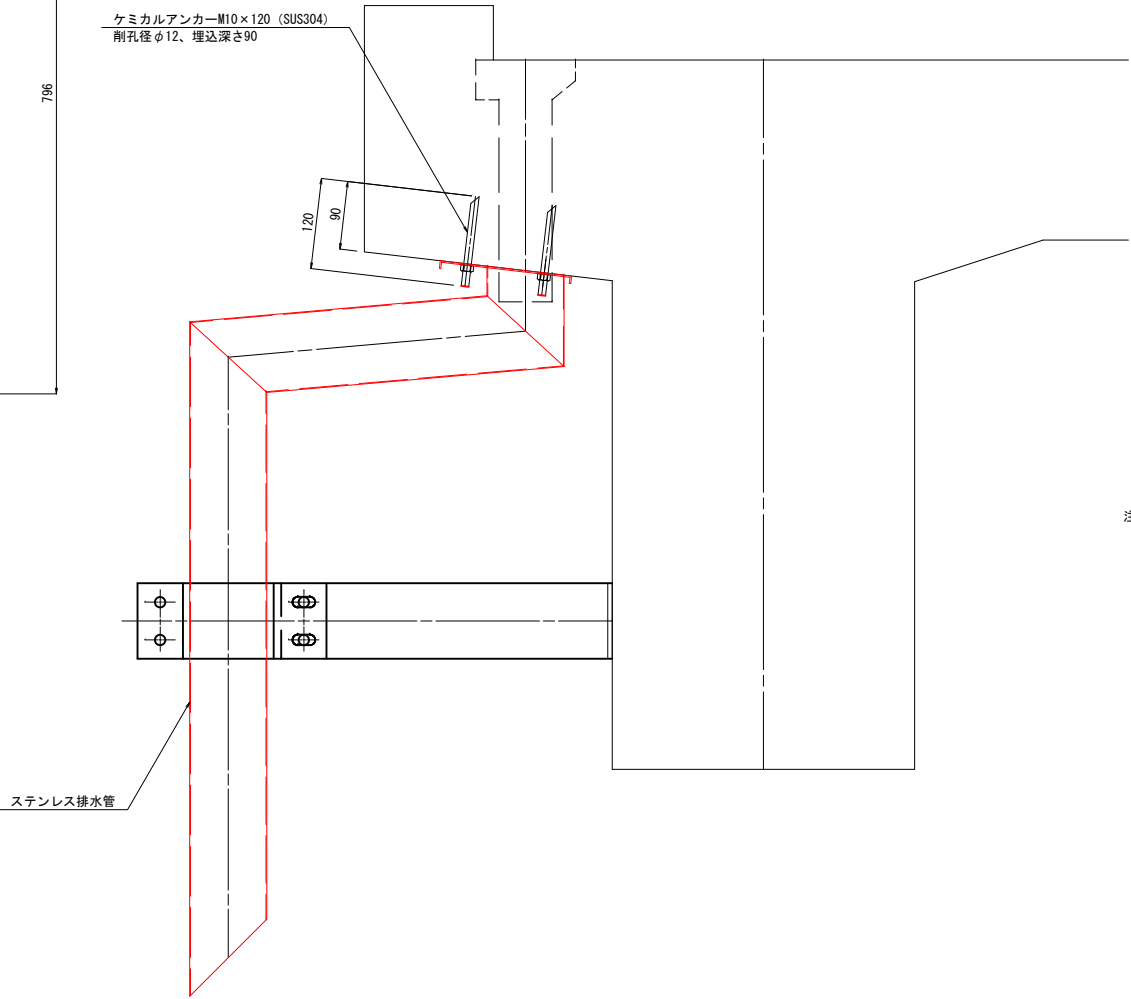


支持金具K-1, K-2

製作数=4 (4)



取付図例



- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 排水装置は、DKDR-PR (NETIS No. CB-190003-A) に準ずる。
4. SS400は全て溶融亜鉛メッキ (JIS H 8641 2種 HDZ55) 仕上げを行う。
但し、ボルト類はHDZ35とする。
6. 現地調査にて寸法確定後製作する。

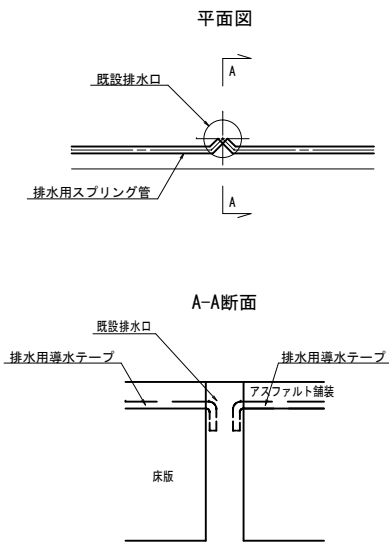
K-1 <材料表> (1本あたり)						
番号	部品名称	材質	寸法	数量	重量	備考
	プレート	SUS304	250x175	1	0.7	
	排水管	SUS304	φ102x1269	1	3.1	
	アンカーボルト (ずん切)	SUS304	M10x120	4		1-SW, 1-W, 2-N
合計重量					3.8kg	

K-2 <材料表> (1本あたり)						
番号	部品名称	材質	寸法	数量	重量	備考
	プレート	SUS304	200x200	1	0.6	
	排水管	SUS304	φ102x1147	1	2.8	
	アンカーボルト (ずん切)	SUS304	M10x120	4		1-SW, 1-W, 2-N
合計重量					3.4kg	

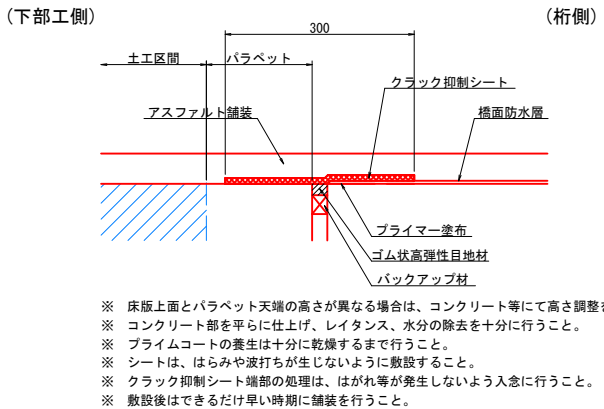
寺沖橋				
図面番号	31 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	橋面工詳細図(その4)		番号	/
路線 河川 名	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

寺 沖 橋 橋 面 工 詳 細 図 (そ の 5)

排水用導水テープ取付図 S=1:10



クラック防止シート張詳細図 S=1:10



路面切削工数量表

名 称	規 格	単位	数 量	第1径間	第2径間	第3径間	備 考
路面破砕	破砕 t=150mm	m ²	189.840	64.204	61.432	64.204	アスファルト舗装(車道部)
般運搬(路面切削)	アスファルト塊	m ³	26.578				
般処分	がれき類	m ³	26.578				

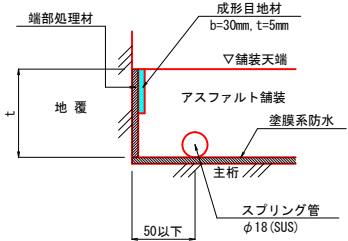
橋面防水工数量表

名 称	規 格	単位	数 量	第1径間	第2径間	第3径間	備 考
橋面防水	塗膜系アスファルト加熱型防水層	m ²	189.840	64.204	61.432	64.204	
ドレーン材	スプリング管 φ18	m	67.399	22.780	21.840	22.779	SUS製(縦断排水管)
ドレーン材	スプリング管 φ18	m	34.008	11.336	11.336	11.336	SUS製(横断排水管)
目地工	成型目地材 b=30mm・t=5mm	m	102.426	34.472	33.482	34.472	

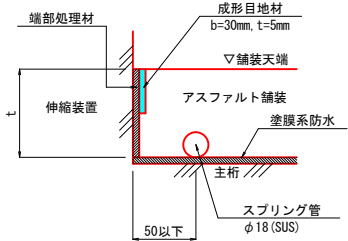
アスファルト舗装工数量表(橋面部)

名 称	規 格	単位	数 量	第1径間	第2径間	第3径間	備 考
表層(車道・路肩部)	再生密粒度(20) t=5cm PK-4	m ²	189.840	64.204	61.432	64.204	平均幅員 5.6m
表層(車道・路肩部)	再生粗粒度(20) t=5cm PK-4	m ²	189.840	64.204	61.432	64.204	平均幅員 5.6m
表層(車道・路肩部)	再生粗粒度(20) t=5cm 瀝青材無し	m ²	189.840	64.204	61.432	64.204	平均幅員 5.6m

縦断排水, 地覆部防水詳細図 S=1:3



横断排水, 端部防水詳細図 S=1:3



伸縮部補修工数量表

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
下地処理		m	24.800	
目地材充填	ゴム状高弾性目地材 20×40mm	m	12.400	
	ゴム状高弾性目地材 30×60mm	m	24.80	
バックアップ材	ウレタンフォーム 20×40mm	L	9.920	
	ウレタンフォーム 30×60mm	L	44.640	
クラック抑制シート	ガラス基材 b=20cm	m	11.200	
	ガラス基材 b=30cm	m	22.400	
クラック防止シート張	クラック防止シート	m	22.400	

- ※ 本図面は、現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 舗装版取壊しを行う際は、床版等を破損しないよう注意すること。
- ※ コンクリートを削孔する際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。
- ※ 既設舗装撤去後に床版上面に不陸が見られる場合は、モルタル等で不陸整正を行うこと。
- ※ 排水勾配が逆勾配となる箇所については、施工時に排水勾配を設けること。
- ※ 防水材塗布時は表面水分量10%以下とすること。
- ※ 防水材塗布は、気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ スプリング管については、既設排水側に接続のこと。

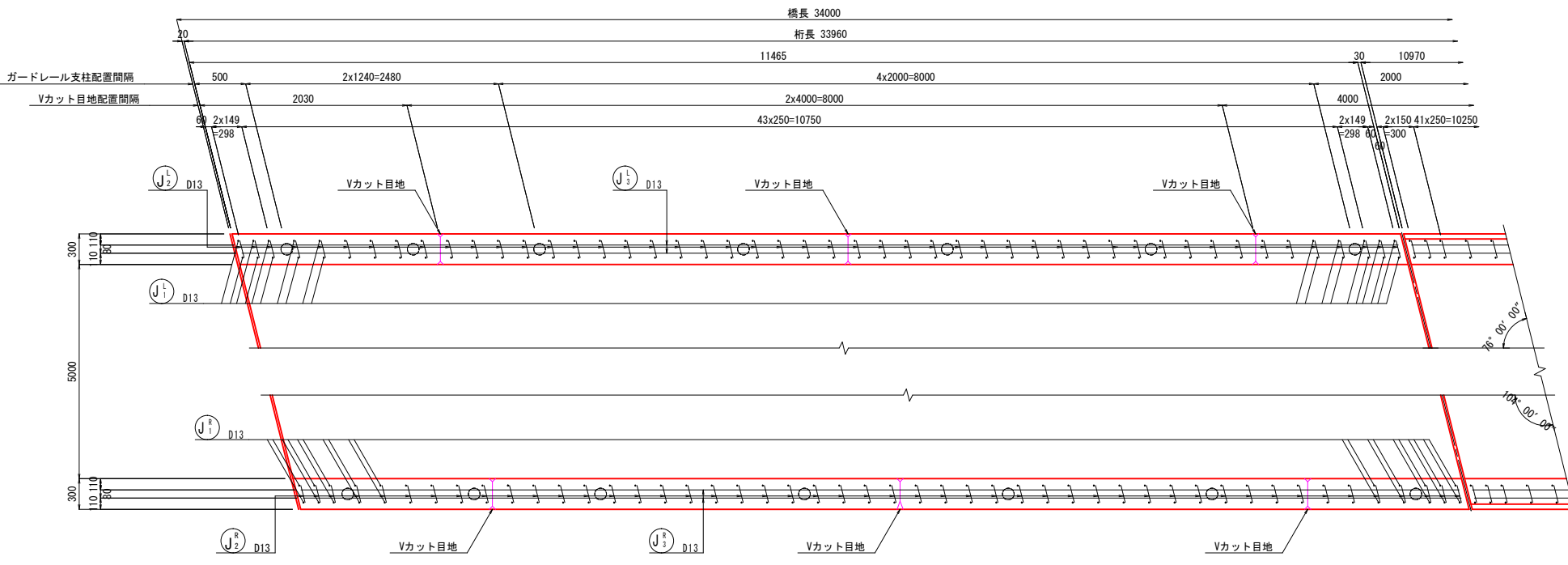
寺沖橋

図面番号	32 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	橋面工詳細図(その5)	番 号	/
路線 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

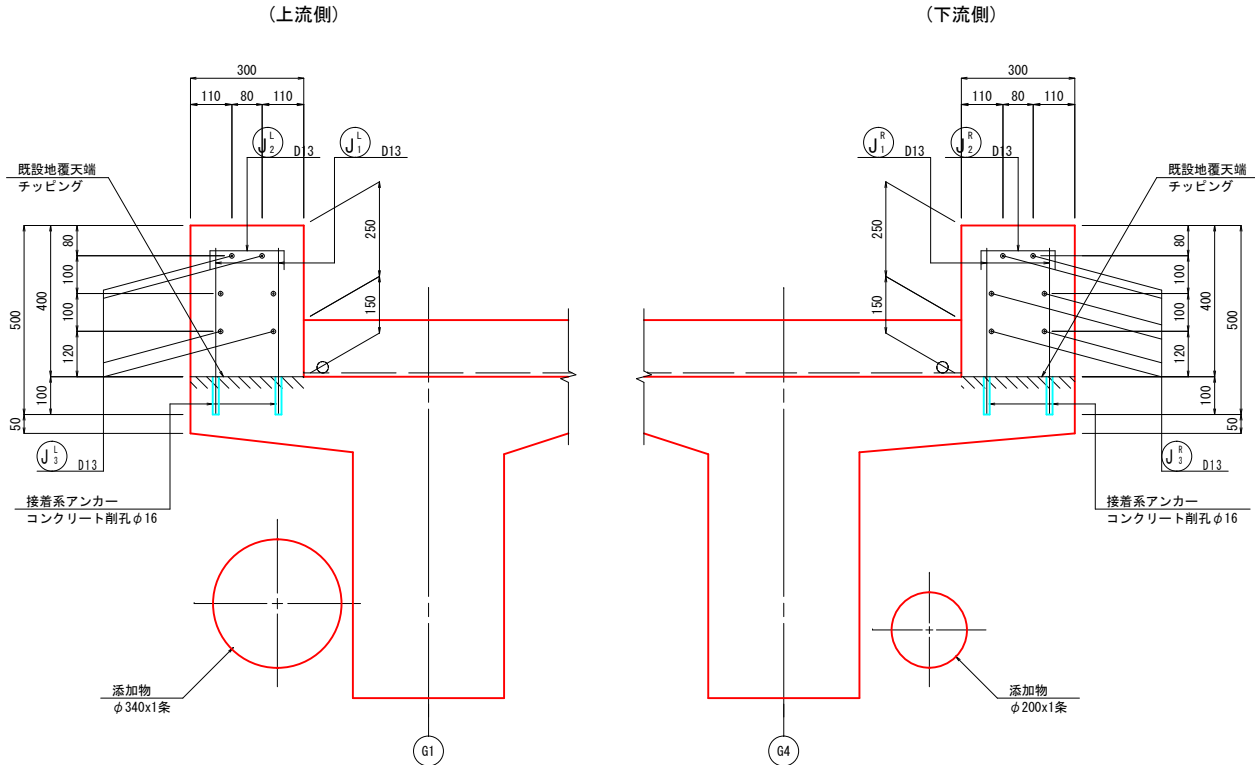
寺 沖 橋 地 覆 打 替 え 工 (そ の 1)

第1径間

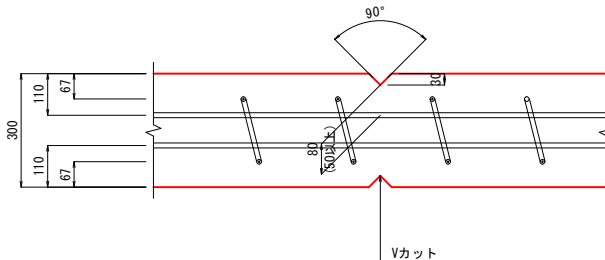
平面図 S=1:30



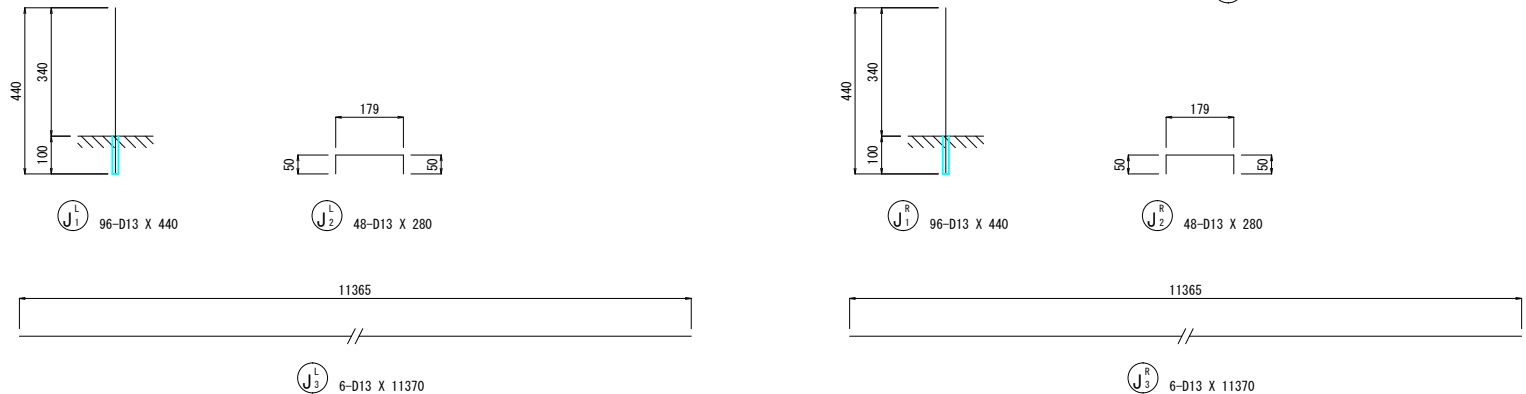
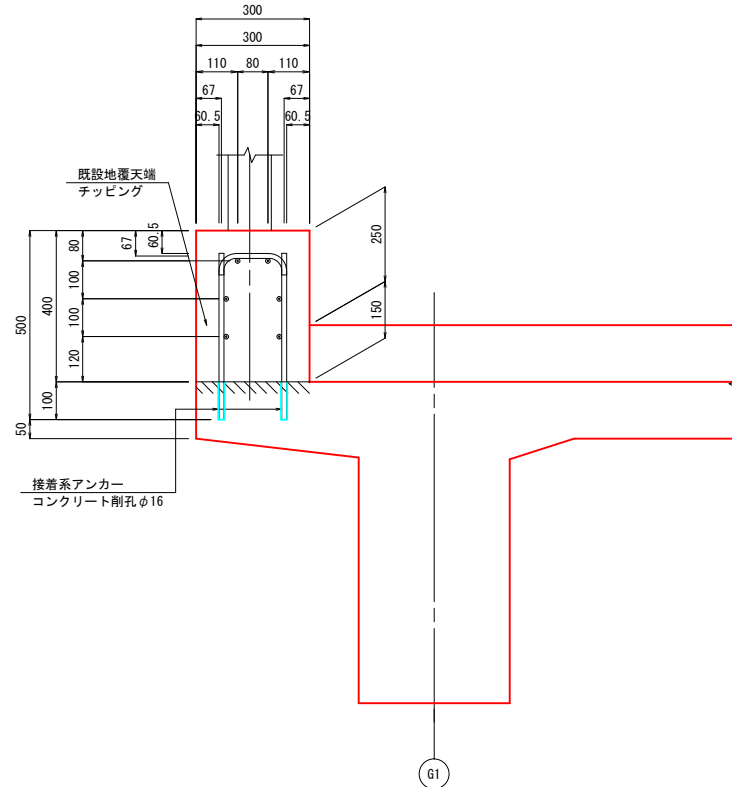
断面図 S=1:10



Vカット詳細図 S=1:10



かぶり詳細図 S=1:10



鉄筋表

(1橋当り) (第1径間)							摘 要
種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一 本 当 り 質 量	質 量	
J ₁ ^L	D13	440	96	0.995	0.44	42	↑ (96)
J ₂ ^L	D13	280	48	0.995	0.28	13	┌ (48)
J ₃ ^L	D13	11370	6	0.995	11.31	68	— (6)
123							
J ₁ ^R	D13	440	96	0.995	0.44	42	↑ (96)
J ₂ ^R	D13	280	48	0.995	0.28	13	┌ (48)
J ₃ ^R	D13	11370	6	0.995	11.31	68	— (6)
123							
SD345							
合 計 D13				246 kg			
総質量				246 kg			
コンクリート削孔 (φ16)				192 箇所			
接着系アンカー (M12)				192 箇所			

※2. ()内値はコンクリート削孔及び接着系アンカーの箇所数を示す。

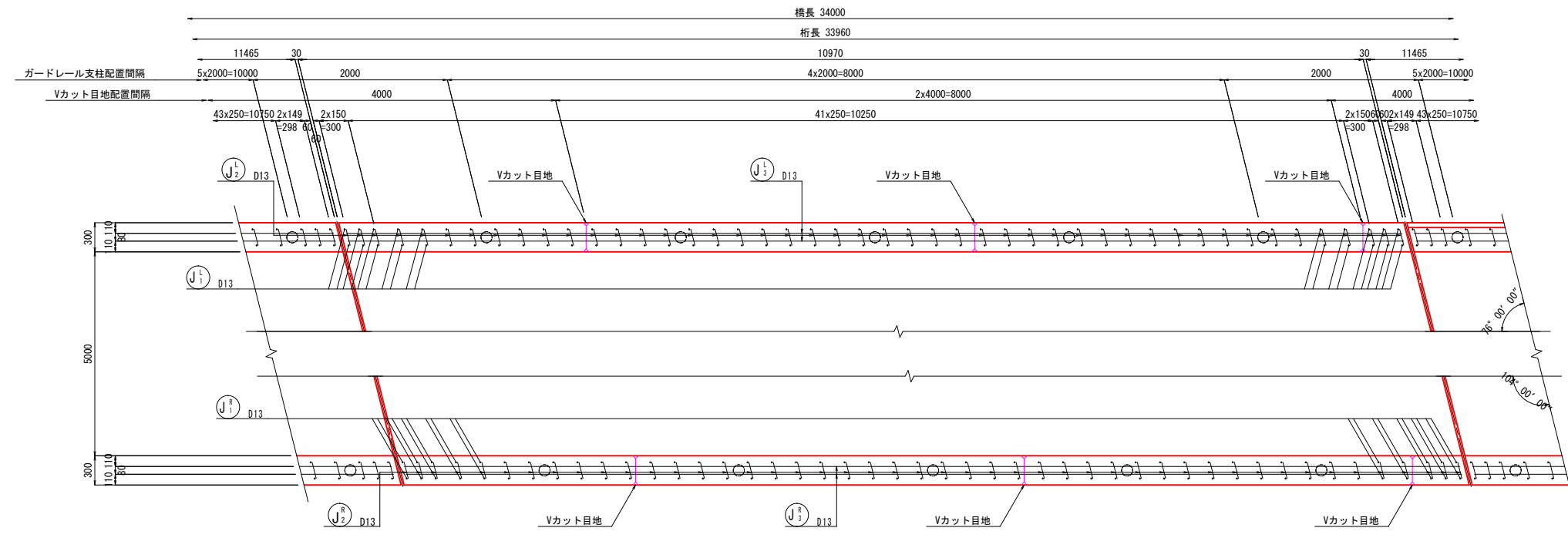
※1. 地覆部のコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする

寺沖橋				
図面番号	33 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	地覆打替え工(その1)		番号	/
路線 河川	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

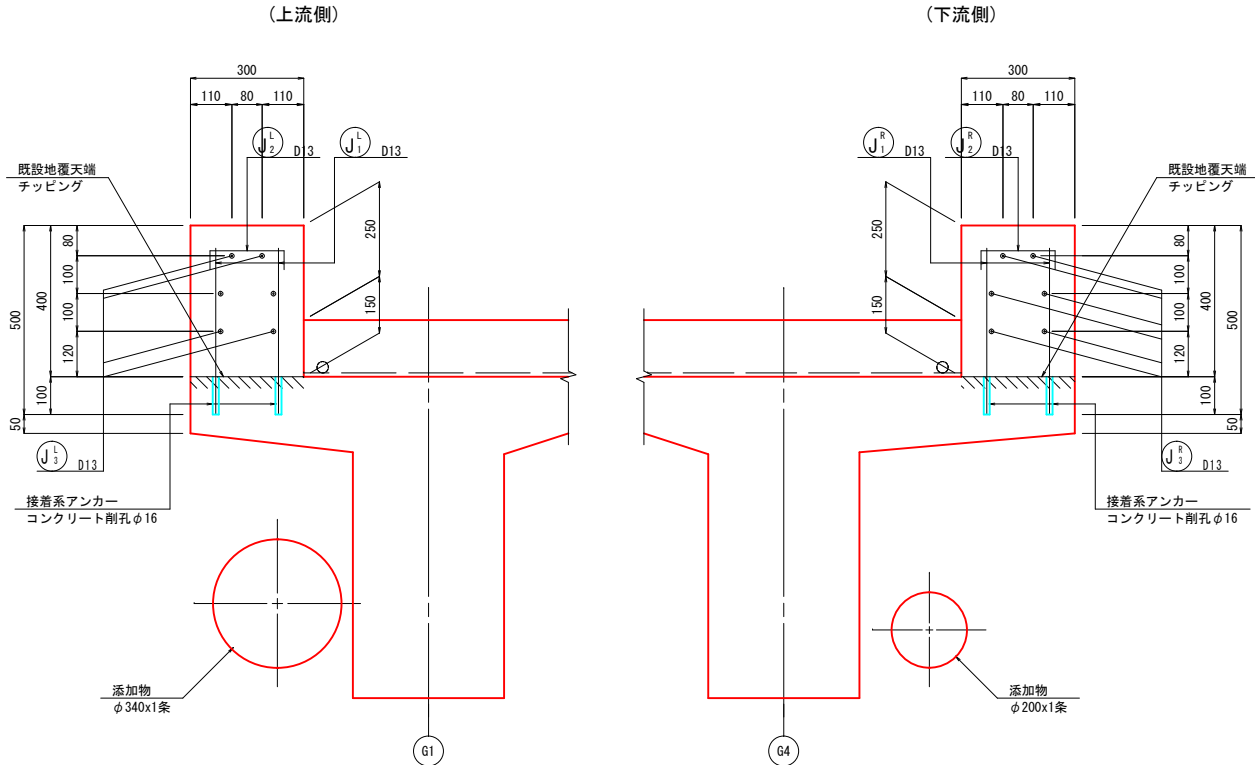
寺 沖 橋 地 覆 打 替 え 工 (そ の 2)

第2径間

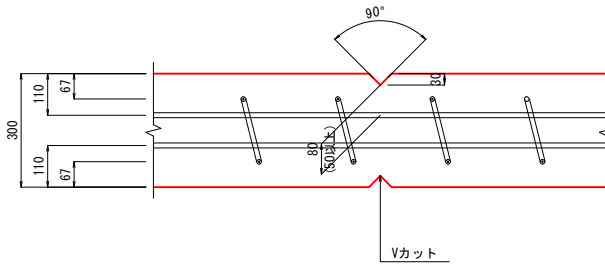
平面図 S=1:30



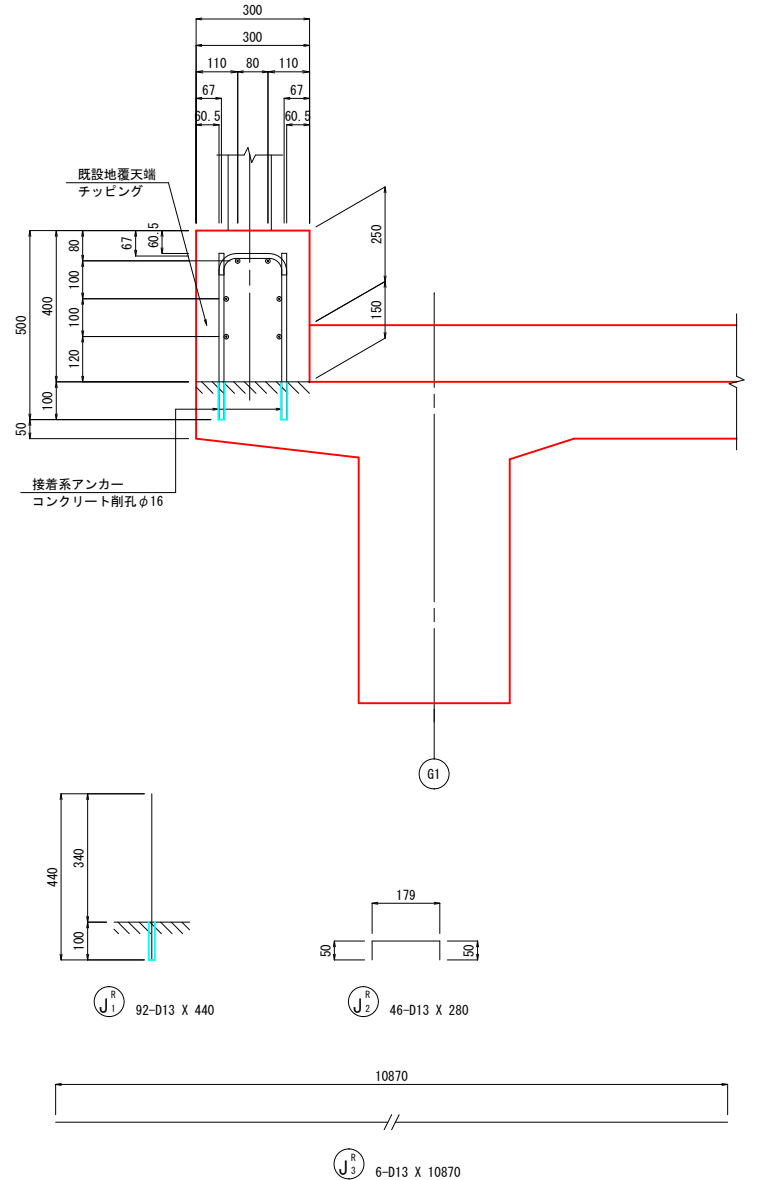
断面図 S=1:10



Vカット詳細図 S=1:10



かぶり詳細図 S=1:10



鉄筋表

(1橋当り) (第2径間)						
種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一 本 当 り 質 量	質 量
J ₁ ^L	D13	440	92	0.995	0.44	40
J ₂ ^L	D13	280	46	0.995	0.28	13
J ₃ ^L	D13	10870	6	0.995	10.82	65
118						
J ₁ ^R	D13	440	92	0.995	0.44	40
J ₂ ^R	D13	280	46	0.995	0.28	13
J ₃ ^R	D13	10870	6	0.995	10.82	65
118						
SD345						
合 計 D13				236 kg		
総質量				236 kg		
コンクリート削孔 (φ16)				184 箇所		
接着系アンカー (M12)				184 箇所		

※2. ()内値はコンクリート削孔及び接着系アンカーの箇所数を示す。

※1. 地覆部のコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする

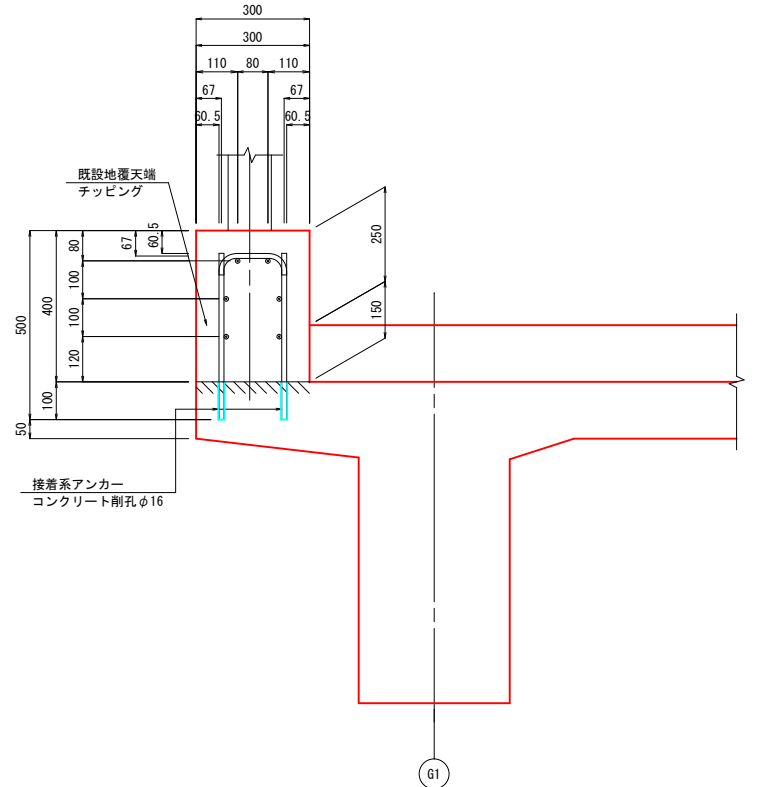
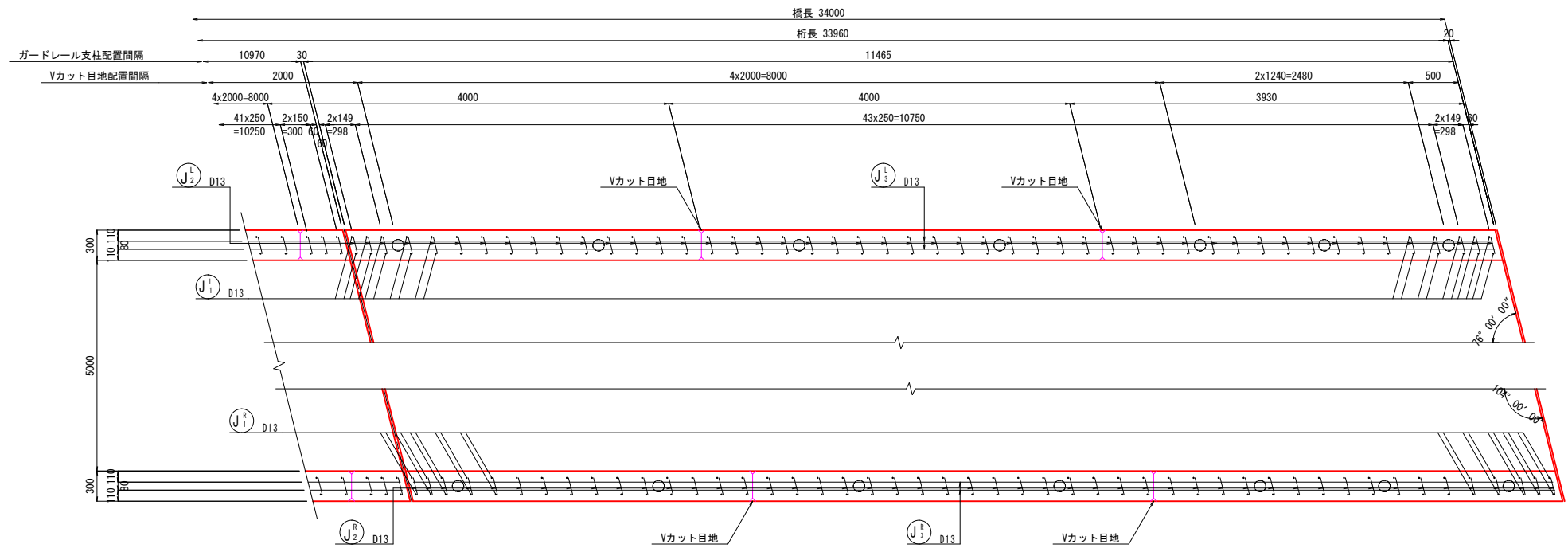
寺沖橋			
図面番号	34 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	地覆打替え工(その2)	番号	/
路線 河川	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 地 覆 打 替 え 工 (そ の 3)

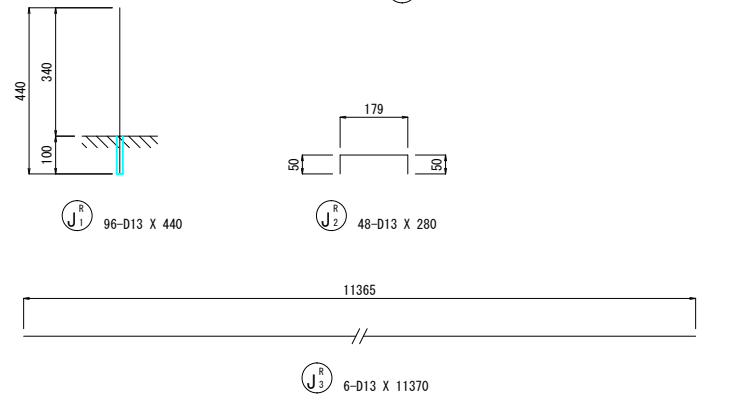
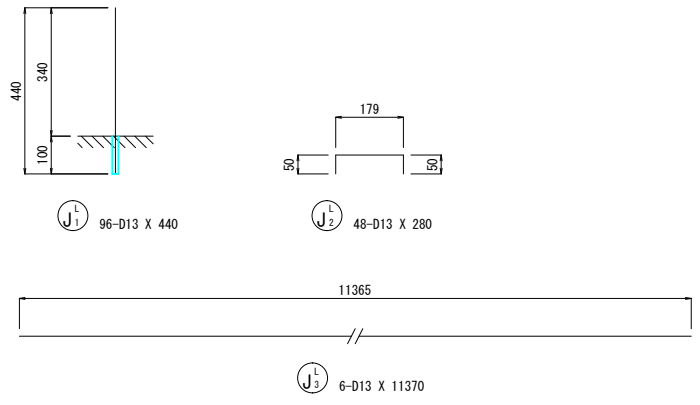
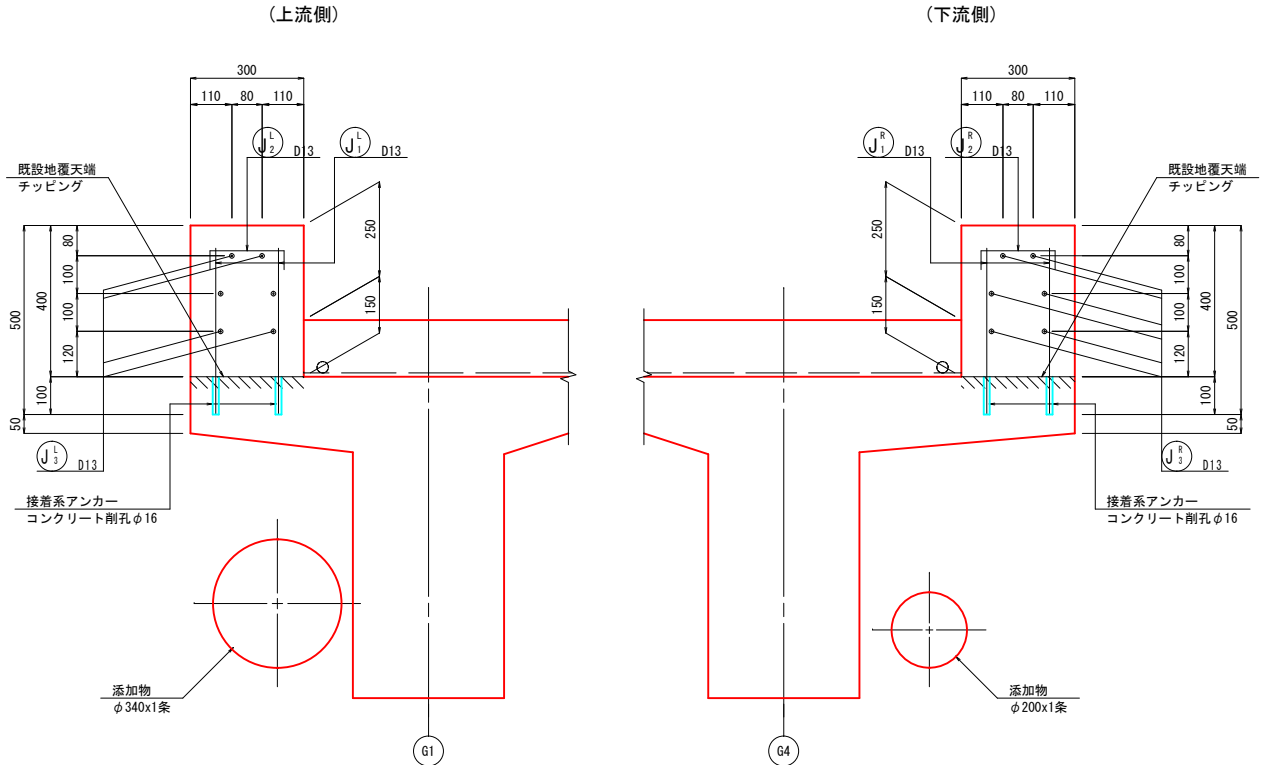
第3径間

平面図 S=1:30

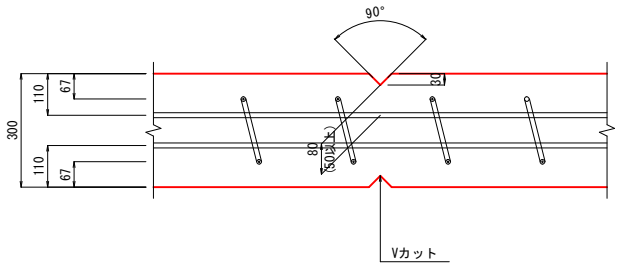
かぶり詳細図 S=1:10



断面図 S=1:10



Vカット詳細図 S=1:10



鉄筋表

(1橋当り) (第3径間)							摘 要
種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一 本 当 り 質 量	質 量	
J ₁ ^L	D13	440	96	0.995	0.44	42	↑ (96)
J ₂ ^L	D13	280	48	0.995	0.28	13	┐
J ₃ ^L	D13	11370	6	0.995	11.31	68	—
123							
J ₁ ^R	D13	440	96	0.995	0.44	42	↑ (96)
J ₂ ^R	D13	280	48	0.995	0.28	13	┐
J ₃ ^R	D13	11370	6	0.995	11.31	68	—
123							
SD345							
合 計 D13				246 kg			
総質量				246 kg			
コンクリート削孔 (φ16)				192 箇所			
接着系アンカー (M12)				192 箇所			

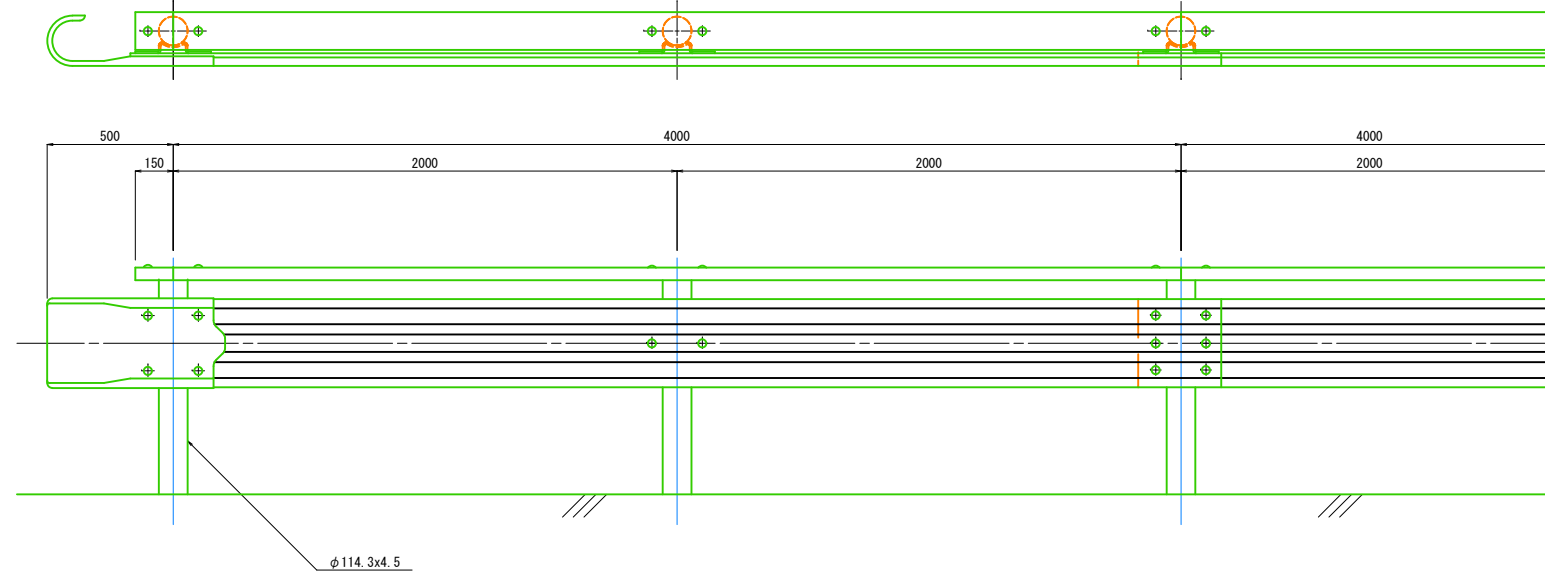
※1. 地覆部のコンクリート強度はσck=24N/mm²とする

寺沖橋			
図面番号	35 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	地覆打替え工(その3)	番 号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

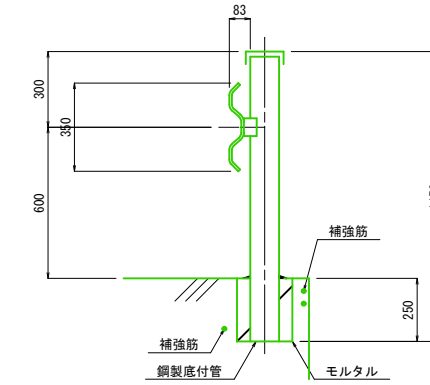
※2. ()内値はコンクリート削孔及び接着系アンカーの箇所数を示す。

寺沖橋 ガードレール詳細図(その1)

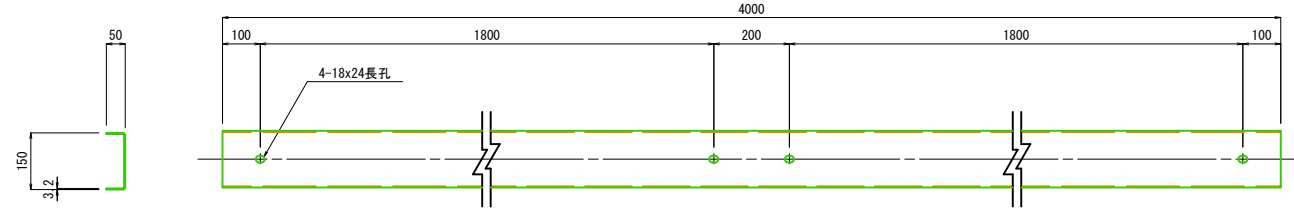
組立図 S=1:15



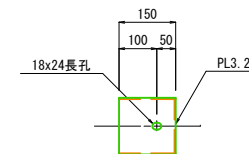
断面図 S=1:15



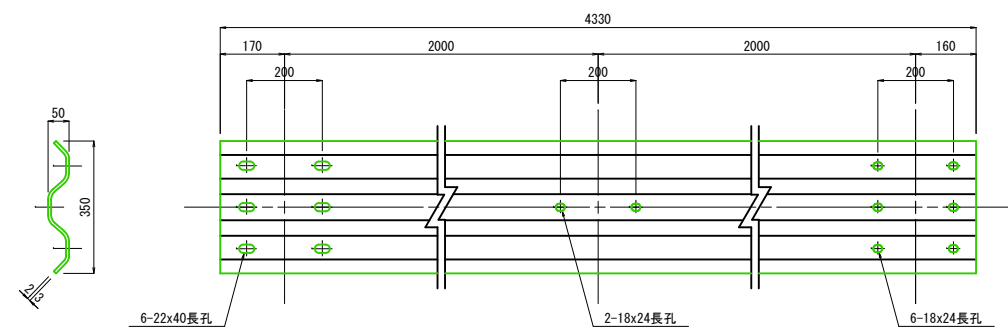
笠木 S=1:10



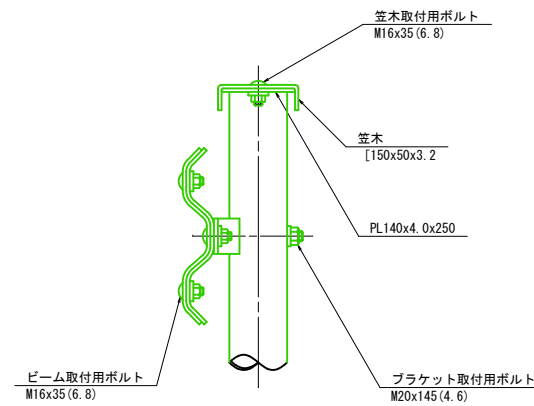
端部笠木 S=1:10



ビーム S=1:10



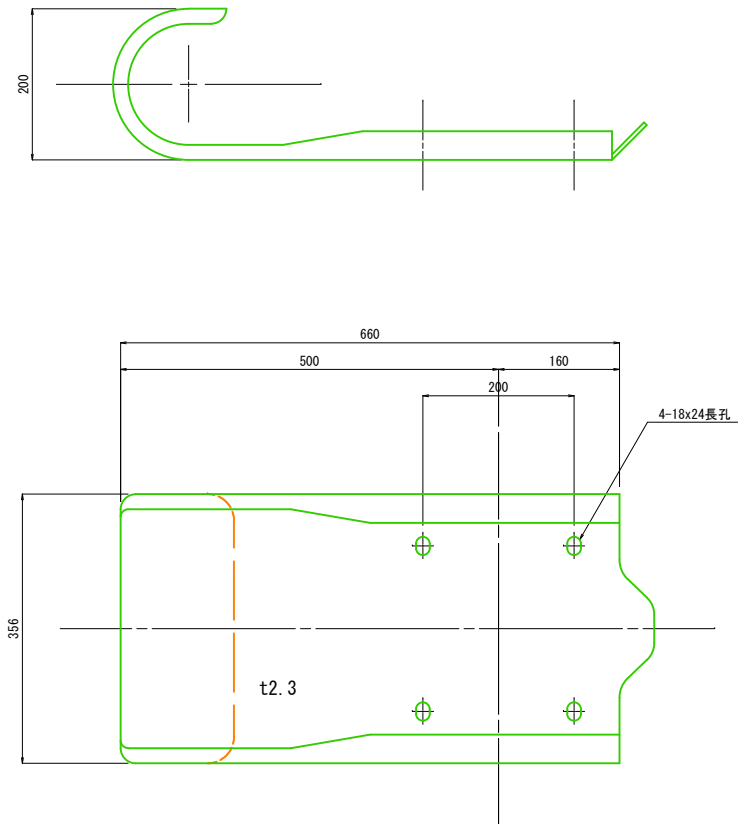
取付詳細図 S=1:7.5



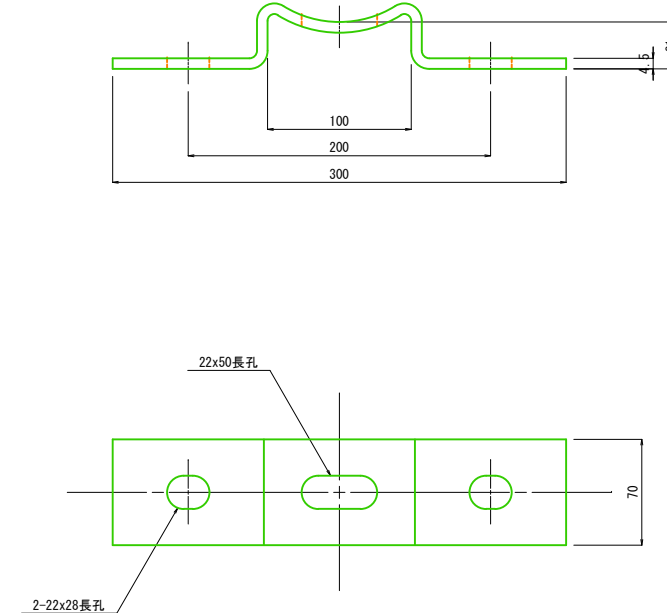
寺沖橋				
図面番号	36 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	ガードレール詳細図(その1)		番 号	/
路線 名	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

寺 沖 橋 ガ ー ド レ ー ル 詳 細 図 (そ の 2)

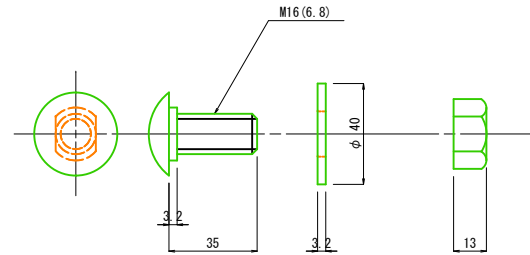
巻袖ビーム S=1:5



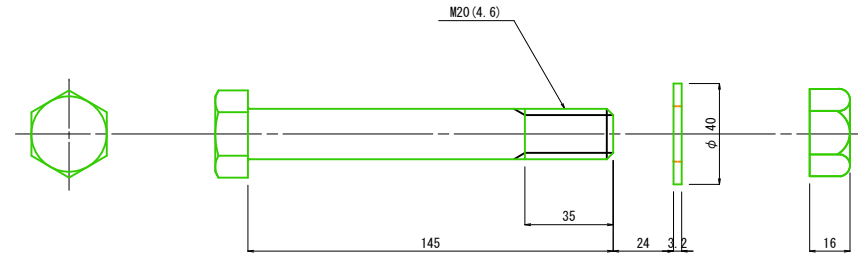
ブラケット S=1:2.5



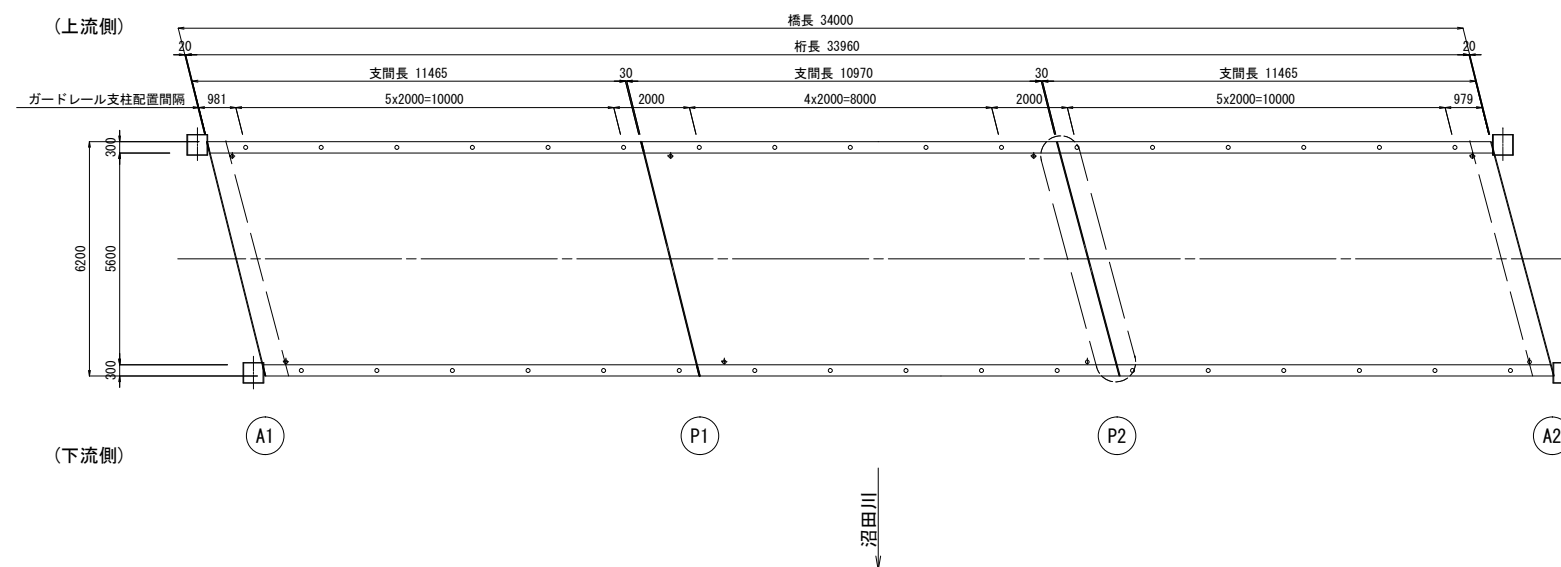
笠木・ビーム取付用ボルト S=1:1.5



ブラケット取付用ボルト S=1:1.5



平面位置図 S=1:100

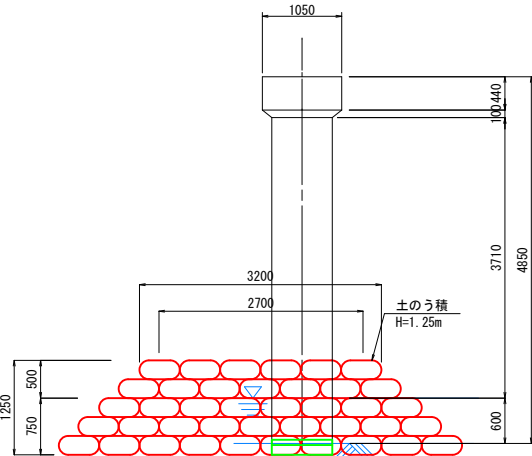


寺沖橋			
図面番号	37 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	ガードレール詳細図(その2)	番 号	/
路線 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 土 の う エ (参 考 図) (そ の 1) S=1:50

P1橋脚
(洗掘部断面修復時)

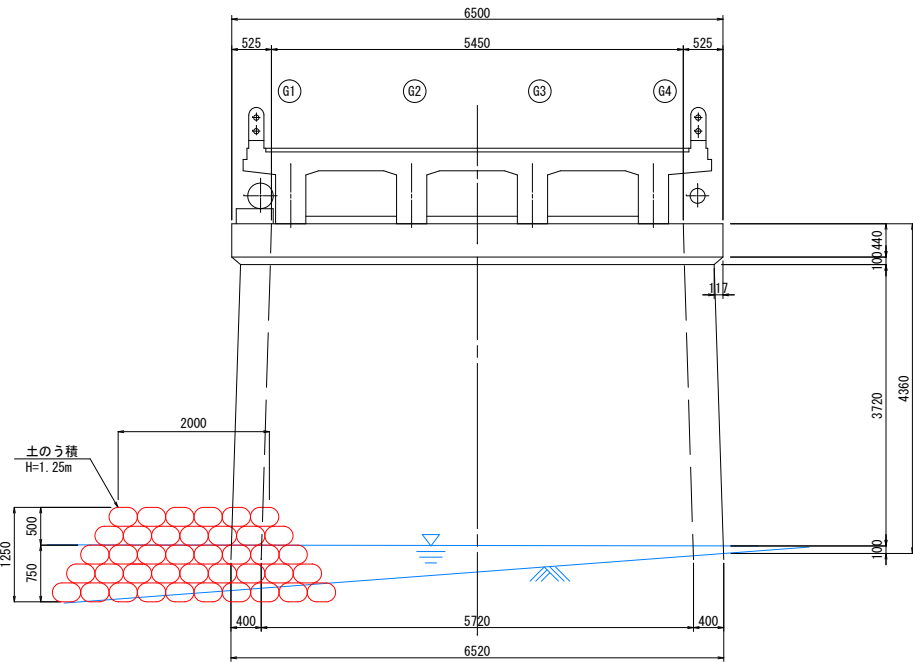
上流側側面図



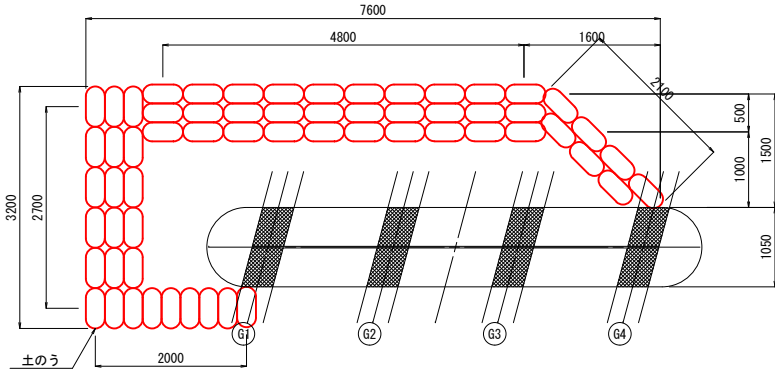
(上流側)

起点側

(下流側)

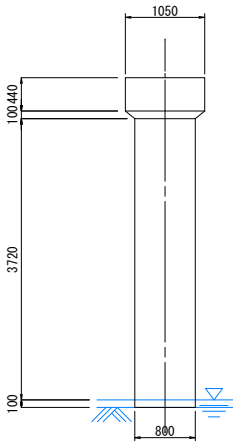


橋座



沼田川

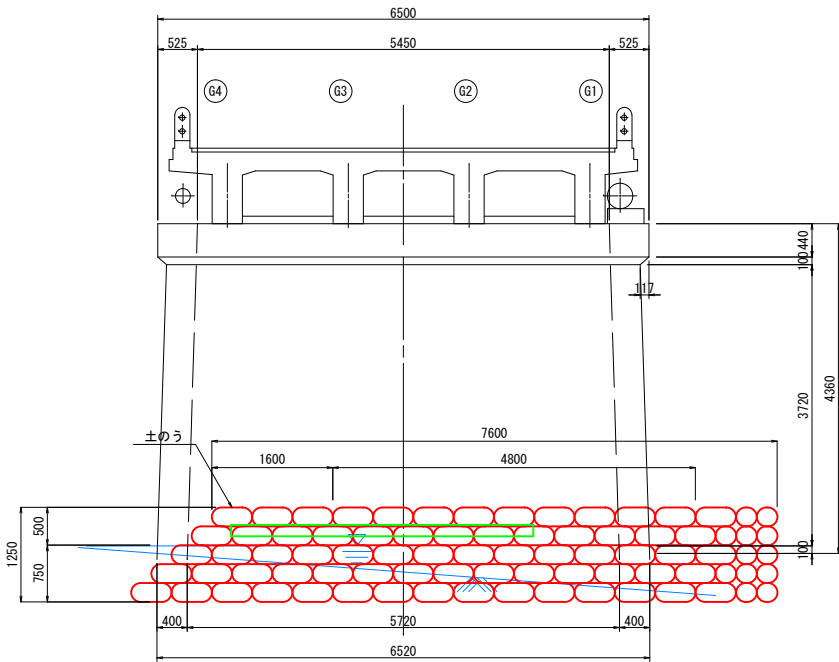
下流側側面図



(下流側)

終点側

(上流側)



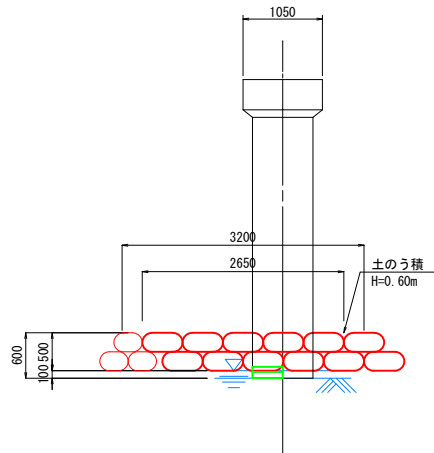
寺沖橋

図面番号	38 / 40	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事			
種 別	土のう工(参考図)(その1)		番号	/
路線 河川 名	下条大道線			
工事箇所	東広島市河内町			
東 広 島 市				

寺 沖 橋 土 の う エ (参 考 図) (そ の 2) S=1:50

P2橋脚

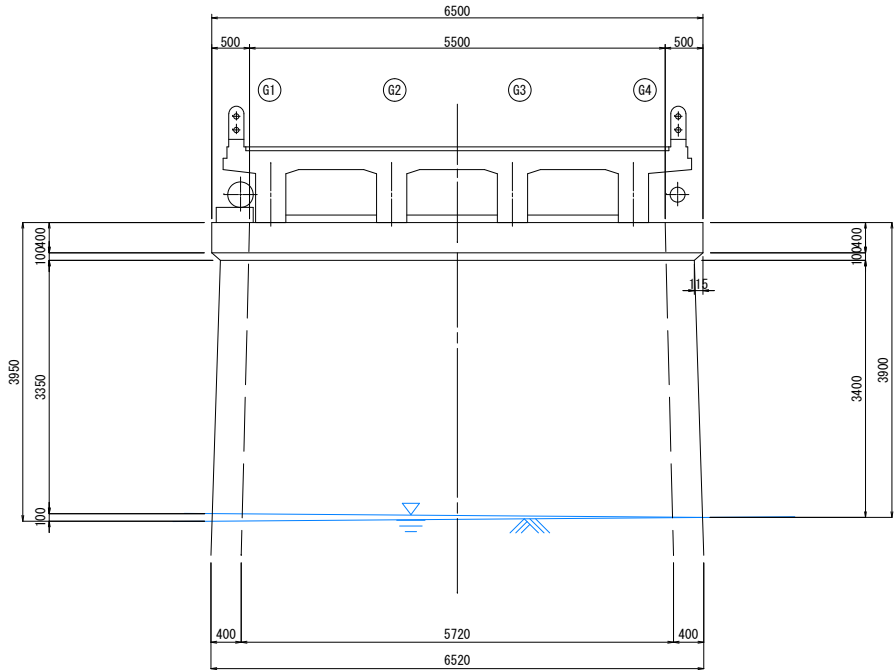
上流側側面図



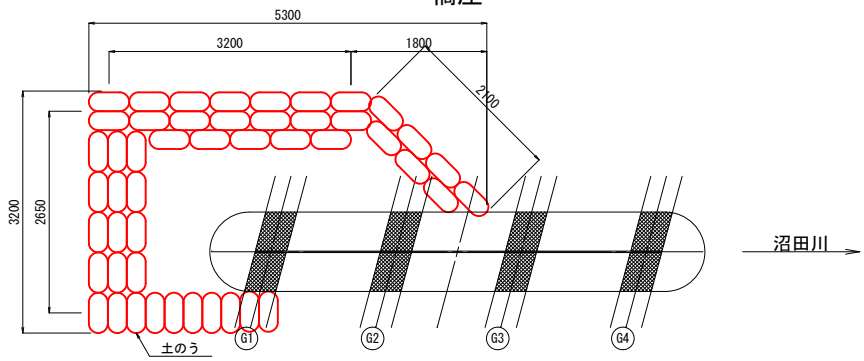
(上流側)

起点側

(下流側)



橋座

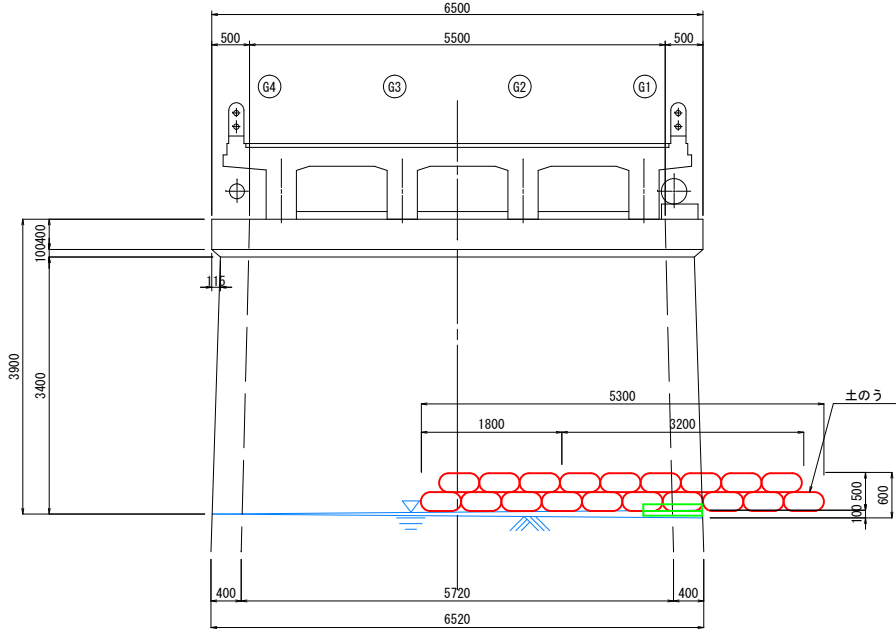
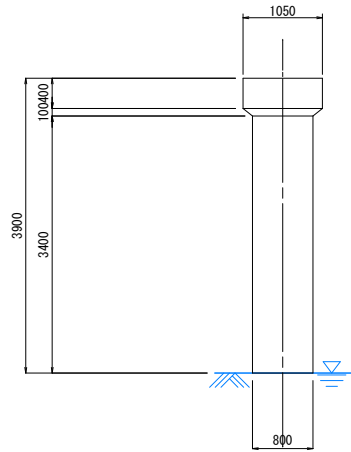


(下流側)

終点側

(上流側)

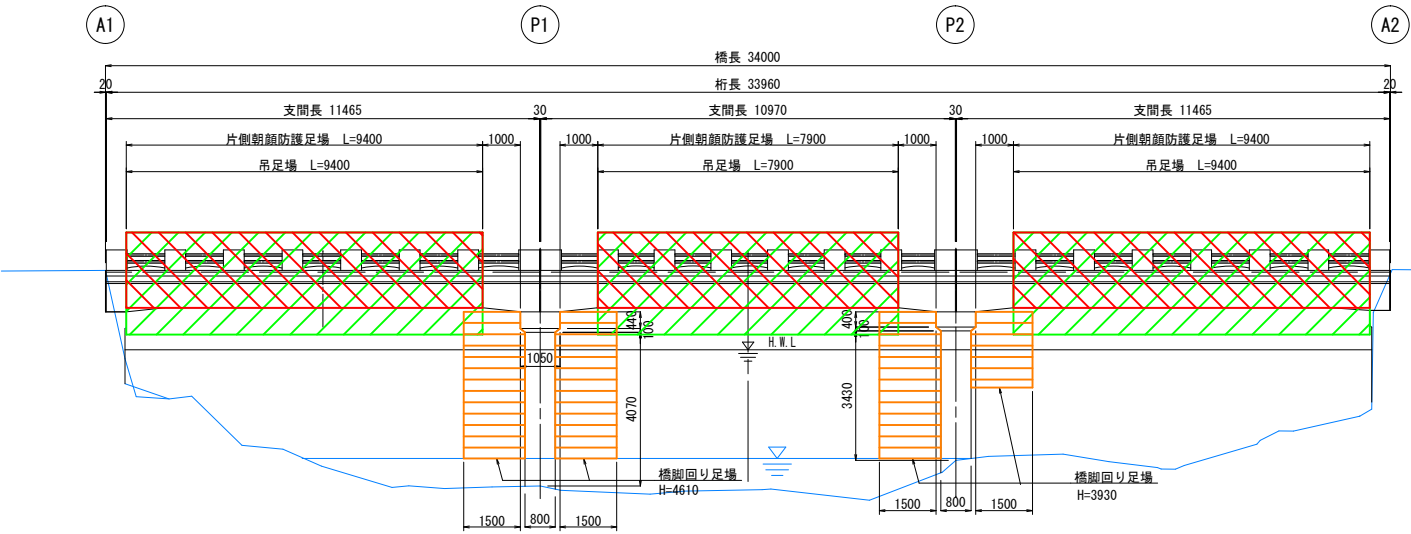
下流側側面図



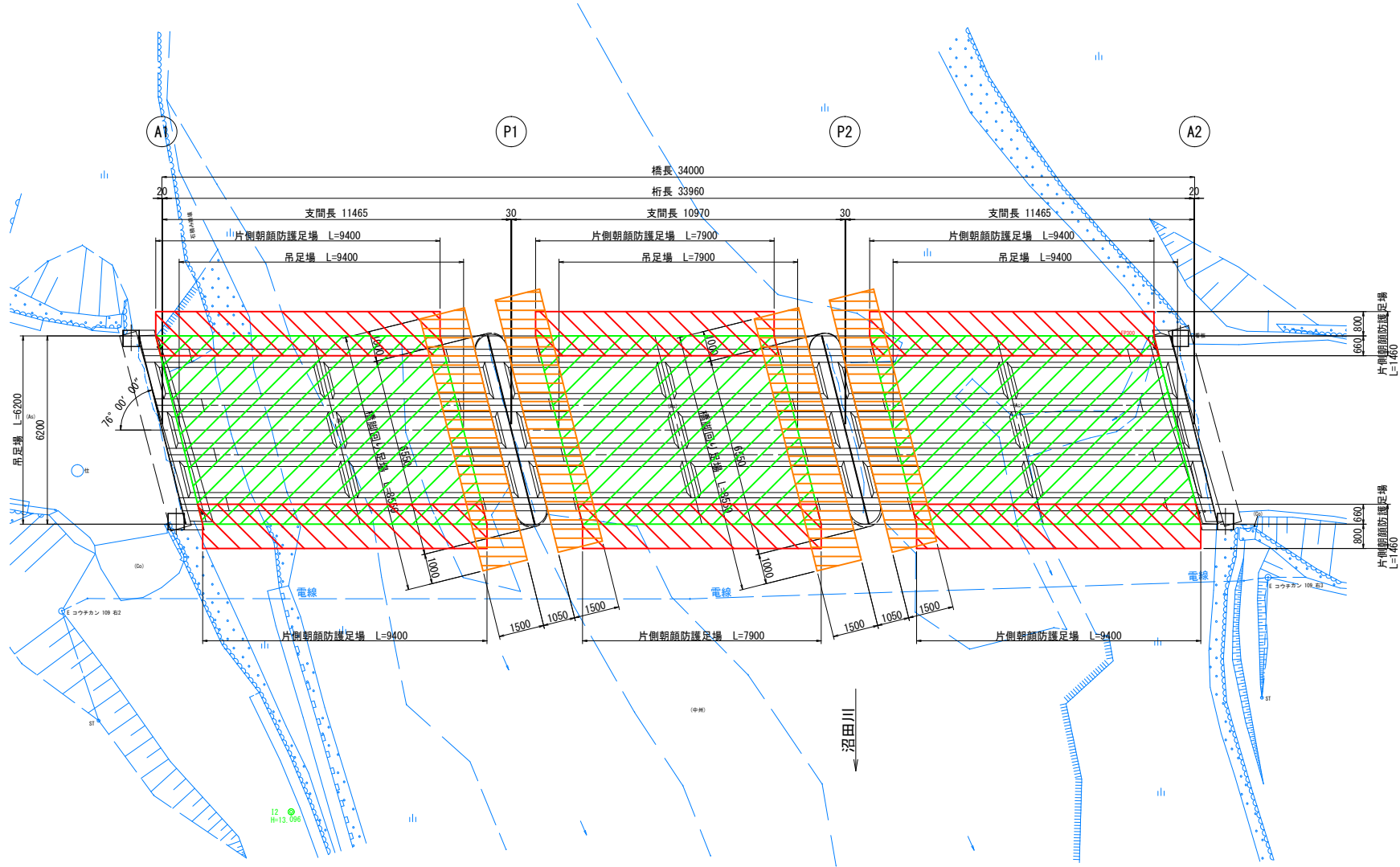
寺沖橋			
図面番号	39 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	土のう工(参考図)(その2)	番号	/
路線 河川 名	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

寺 沖 橋 仮 設 足 場 図 (参 考 図)

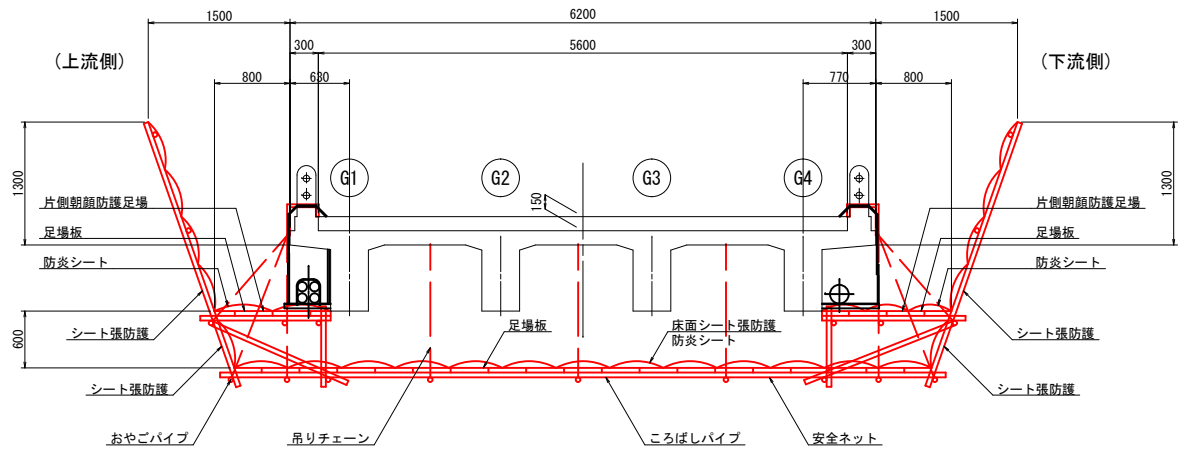
側面図 S=1:100



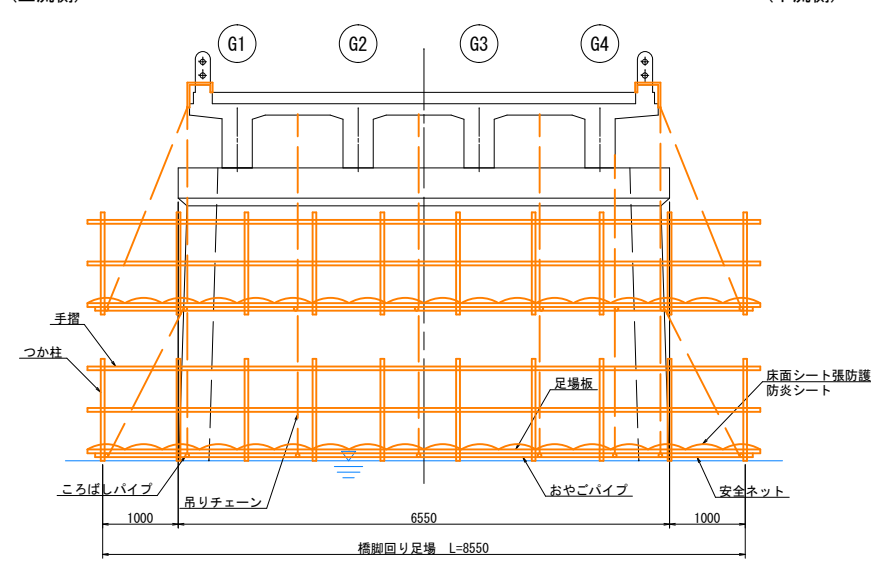
平面図 S=1:100



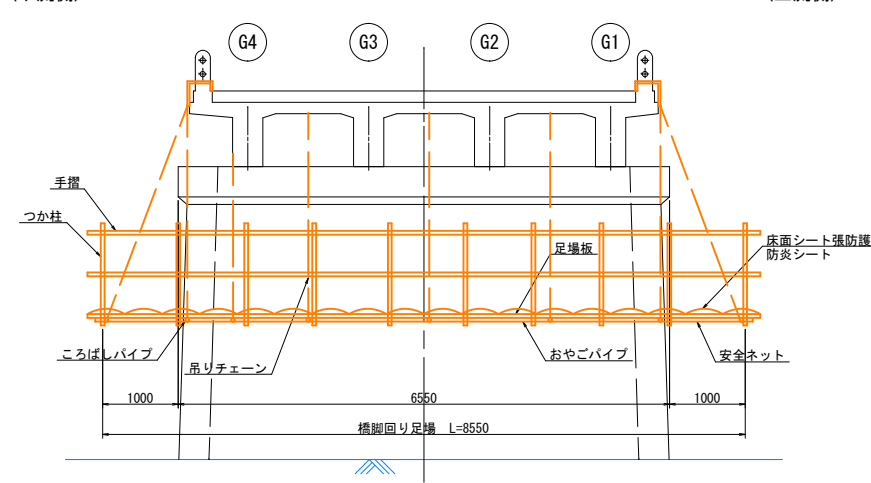
断面図 S=1:40



P1橋脚 S=1:50



P2橋脚(終点側) S=1:50



凡 例	
	吊足場 (TYPE A1)
	片側朝顔防護足場 (TYPE E)
	橋脚回り足場 (TYPE F)

※ 足場架設は添架物の干渉を避けて設置すること。
※ 添架物に干渉する場合は、防護を行うこと。

寺沖橋			
図面番号	40 / 40	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事		
種 別	仮設足場図(参考図)	番号	/
路線 河川	下条大道線		
工事箇所	東広島市河内町		
東 広 島 市			

参 考 図 書

工 事 名 称 : 令和7年度 橋梁長期保全事業
寺沖橋橋梁補修工事

<注意事項>

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、
契約上の拘束をするものではありません。

3 その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分
先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土
受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として次の施設を見込ん
でいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
土砂・砂質 土・礫質土	株式会社大地リサイクル センター第3処分場	東広島市河内町戸野字荏 田5861	9.7

・当該業務により発生するAS殻・Co殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている
施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
As殻	光陽産業(株)河内営業所	東広島市河内町入野2589	5.9
Co殻（有筋）	シンクファーム(株)田万 里コンクリートリサイクル施設	竹原市田万里字西小寺 11357	16.6
Co殻（無筋）	(有)トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	17.3

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 49 東広島市(河内) 00-07.06.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 L=56m	1	式			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長56m	1	構造物			S1020037 00
亜硝酸リチウム40%水溶液	1	構造物			単第0 -0001 表
	5.3	kg			F000000100 00
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 V=2.1m3 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有】	1	構造物			Y1G03240501 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積2.07m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0002 表
亜硝酸リチウム40%水溶液	16.2	kg			F000000100 00
表面含浸工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理 サンダケレン	530	m2			Y1G03240601 レベル4
下地処理(表面含浸工)(100m2以上) サンダーケレン	530	m2			F000000400 00
表面保護工(表面含浸工) 亜硝酸リチウム併用型表面含浸工	530	m2			Y4999 レベル4
亜硝酸リチウム併用型表面含浸工塗布工 シランシロキサン系表面含浸材 プロコンガードS相当品	530	m2			V000000100 00 単第0 -0003 表
橋梁地覆補修工	1	式			Y1G032401 レベル3
橋名板再設置工	1	箇所			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
銘板設置					S2030069 00
	1	枚			単第0 -0004 表
橋梁地覆とりこわし					Y1G03240101レベル4
	11	m3			
とりこわし					SPK24040333 00
	11	m3			単第0 -0005 表
鉄筋 D13					Y1G03240102レベル4
	0.7	t			
鉄筋 SD345 D13					SPK24040334 00
	0.7	t			単第0 -0006 表
コンクリート 24N					Y1G03240103レベル4
	8	m3			
コンクリート_橋梁地覆補修 24-12-25(20)BB 養生工有り					SPK24040335 00
	8	m3			単第0 -0007 表
橋面防水工					Y1E020403 レベル3
	1	式			
橋面防水 塗膜系					Y1A04180301レベル4
	190	m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系	190	m2			SS000255 00 単第0 -0008 表
表層工 再生密粒度AS(20) t=50mm	190	m2			Y4999 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 再生密粒AS(20) PK-4 t=50mm	190	m2			SPK24040241 00 単第0 -0009 表
基層工 再生粗粒度AS(20) t=50mm×2層	190	式			Y4999 レベル4
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 再生粗粒AS(20) PK-4 t=50mm	190	m2			SPK24040239 00 単第0 -0010 表
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 再生粗粒AS(20) 乳剤無 t=50mm	190	m2			SPK24040239 00 単第0 -0011 表
排水用導水管 φ18mm ステンレス製	101	m			TTPC00029 00
成形目地材 厚5mm×幅30mm (参考)セロシールSSテープ	102	m			TH007250 00
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮継手工					Y1G032101 レベル3
	1	式			
伸縮部補修工					Y4999 レベル4
	24.8	m			
伸縮部目地再設置工					V000001000 00
	24.8	m			単第0 -0012 表
舗装用クラック防止材 幅30cm×長15m 引張強度110kN/m					T2130005 00
	22	m			
水切り工					Y3999 レベル3
	1	式			
水切り工 EPDMスポンジ					Y4999 レベル4
	68	m			
水切り工					V000000200 00
	68	m			単第0 -0013 表
排水施設工					Y1G032103 レベル3
	1	式			
排水管 TSステンレス管					Y1G03210302 レベル4
	8	箇所			

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
TSステンレス管設置工 ステンレス管タイプA・B	8	箇所			V000000300 00 単第0 -0014 表
橋梁用防護柵工	1	式			Y1G032105 レベル3
橋梁用防護柵	68	m			Y1G03210501 レベル4
防護柵設置工(Gr) コンクリート建込 - 塗装品_Gr-B-2B [規]21m以上100m未満	66	m			SS000123 00 単第0 -0015 表
防護柵設置工(Gr) レール設置 路側用_A・B・C種 手間のみ	2	m			SS000125 00 単第0 -0016 表
標準型ガードレール部材(袖ビーム) B・C(2.3×356×660) 塗装(白色)	4	枚			TH000816 00
笠木(4m)	16	本			F000001600 00
笠木(2m)	4	本			F000001700 00
笠木(袖ビーム)	2	枚			F000002100 00

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形紙管 125×3.1	9	m			T2170009 00
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	12	m			Y1G03270602 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	12	m			SPK24040306 00 単第0 -0017 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版	190	m2			Y1G03270603 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	190	m2			SPK24040305 00 単第0 -0018 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 Co殻（無筋）	2	m3			Y1G03271601 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	2	m3			SPK24040151 00 単第0 -0019 表
殻運搬 Co殻(有筋)	11	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	11	m3			SPK24040151 00 単第0 -0020 表
殻運搬 AS殻	27	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離6.0km以下(4.5km超)	27	m3			SPK24040151 00 単第0 -0021 表
殻処分 Co殻(無筋)	5	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分費(無筋コンクリート) (有)トラスト	5	t			F000001300 00
殻処分 Co殻(有筋)	27	t			Y1G03271602レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分費（有筋コンクリート） シンクファーム(株)田万里コンクリートリサ	27	t			F000001500 00
殻処分 AS殻	62	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分費（アスファルト） 光陽産業(株)河内営業所	62	t			F000001400 00
スクラップ処分費 スクラップ	0.3	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
スクラップ(H3)	0.3	t			F000001100 00
現場発生品運搬 スクラップ	1	回			Y1G03271603レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)	0.3	t			SPK24040410 00 単第0 -0022 表
残土処理工	1	式			Y1G030310 レベル3
土砂等運搬 砂・砂質土・礫質土	11	m3			Y1G03031002 レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)	11	m3			SPK24040002 00 単第0 -0023 表
残土等処分	11	m3			Y1G03031003 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土処分費(砂・砂質土・礫質土) 株式会社大地リサイクルセンター第3処分場	11	m3			F000001200 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
仮設工	1	式			Y3999 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
吊足場 安全ネット 板張防護 朝顔両側設置	240	m2			Y4999 レベル4
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満	240	m2			S3030011 00 単第0 -0024 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔	170	m2			S3030013 00 単第0 -0025 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	170	m2			S3030015 00 単第0 -0026 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 片側朝顔	70	m2			S3030015 00 単第0 -0027 表
土留・仮締切工	1	式			Y1G032804 レベル3
土のう積	41	m2			Y1G03280420 レベル4
土のう拵え, 積立, 撤去工 側面並べ	41	m2			S1012 00 単第0 -0028 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1G03282101レベル4
	56	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	56	人			
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長56m

S1020037

単第0 -0001 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.248	人			
特殊作業員	5.376	人			
普通作業員	3.976	人			
ひび割れ注入材 超微粒子セメント系 アーマ#600相当品	4.800	kg			
ひび割れ注入シール材 エポキシ樹脂 アサヒボンド505相当品	23.016	kg			
低圧注入器具	224.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=56 C=4.8 E=16.8 G=224	1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) 注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		B=400 D=300 F=600	【F】注入材(kg) 【F】シール材(kg) 【F】低圧注入器具(個)	

施工単価表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積2.07m3

単第0 -0002 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	47.610	人			
特殊作業員	78.660	人			
普通作業員	51.750	人			
断面修復材 ポリマーセメントモルタル 左官工法用(コテ塗り)	2.443	m3			
諸雑費	11	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=2.07 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=2.07 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=700 【F】断面修復材(m3)		

施工単価表

頁0 -0017

亜硝酸リチウム併用型表面含浸工塗布工
シランシロキサン系表面含浸材

V000000100
プロコンガードS相当品

単第0 -0003 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			
特殊作業員	6	人			
普通作業員	2	人			
亜硝酸リチウム40%水溶液	33	kg			
表面含浸材 シラン・シロキサン系 プロコンガードS相当品	19.8	kg			
雑材料	5	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0018

銘板設置

S2030069

單第0 -0004 表

1枚当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

とりこわし

SPK24040333

単第0 -0005 表

1

m3 当り

機械構成比: 1.75% 労務構成比: 95.42% 材料構成比: 2.83% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 90,607.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5～3.7m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.36%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5～3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.39%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	42.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	35.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.03%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.83%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0020

とりこわし

SPK24040333

單第0 -0005 表

1

m3 当り

機械構成比:	1.75%	労務構成比:	95.42%	材料構成比:	2.83%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	90,607.00000
--------	-------	--------	--------	--------	-------	----------	-------	-------	--------------

[illegible]

施工単価表

鉄筋
SD345 D13

SPK24040334

単第0 -0006 表

1
t 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 67.90%

材料構成比: 32.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 390,730.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	38.61%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	32.10%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4 SD345 D13			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0022

コンクリート_橋梁地覆補修

SPK24040335

単第0 -0007 表

24-12-25(20)BB

養生工有り

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 69.78% 材料構成比: 30.22% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 64,266.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.94%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	23.96%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	8.99%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランブ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	30.22%		生コンクリート 普通 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00342
積算単価			積算単価		E9999
A=2 24-12-25(20)BB D=1 -			C=1 養生工有り E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0023

橋面防水工(補修) 塗膜系防水
アスファルト系

SS000255

單第0 -0008 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.43%

労務構成比: 9.93%

SPK24040241

再生密粒AS(20) PK-4 t=50mm

材料構成比: 88.64%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0009 表

標準単価: 1

m2 当り
1,750.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.91%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.70%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0025

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.43%

SPK24040241

再生密粒AS(20) PK-4 t=50mm

労務構成比: 9.93%

材料構成比: 88.64%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0009 表

1

標準単価:

m2

当り

1,750.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	85.53%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.53%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=6 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(20) - -(全ての費用)			B=50 E=1 H=1 1層当り平均仕上り厚(mm) PK-4 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0026

基層(車道・路肩部)

SPK24040239

単第0 -0010 表

平均幅員3.0m超

再生粗粒AS(20) PK-4 t=50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.70%

労務構成比:

11.85%

材料構成比: 86.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,467.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.08%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.43%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.36%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0027

基層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.70%

SPK24040239

再生粗粒AS(20) PK-4 t=50mm

労務構成比: 11.85%

材料構成比: 86.45%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0010 表

1

標準単価:

m2

当り

1,467.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	82.74%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	3.01%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.59%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0028

基層(車道・路肩部)

SPK24040239

単第0 -0011 表

平均幅員3.0m超

再生粗粒AS(20) 乳剤無 t=50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.67%

労務構成比:

11.68%

材料構成比:

86.65%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,412.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.13%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.45%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.87%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0029

基層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.67%

SPK24040239

再生粗粒AS(20) 乳剤無 t=50mm

労務構成比: 11.68%

材料構成比: 86.65%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0011 表

1

標準単価:

m2

当り

1,412.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	85.96%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0030

伸縮部目地再設置工

V000001000

單第0 -0012 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

水切り工

V000000200

單第0 -0013 表

100

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

TSステンレス管設置工 ステンレス管タイプA・B

V000000300

單第0 -0014 表

8

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

防護柵設置工(Gr) コンクリート建込

SS000123

單第0 -0015 表

- 塗裝品 Gr-B-2B

[規]21m以上100m未滿

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

防護柵設置工(Gr) レール設置
路側用 A・B・C種 手間のみ

SS000125

單第0 -0016 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比: 15.42% 労務構成比: 57.13% 材料構成比: 27.45% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040306
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0017 表
1 m 当り
標準単価: 673.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0036

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0017 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.26000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

舗装版破碎

SPK24040305

単第0 -0018 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 13.49%

労務構成比:

80.49%

材料構成比: 6.02%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

207.06000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

単第0 -0019 表
1
標準単価: 2,399.70000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

単第0 -0020 表
1
標準単価: 2,961.30000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

頁0 -0040

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.95%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離6.0km以下(4.5km超)
労務構成比: 38.97%

単第0 -0021 表
材料構成比: 16.08%

1
標準単価: 1,793.40000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) D=27 運搬距離6.0km以下(4.5km超)		

施工単価表

頁0 -0041

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t級2.9t吊
機械構成比: 13.58% 労務構成比: 83.54% 材料構成比: 2.88% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040410
片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)

単第0 -0022 表
標準単価: 1 t 当り
7,944.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=14 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 45.59%

SPK24040002

DID区間無し 距離10.0km以下(7.5km超)

労務構成比: 39.52%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0023 表

1

標準単価:

m3 当り

1,756.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=30 距離10.0km以下(7.5km超)			B=3 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0043

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0024 表

桁高1.5m未満

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0044

足場工（朝顔）（床版補強工）
両側朝顔

S3030013

單第0 -0025 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0026 表

シート張防護工

両側朝顔

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0046

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0027 表

シート張防護工

片側朝顔

m2 当り

[illegible]

施工単価表

土のう拵え，積立，撤去工
側面並べ

S1012

単第0 -0028 表

10

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
購入土	2.800	m3			
土のう 幅48cm×長62cm,2号,ポリエチレン製	140.000	枚			化学繊維袋
普通作業員	5.880	人			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 側面並べ C=1500 土砂【登録単価CODE】(m3)			B=1 土のう拵え，積立，撤去		

6.1 寺沖橋 補修数量計算書

1 補修数量総括表

橋梁名：寺沖橋

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 レ 細 ル 別	レ ベ ル 5 規 格	単 位	数 量	備 考
道路修繕	橋梁補修工	ひびわれ補修工	ひびわれ注入工 延べ施工量	亜硝酸リチウム水溶液 + 超微粒子セメント系	m	55.8	
				ひびわれ注入工 1橋当り延べ延長	m	55.8	
			シール材	無機系	kg	16.8	
			ひびわれ注入材	亜硝酸リチウム40%水溶液	kg	5.3	ロス率30%を含む
				超微粒子セメント系(亜硝酸リチウム先行注入)	kg	4.8	ロス率50%を含む
			注入器	低圧注入器	個	224	設置間隔：250mm間隔
		断面修復工 左官工法	左官工法 延べ施工量	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む	m ³	2.07	
				亜硝酸リチウム40%水溶液	kg	16.16	
				左官工法 1橋当り延べ体積	m	2.07	
			殻運搬	コンクリート構造物 人力積込 運搬距離10km DID区間：無し(距離は想定)	m ³	-	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	-	運搬処理工にて計上
					t	-	運搬処理工にて計上
		表面処理工 表面含浸工	下地処理工	サンダーケレン	m ²	530.1	
			含浸材塗布工	亜硝酸リチウム系表面含浸材	m ²	530.1	
			含浸材	亜硝酸リチウム系表面含浸材	kg	174.9	標準使用量：0.30kg/m ²
			含浸材塗布工	シラン系表面含浸材	m ²	530.1	
			含浸材	シラン系表面含浸材	kg	95.4	標準使用量：0.18kg/m ²

	橋梁補修工	橋梁地覆補修工	チッピング		m ²	20.3	
			鉄筋探査工	下向き 0.5m×0.5m程度	m ²	—	構造物取壊し工にて計上
			コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機 φ16 L=0.11m	孔	—	構造物取壊し工にて計上
			アンカー工	樹脂系アンカー(M12)	本	568	
			鉄筋	SD345, D13	kg	728	
			型枠工	一般型枠	m ²	55.7	
			コンクリート工	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	8.1	
			Vカット目地		箇所	16	
			殻運搬	コンクリート構造物 人力積込 運搬距離10km DID区間:無し(距離は想定)	m ³	—	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	—	運搬処理工にて計上
					t	0.0	
		橋梁用防護柵撤去工	既設防護柵撤去	高欄撤去	m ³	3.3	
				鋼製ビーム φ70	m	82.8	82.8*3.3kg/m=0.27t
			既設支柱跡処理	カッター切断	m	67.8	
			構造物取壊し工		m ³	3.3	
			殻運搬	コンクリート構造物 人力積込	m ³	3.3	
			殻処分	がれき類	t	7.9	
		地覆撤去工	既設地覆撤去	地覆撤去	m ³	7.5	高欄撤去+地覆=10.8m ³
			殻運搬	コンクリート構造物 人力積込	m ³	—	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	t	—	運搬処理工にて計上
	道路維持修繕工	伸縮部補修工	クラック抑制シート	ガラス基材—b=20cm	m	44.2	
				ガラス基材 b=30cm	m	22.4	
			クラック防止シート張	クラック抑制シート	m	22.4	
		舗装取壊し工	舗装版破碎	破碎積込	m ²	189.8	車道部
				舗装版切断	m	12	
			殻運搬	アスファルト塊 運搬距離10km DID区間:無し(距離は想定)	m ³	26.6	
			殻処分	がれき類	m ³	—	運搬処理工にて計上
					t	—	運搬処理工にて計上

	舗装工	橋面防水工	橋面防水	塗膜系アスファルト加熱型防水層	m ²	189.8	
			ドレーン材	スプリング管 φ18	m	67.4	
				スプリング管 φ18	m	34.0	101.4(計)
			目地工	成型目地材 b=30mm・t=5mm	m	102.4	
		アスファルト舗装工	表層（車道・路肩部）	密粒度As(20) t=5cm PK-4	m ²	190	平均幅員 5.6m
			基層（車道・路肩部）	粗粒度As(20) t=5cm PK-4	m ²	190	平均幅員 5.6m
				粗粒度As(20) t=5cm 瀝青材無し	m ²	190	平均幅員 5.6m
	橋梁付属物工	伸縮部補修工	下地処理工	遊間部清掃	m	24.8	
			目地材充填	ゴム状弾性目地材 20×40mm	m	12.4	
				ゴム状弾性目地材 30×60mm	m	49.6	
			バックアップ材	ウレタンフォーム 20×40mm	ℓ	9.9	
				ウレタンフォーム 30×60mm	ℓ	44.6	
		水切り工	水切り材	EPDM系ゴム製水切り材 W25×H20mm	m	67.8	
			下地処理		m ²	1.7	
			接着剤塗布	エポキシ樹脂系接着剤	m ²	1.7	
		防護柵補修工	部材設置	B種 ガードレール	m	68.0	(袖ビーム取付2m)
				4mビーム	枚	16	
				2mビーム	枚	4	
				巻き袖ビーム	枚	4	
				2m用笠木	枚	4	
				4m用笠木	枚	16	
				袖笠木	枚	2	
				円形型枠φ125	m	9	250mm*N:34=8500mm

橋梁付属物工	排水管補修工	取付金具	SS400	組	8	K-1, K-2
		ボルト・ナット	M12×45	組	32	
		アンカーボルト	M12×100	本	16	
		EPDM	100×3×160	枚	16	
		鉄筋探査工	下向き 0.5m×0.5m程度	m ²	-	
		排水管 K-1	プレート	kg	0.7	SUS304
			排水管	kg	3.1	SUS304
			アンカーボルト M10×120	本	4	SUS304
		排水管 K-2	プレート	kg	0.6	SUS304
			排水管	kg	2.8	SUS304
			アンカーボルト M10×120	本	4	SUS304
構造物撤去工	構造物取壊し工	鉄筋探査工	下向き	m ²	20.3	
		コンクリート削孔工	削孔径φ10mm以上～30mm未満 電動ハンマードリル 30mm以上200mm未満	孔	568	
		構造物とりこわし工	鉄筋構造物 人力施工	m ³	3.3	
	運搬処理工	殻運搬	コンクリート構造物 人力積込 運搬距離10km DID区間:無し(距離は想定)	m ³	13.0	10.9m3 2.1m3
			コンクリート殻(有筋)	t	27.3	
			コンクリート殻(無筋)	t	4.9	
		殻処分	がれき類	m ³	26.6	
				t	62.5	
仮設工	土のう工	土のう積	小口並べ 仕拵 62×48cm	m ²	24.0	P1橋脚
			小口並べ 積立 62×48cm	m ²	24.0	P1橋脚
			小口並べ 撤去 62×48cm	m ²	24.0	P1橋脚
			小口並べ 仕拵 62×48cm	m ²	17.0	P2橋脚
			小口並べ 積立 62×48cm	m ²	17.0	P2橋脚
			小口並べ 撤去 62×48cm	m ²	17.0	P2橋脚

	仮設工	仮設足場工	吊足場	TYPE A1 吊足場 桁高 $h \leq 1.5$	m ²	166	
			床面シート張防護設置	床面シート張防護設置時	m ²	166	
			片側朝顔防護足場	TYPE E シート張防護 両側施工	m ²	166	
			防護工	TYPE B シート張防護工(両側)	m ²	166	
			橋脚回り足場	TYPE F	m ²	73	
			床面シート張防護設置	床面シート張防護設置時	m ²	73	
			手摺部防護工	TYPE F 手摺部シート張防護	m ²	73	

2 ひびわれ補修工

2.1 低圧注入工法（ひびわれ注入工）

（１） 延べ施工量

１） 亜硝酸リチウム水溶液 + 超微粒子セメント系

$$L = 55.83 = 55.83 \text{ m}$$

（２） シール材

１） 無機系

$$w = 150 \text{ mm (仮定)}$$

$$t = 1 \text{ mm (仮定)}$$

$$\gamma = 2.00 \text{ (仮定)}$$

$$W = 55.83 \times 0.150 \times 0.001 \times 2.00 \times 1000 = 16.75 \text{ kg}$$

（３） 注入材

１） 亜硝酸リチウム40%水溶液

$$w = 0.53 \text{ mm (加重平均)}$$

$$t = 110 \text{ mm (加重平均)}$$

$$\gamma = 1.25 \text{ (仮定)}$$

$$W = 55.83 \times 0.00053 \times 0.110 \times 1250 \times 1.30 = 5.29 \text{ kg}$$

ロス率30%

２） 超微粒子セメント系（亜硝酸リチウム先行注入）

$$w = 0.53 \text{ mm (加重平均)}$$

$$t = 110 \text{ mm (加重平均)}$$

$$\gamma = 0.975 \text{ (仮定)}$$

$$W = 55.83 \times 0.00053 \times 0.110 \times 975 \times 1.50 = 4.76 \text{ kg}$$

ロス率50%

（４） 注入器（低圧注入器）

・ 設置間隔：250mm間隔

$$N = 55.83 / 0.25 = 224 \text{ 個}$$

2.2 ひびわれ延長数量計算書

番号	部 位	ひびわれ		備 考
		w (mm)	L (m)	
I2-	桁下面(1径間)			
1		0.35	0.55	
2		0.35	0.40	
3		0.35	0.55	
4		0.35	0.50	
5		0.35	0.45	
6		0.35	0.30	
7		0.35	0.40	
8		0.35	0.45	
9		0.35	0.55	
10		0.35	0.60	
11		0.35	0.50	
12		0.35	0.50	
13		0.35	0.56	
14		0.35	0.50	
15		0.35	0.60	
16		0.35	0.60	
17		0.35	0.50	
18		0.35	0.55	
19		0.35	0.60	
20		0.35	0.45	
21		0.35	0.50	
22		0.35	0.45	
23		0.35	0.40	
24		0.35	0.30	
25		0.35	0.60	
26		0.35	0.55	
27		0.35	0.40	
28		0.35	0.50	
29		0.35	0.45	
30		0.35	0.44	
31		0.35	0.10	
32		0.35	0.40	
33		0.35	0.50	
34		0.35	0.50	
35		0.35	0.50	
36		0.35	0.45	
37		0.35	0.65	
	小計		17.80	注入：亜硝酸+セメント系
I3-	桁下面(1径間)			
1		0.75	0.25	
	小計		0.25	注入：亜硝酸+セメント系
I4-	桁下面(1径間)			
1		1.50	0.60	
	小計		0.60	注入：亜硝酸+セメント系
I5-	桁下面(1径間)			
1		3.50	0.80	
	小計		0.80	注入：亜硝酸+セメント系

12-	桁下面(2径間)			
1		0.35	0.40	
2		0.35	0.35	
3		0.35	0.30	
4		0.35	0.45	
5		0.35	0.30	
6		0.35	0.50	
7		0.35	0.60	
8		0.35	0.60	
9		0.35	0.30	
10		0.35	0.60	
11		0.35	0.30	
12		0.35	0.30	
13		0.35	0.30	
14		0.35	0.45	
15		0.35	0.45	
16		0.35	0.60	
17		0.35	0.30	
18		0.35	0.60	
19		0.35	0.65	
20		0.35	0.60	
21		0.35	0.60	
22		0.35	0.30	
23		0.35	0.30	
24		0.35	0.30	
25		0.35	0.60	
26		0.35	0.40	
27		0.35	0.55	
28		0.35	0.40	
	小計		12.40	注入：亜硝酸+セメント系
12-	桁下面(3径間)			
1		0.35	0.40	
2		0.35	0.50	
3		0.35	0.50	
4		0.35	0.40	
5		0.35	0.60	
6		0.35	0.35	
7		0.35	0.30	
8		0.35	0.35	
9		0.35	0.20	
10		0.35	0.40	
11		0.35	0.50	
12		0.35	0.40	
13		0.35	0.45	
14		0.35	1.40	
15		0.35	1.00	
16		0.35	1.40	
17		0.35	0.90	
18		0.35	0.50	
19		0.35	0.60	
20		0.35	0.20	

I2-	桁下面 (3径間)			
21		0.35	0.30	
22		0.35	0.35	
23		0.35	0.35	
24		0.35	0.20	
25		0.35	0.45	
26		0.35	0.45	
27		0.35	0.70	
28		0.35	0.70	
29		0.35	0.40	
30		0.35	0.40	
31		0.35	0.60	
	小計		16.25	注入：亜硝酸+セメント系
I2-	横桁			
1		0.35	0.45	
2		0.35	0.12	
3		0.35	0.25	
4		0.35	0.50	
5		0.35	0.40	
6		0.35	0.35	
7		0.35	0.50	
8		0.35	0.50	
9		0.35	0.15	
10		0.35	0.30	
11		0.35	0.15	
	小計		3.67	注入：亜硝酸+セメント系
I3-	A1橋台			
1		0.75	0.10	
	小計		0.10	注入：亜硝酸+セメント系
I4-	A1橋台			
1		1.50	0.21	
	小計		0.21	注入：亜硝酸+セメント系
I5-	A1橋台			
1		3.50	0.40	
	小計		0.40	注入：亜硝酸+セメント系
I2-	A2橋台			
1		0.35	0.50	
2		0.35	0.45	
	小計		0.95	注入：亜硝酸+セメント系
I5-	A2橋台			
1		3.50	0.70	
2		3.50	0.50	
3		3.50	0.45	
	小計		1.65	注入：亜硝酸+セメント系

12-	親柱					
1		0.35		0.15		
2		0.35		0.10		
3		0.35		0.25		
4		0.35		0.25		
	小計			0.75		注入：亜硝酸+セメント系
0.2≤w<0.5mm 合計延長		-		51.82		
0.5≤w<1.0mm 合計延長		-		0.35		
1.0≤w<2.0mm 合計延長		-		0.81		
2.0≤w≤5.0mm 合計延長		-		2.85		
5.0mm<合計延長		-				
		0.2≤w<0.5mm	0.5≤w<1.0mm	1.0≤w<2.0mm	2.0≤w≤5.0mm	5.0mm<
						合 計
注入：エポキシ1種合計		-	-	-	-	-
注入：エポキシ2種合計		-	-	-	-	-
注入：エポキシ3種合計		-	-	-	-	-
注入：セメント系合計		-	-	-	-	-
注入：亜硝酸 + エポキシ3種合計		-	-	-	-	-
注入：亜硝酸 + セメント系合計		51.82	0.35	0.81	2.85	-
						55.83
充填：ポリマーセメント系合計		-	-	-	-	-
充填：可とう性エポキシ樹脂系合計		-	-	-	-	-
充填：シーラント系合計		-	-	-	-	-
合 計		51.82	0.35	0.81	2.85	-
						55.83

3 断面修復工（左官工法）

3.1 左官工法（ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む）

（１） 延べ施工量

$$V = 2.072 = 2.072 \text{ m}^3$$

（２） 亜硝酸リチウム 40%水溶液

$$W = 48.982 \text{ m}^2 \times \frac{0.300}{0.3 \text{ kg/m}^2} \times 1.100 \text{ ロス率} = 16.16 \text{ kg}$$

3.2 殻運搬

（１） コンクリート構造物 人力積込

$$V = 2.072 = 2.072 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

3.3 殻処分（がれき類）

$$V = 2.072 = 2.072 \text{ m}^3$$

$$W = 2.072 \times 2.35 \text{ t} = 4.869 \text{ t}$$

3.2 左官工法 数量計算書

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
U	桁下面(1径間)						
1		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
2		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
3		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
4		0.20 × 0.40	0.08	0.080	0.176	0.006	
5		0.20 × 0.55	0.11	0.080	0.230	0.009	
6		0.10 × 0.15	0.02	0.080	0.055	0.002	
7		0.30 × 0.20	0.06	0.080	0.140	0.005	
8		0.30 × 0.30	0.09	0.080	0.186	0.007	
9		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
10		0.20 × 0.30	0.06	0.080	0.140	0.005	
11		0.30 × 0.30	0.09	0.080	0.186	0.007	
12		0.40 × 0.20	0.08	0.080	0.176	0.006	
13		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
14		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
15		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
16		0.39 × 0.20	0.08	0.080	0.172	0.006	
17		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
18		0.32 × 0.40	0.13	0.080	0.243	0.010	
19		0.15 × 0.40	0.06	0.080	0.148	0.005	
20		0.30 × 0.30	0.09	0.080	0.186	0.007	
21		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
22		0.20 × 0.60	0.12	0.080	0.248	0.010	
23		0.40 × 0.40	0.16	0.080	0.288	0.013	
24		0.10 × 0.20	0.02	0.080	0.068	0.002	
25		0.25 × 0.25	0.06	0.080	0.143	0.005	
26		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
27		0.40 × 0.60	0.24	0.080	0.400	0.019	
28		0.15 × 0.20	0.03	0.080	0.086	0.002	
29		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
30		0.20 × 0.10	0.02	0.080	0.068	0.002	
31		0.25 × 0.20	0.05	0.080	0.122	0.004	
32		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
33		0.30 × 0.20	0.06	0.080	0.140	0.005	
34		0.25 × 0.20	0.05	0.080	0.122	0.004	
35		0.25 × 0.10	0.03	0.080	0.081	0.002	
36		0.10 × 0.80	0.08	0.080	0.224	0.006	
37		0.10 × 0.30	0.03	0.080	0.094	0.002	
38		0.10 × 0.50	0.05	0.080	0.146	0.004	
39		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
40		0.30 × 0.25	0.08	0.080	0.163	0.006	
41		0.20 × 0.40	0.08	0.080	0.176	0.006	
42		0.40 × 0.30	0.12	0.080	0.232	0.010	
43		0.15 × 0.20	0.03	0.080	0.086	0.002	
44		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
45		0.10 × 0.40	0.04	0.080	0.120	0.003	
46		0.05 × 0.10	0.01	0.080	0.029	0.001	
47		0.30 × 0.80	0.24	0.080	0.416	0.019	
48		0.15 × 0.20	0.03	0.080	0.086	0.002	
	小計		2.85		6.395	0.227	ケレン・防錆:有

T	桁下面(1径間)						
1		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
2		0.10 × 0.05	0.01	0.080	0.029	0.001	
3		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
4		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
5		0.20 × 0.15	0.03	0.080	0.086	0.002	
6		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
7		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
8		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
9		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
10		0.10 × 0.05	0.01	0.080	0.029	0.001	
11		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
12		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
13		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
14		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
15		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
16		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
17		0.20 × 0.15	0.03	0.080	0.086	0.002	
18		0.30 × 0.40	0.12	0.080	0.232	0.010	
19		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
20		0.45 × 0.10	0.05	0.080	0.133	0.004	
21		0.65 × 0.30	0.20	0.080	0.347	0.016	
22		0.50 × 0.05	0.03	0.080	0.113	0.002	
23		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
24		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
25		0.20 × 0.10	0.02	0.080	0.068	0.002	
26		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
27		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
28		0.05 × 0.10	0.01	0.080	0.029	0.001	
29		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
30		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
31		0.20 × 0.85	0.17	0.080	0.338	0.014	
32		0.20 × 0.80	0.16	0.080	0.320	0.013	
33		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
34		0.36 × 0.18	0.06	0.080	0.151	0.005	
35		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
36		0.23 × 0.22	0.05	0.080	0.123	0.004	
37		0.10 × 0.30	0.03	0.080	0.094	0.002	
38		0.10 × 0.40	0.04	0.080	0.120	0.003	
39		0.40 × 0.30	0.12	0.080	0.232	0.010	
40		0.60 × 0.30	0.18	0.080	0.324	0.014	
41		0.40 × 0.60	0.24	0.080	0.400	0.019	
42		0.30 × 0.60	0.18	0.080	0.324	0.014	
43		0.10 × 0.30	0.03	0.080	0.094	0.002	
44		0.30 × 0.20	0.06	0.080	0.140	0.005	
45		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
46		0.20 × 0.15	0.03	0.080	0.086	0.002	
47		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
48		0.30 × 0.30	0.09	0.080	0.186	0.007	
49		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
50		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
51		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
52		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	

53		0.35 × 0.05	0.02	0.080	0.082	0.002	
54		0.35 × 0.20	0.07	0.080	0.158	0.006	
55		0.35 × 0.15	0.05	0.080	0.133	0.004	
56		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
57		0.20 × 0.35	0.07	0.080	0.158	0.006	
58		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
	小計		2.53		5.570	0.209	ケレン・防錆:有

M	桁下面(1径間)						
1		0.20 × 0.25	0.05	0.080	0.122	0.004	
2		0.70 × 0.70	0.49	0.080	0.714	0.039	
3		0.15 × 0.25	0.04	0.080	0.102	0.003	
4		0.20 × 0.35	0.07	0.080	0.158	0.006	
5		0.20 × 0.50	0.10	0.080	0.212	0.008	
	小計		0.75		1.308	0.060	ケレン・防錆:有
U	桁下面(2径間)						
1		5.00 × 0.40	2.00	0.080	2.864	0.160	
2		0.20 × 0.70	0.14	0.080	0.284	0.011	
3		0.35 × 0.20	0.07	0.080	0.158	0.006	
4		0.55 × 0.80	0.44	0.080	0.656	0.035	
5		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
6		0.30 × 0.45	0.14	0.080	0.255	0.011	
7		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
8		0.40 × 0.20	0.08	0.080	0.176	0.006	
9		0.30 × 0.20	0.06	0.080	0.140	0.005	
10		0.20 × 0.15	0.03	0.080	0.086	0.002	
11		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
12		0.30 × 0.20	0.06	0.080	0.140	0.005	
13		0.15 × 0.80	0.12	0.080	0.272	0.010	
14		0.25 × 0.50	0.13	0.080	0.245	0.010	
15		0.20 × 0.45	0.09	0.080	0.194	0.007	
16		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
17		0.60 × 0.90	0.54	0.080	0.780	0.043	
18		3.05 × 0.60	1.83	0.080	2.414	0.146	
19		0.30 × 0.20	0.06	0.080	0.140	0.005	
20		2.20 × 0.40	0.88	0.080	1.296	0.070	
21		0.40 × 0.30	0.12	0.080	0.232	0.010	
22		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
23		0.30 × 0.20	0.06	0.080	0.140	0.005	
	小計		6.98		10.864	0.558	ケレン・防錆:有
T	桁下面(2径間)						
1		0.05 × 0.10	0.01	0.080	0.029	0.001	
2		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
3		0.20 × 0.40	0.08	0.080	0.176	0.006	
4		0.40 × 0.20	0.08	0.080	0.176	0.006	
5		0.30 × 0.20	0.06	0.080	0.140	0.005	
6		0.15 × 0.10	0.02	0.080	0.055	0.002	
7		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
8		0.25 × 0.10	0.03	0.080	0.081	0.002	
9		0.10 × 0.20	0.02	0.080	0.068	0.002	
10		0.10 × 0.40	0.04	0.080	0.120	0.003	
11		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
12		0.40 × 0.20	0.08	0.080	0.176	0.006	
13		0.30 × 0.15	0.05	0.080	0.117	0.004	
14		0.05 × 0.40	0.02	0.080	0.092	0.002	
15		0.10 × 0.20	0.02	0.080	0.068	0.002	
16		0.20 × 0.25	0.05	0.080	0.122	0.004	
17		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
18		0.10 × 0.20	0.02	0.080	0.068	0.002	

19		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
20		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
21		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
22		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
23		0.10 × 0.20	0.02	0.080	0.068	0.002	
24		0.25 × 0.10	0.03	0.080	0.081	0.002	
25		0.55 × 0.10	0.06	0.080	0.159	0.005	
26		0.10 × 0.15	0.02	0.080	0.055	0.002	
27		0.30 × 0.10	0.03	0.080	0.094	0.002	
28		0.25 × 0.20	0.05	0.080	0.122	0.004	
29		0.15 × 0.25	0.04	0.080	0.102	0.003	
30		0.15 × 0.05	0.01	0.080	0.040	0.001	
31		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
32		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
33		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
34		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
35		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
36		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
37		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
38		0.25 × 0.40	0.10	0.080	0.204	0.008	
39		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
40		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
41		0.25 × 0.20	0.05	0.080	0.122	0.004	
42		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
小計			1.18		3.044	0.099	ケレン・防錆:有

M	桁下面 (2径間)						
1		0.10 × 1.40	0.14	0.080	0.380	0.011	
	小計		0.14		0.380	0.011	ケレン・防錆:有
U	桁下面 (3径間)						
1		0.10 × 0.20	0.02	0.080	0.068	0.002	
2		0.15 × 0.10	0.02	0.080	0.055	0.002	
3		0.30 × 0.60	0.18	0.080	0.324	0.014	
4		0.80 × 1.20	0.96	0.080	1.280	0.077	
5		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
6		0.30 × 0.30	0.09	0.080	0.186	0.007	
7		0.50 × 0.50	0.25	0.080	0.410	0.020	
8		0.30 × 0.60	0.18	0.080	0.324	0.014	
9		0.20 × 0.80	0.16	0.080	0.320	0.013	
10		0.20 × 0.60	0.12	0.080	0.248	0.010	
	小計		2.02		3.319	0.162	ケレン・防錆:有
T	桁下面 (3径間)						
1		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
2		0.05 × 0.20	0.01	0.080	0.050	0.001	
3		0.15 × 0.40	0.06	0.080	0.148	0.005	
4		0.05 × 0.20	0.01	0.080	0.050	0.001	
5		0.05 × 0.35	0.02	0.080	0.082	0.002	
6		0.15 × 0.35	0.05	0.080	0.133	0.004	
7		0.10 × 0.20	0.02	0.080	0.068	0.002	
8		0.05 × 0.15	0.01	0.080	0.040	0.001	
9		0.05 × 0.15	0.01	0.080	0.040	0.001	
10		0.10 × 0.20	0.02	0.080	0.068	0.002	
11		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
12		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
	小計		0.27		0.821	0.024	ケレン・防錆:有
S	桁下面 (3径間)						
1		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
	小計		0.01		0.019	0.001	ケレン・防錆:有
M	桁下面 (3径間)						
1		0.40 × 1.00	0.40	0.080	0.624	0.032	
2		0.20 × 0.90	0.18	0.080	0.356	0.014	
	小計		0.58		0.980	0.046	ケレン・防錆:有
U	横桁						
1		0.28 × 0.12	0.03	0.080	0.098	0.002	
2		0.80 × 0.20	0.16	0.080	0.320	0.013	
3		1.20 × 0.15	0.18	0.080	0.396	0.014	
4		1.20 × 0.20	0.24	0.080	0.464	0.019	
5		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
6		0.20 × 0.35	0.07	0.080	0.158	0.006	
7		0.20 × 0.95	0.19	0.080	0.374	0.015	
8		0.15 × 1.20	0.18	0.080	0.396	0.014	
9		0.15 × 0.20	0.03	0.080	0.086	0.002	
10		0.15 × 0.95	0.14	0.080	0.319	0.011	
	小計		1.26		2.715	0.099	ケレン・防錆:有

T	横桁						
1		0.12 × 0.10	0.01	0.080	0.047	0.001	
2		0.39 × 0.12	0.05	0.080	0.128	0.004	
3		0.24 × 0.17	0.04	0.080	0.106	0.003	
4		0.39 × 0.12	0.05	0.080	0.128	0.004	
5		0.24 × 0.17	0.04	0.080	0.106	0.003	
6		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
7		0.10 × 0.30	0.03	0.080	0.094	0.002	
8		1.20 × 0.15	0.18	0.080	0.396	0.014	
9		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
10		1.20 × 0.11	0.13	0.080	0.342	0.010	
11		1.20 × 0.11	0.13	0.080	0.342	0.010	
12		1.20 × 0.11	0.13	0.080	0.342	0.010	
13		1.20 × 0.11	0.13	0.080	0.342	0.010	
14		0.10 × 0.30	0.03	0.080	0.094	0.002	
15		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
16		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
17		1.20 × 0.11	0.13	0.080	0.342	0.010	
18		0.20 × 0.10	0.02	0.080	0.068	0.002	
19		0.20 × 0.10	0.02	0.080	0.068	0.002	
20		0.20 × 0.35	0.07	0.080	0.158	0.006	
21		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
22		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
23		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
24		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
25		0.55 × 0.10	0.06	0.080	0.159	0.005	
26		0.20 × 0.10	0.02	0.080	0.068	0.002	
27		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
	小計		1.37		3.645	0.110	ケレン・防錆:有
M	横桁						
1		0.49 × 0.12	0.06	0.080	0.156	0.005	
2		0.15 × 0.50	0.08	0.080	0.179	0.006	
3		0.15 × 0.90	0.14	0.080	0.303	0.011	
4		0.10 × 0.30	0.03	0.080	0.094	0.002	
	小計		0.31		0.732	0.024	ケレン・防錆:有
U	A1橋台						
1		0.40 × 0.25	0.10	0.080	0.204	0.008	
2		0.52 × 0.31	0.16	0.080	0.294	0.013	
3		1.23 × 0.55	0.68	0.080	0.961	0.054	
4		0.70 × 0.23	0.16	0.080	0.310	0.013	
	小計		1.10		1.769	0.088	ケレン・防錆:有
T	P1橋脚						
1		0.30 × 0.15	0.05	0.080	0.117	0.004	
2		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
3		0.10 × 0.10	0.01	0.080	0.042	0.001	
4		0.50 × 0.90	0.45	0.080	0.674	0.036	
5		0.40 × 0.20	0.08	0.080	0.176	0.006	
6		0.15 × 0.10	0.02	0.080	0.055	0.002	
	小計		0.62		1.106	0.050	ケレン・防錆:有

SE	P1橋脚						
1		0.20 × 0.80	0.16	0.200	0.560	0.032	
2		0.15 × 4.00	0.60	0.200	2.260	0.120	
	小計		0.76		2.820	0.152	ケレン・防錆:有
U	P2橋脚						
1		0.20 × 0.70	0.14	0.080	0.284	0.011	
	小計		0.14		0.284	0.011	ケレン・防錆:有

T	P2橋脚						
1		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
2		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
3		0.20 × 0.20	0.04	0.080	0.104	0.003	
4		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
5		0.05 × 0.10	0.01	0.080	0.029	0.001	
6		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
7		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
	小計		0.11		0.280	0.010	ケレン・防錆:有
S	P2橋脚						
1		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
2		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
3		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
4		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
5		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
6		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
7		0.05 × 0.05	0.01	0.080	0.019	0.001	
	小計		0.07		0.133	0.007	ケレン・防錆:有
SE	P2橋脚						
1		0.40 × 0.15	0.06	0.200	0.280	0.012	
2		0.40 × 0.15	0.06	0.200	0.280	0.012	
	小計		0.12		0.560	0.024	ケレン・防錆:有
U	A2橋台						
1		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
2		0.20 × 0.10	0.02	0.080	0.068	0.002	
	小計		0.04		0.139	0.004	ケレン・防錆:有
U	親柱						
1		0.54 × 0.55	0.30	0.080	0.471	0.024	
2		0.54 × 0.55	0.30	0.080	0.471	0.024	
3		0.54 × 0.55	0.30	0.080	0.471	0.024	
4		0.35 × 0.55	0.19	0.080	0.337	0.015	
	小計		1.09		1.750	0.087	ケレン・防錆:有
T	親柱						
1		0.50 × 0.10	0.05	0.080	0.146	0.004	
	小計		0.05		0.146	0.004	ケレン・防錆:有
K	親柱						
1		0.05 × 0.20	0.01	0.080	0.050	0.001	
2		0.15 × 0.15	0.02	0.080	0.071	0.002	
3		0.35 × 0.05	0.02	0.080	0.082	0.002	
	小計		0.05		0.203	0.005	ケレン・防錆:有
鉄筋ケレン・防錆処理を含む合計			24.40		48.982	2.072	
鉄筋ケレン・防錆処理を含まない合計							
	合計		24.40		48.982	2.072	

4 表面処理工（表面含浸工）

4.1 表面含浸工（亜硝酸リチウム併用型シラン系表面含浸材）

（１） 下地処理工（サンダーケレン）

$$A = 530.115 = 530.115 \text{ m}^2$$

（２） 含浸材塗布工（亜硝酸リチウム系表面含浸材）

$$A = 530.115 = 530.115 \text{ m}^2$$

（３） 含浸材（亜硝酸リチウム系表面含浸材）

$$W = 530.115 \times 0.30 \times 1.100 = 174.938 \text{ kg}$$

標準使用量

（４） 含浸材塗布工（シラン系表面含浸材）

$$A = 530.115 = 530.115 \text{ m}^2$$

（５） 含浸材（シラン系表面含浸材）

$$W = 530.115 \times 0.18 \times 1.100 = 95.421 \text{ kg}$$

標準使用量

4.2 表面処理工数量計算書

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m)	面数	面積 (m ²)	備 考
P	桁下面 (1径間)				
1		0.433 × 11.465	1	4.964	
2		0.650 × 11.465	2	14.905	
3		0.400 × 11.090	4	17.744	
4		0.645 × 5.635	6	21.807	
5		0.645 × 5.630	6	21.788	
8		$1/2 \times (0.860 + 1.200) \times 0.100$	12	1.236	
9		$1/2 \times (5.185 + 5.385) \times 0.179$	6	5.676	
10		$1/2 \times (5.305 + 5.505) \times 0.179$	6	5.805	
11		0.860 × 5.185	3	13.377	
12		0.860 × 5.305	3	13.687	
13		0.572 × 11.465	1	6.558	
14		$-\pi/4 \times 0.050^2$	2	-0.004	
	小計			127.543	
P	桁下面 (2径間)				
1		0.433 × 10.970	1	4.750	
2		0.650 × 10.970	2	14.261	
3		0.400 × 10.720	4	17.152	
4		0.645 × 5.385	12	41.680	
6		$1/2 \times (0.860 + 1.200) \times 0.100$	12	1.236	
7		$1/2 \times (5.060 + 5.260) \times 0.179$	12	11.084	
8		0.860 × 5.060	6	26.110	
9		0.572 × 10.970	1	6.275	
10		$-\pi/4 \times 0.050^2$	4	-0.008	
	小計			122.540	
P	桁下面 (3径間)				
1		0.433 × 11.465	1	4.964	
2		0.650 × 11.465	2	14.905	
3		0.400 × 11.090	4	17.744	
4		0.645 × 5.635	6	21.807	
5		0.645 × 5.630	6	21.788	
8		$1/2 \times (0.860 + 1.200) \times 0.100$	12	1.236	
9		$1/2 \times (5.185 + 5.385) \times 0.179$	6	5.676	
10		$1/2 \times (5.305 + 5.505) \times 0.179$	6	5.805	
11		0.860 × 5.185	3	13.377	
12		0.860 × 5.305	3	13.687	
13		0.572 × 11.465	1	6.558	
14		$-\pi/4 \times 0.050^2$	2	-0.004	
	小計			127.543	
P	横桁				
1		$1/2 \times (0.860 + 1.200) \times 0.055$	36		(桁下重複控除)
2		0.545 × 1.200	36	23.544	
3		0.250 × 1.200	6	1.800	
4		0.200 × 1.200	9	2.160	
5		0.110 × 1.200	12	1.584	
	小計			29.088	

P	P1橋脚				
1		$\pi/4 \times 1.050^2$	1	0.866	
2		1.050×5.450	1	5.723	
3		$\pi \times 1.050 \times 0.440$	1	1.451	
4		$\pi \times 1/2 \times (1.050 + 0.800)$			
		$\times 0.160$	1	0.465	
5		$\pi \times 0.800$			
		$\times 1/2 \times (3.710 + 3.720)$	1	9.337	
6		$1/2 \times (5.477 + 5.450) \times 0.440$	2	4.808	
7		$1/2 \times (5.477 + 5.483) \times 0.160$	2	1.754	
8		$1/2 \times (5.483 + 5.720) \times 3.715$	2	41.619	
9		-0.414×0.515	8	-1.706	
	小計			64.317	
P	P2橋脚				
1		$\pi/4 \times 1.050^2$	1	0.866	
2		1.050×5.450	1	5.723	
3		$\pi \times 1.050 \times 0.400$	1	1.319	
4		$\pi \times 1/2 \times (1.050 + 0.800)$			
		$\times 0.160$	1	0.465	
5		$\pi \times 0.800$			
		$\times 1/2 \times (3.350 + 3.400)$	1	8.482	
6		$1/2 \times (5.477 + 5.450) \times 0.400$	2	4.371	
7		$1/2 \times (5.477 + 5.483) \times 0.160$	2	1.754	
8		$1/2 \times (5.483 + 5.720) \times 3.375$	2	37.810	
9		-0.414×0.515	8	-1.706	
	小計			59.084	
	合計			530.115	

5 橋梁地覆補修工

5.1 チッピング (厚2cm以下)

$$a = (11.465 + 10.970 + 11.465) \times 0.300 \times 2 = 20.340 \text{ m}^2$$

5.2 鉄筋探査工

(1) 下向き

$$A = (11.465 + 10.970 + 11.465) \times 0.300 \times 2 = 20.340 \text{ m}^2$$

5.3 コンクリート削孔工

(1) 削孔径φ10mm以上～30mm未満 電動ハンマードリル 30mm以上200mm未満

1) φ16×110

$$N = (96 + 92 + 96) \times 2 = 568 \text{ 孔}$$

5.4 アンカー工 (接着系アンカー)

(1) D13×100 (ケミカルアンカーR-12N同等品以上)

$$N = 568 = 568 \text{ 本}$$

5.5 鉄筋 (SD345)

(1) D13

$$W = 246 + 236 + 246 = 728 \text{ kg}$$

5.6 型枠 (一般型枠 鉄筋コンクリート)

$$a1 = (0.400 + 0.400) \times 11.465 \times 2 = 18.344 \text{ m}^2$$

$$a2 = (0.400 + 0.400) \times 10.970 \times 2 = 17.552 \text{ m}^2$$

$$a3 = (0.400 + 0.400) \times 11.465 \times 2 = 18.344 \text{ m}^2$$

$$a4 = 0.400 \times 0.300 \times 2 \times 2 \times 3 = 1.440 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 55.680 \text{ m}^2$$

5.7 コンクリート ($\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$)

$$\begin{aligned}
 v1 &= 0.300 \times 0.400 \times 11.465 \times 2 & = 2.752 \text{ m}^3 \\
 v2 &= 0.300 \times 0.400 \times 10.970 \times 2 & = 2.633 \text{ m}^3 \\
 v3 &= 0.300 \times 0.400 \times 11.465 \times 2 & = 2.752 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= & 8.137 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

5.8 Vカット目地

$$N = 8 \times 2 = 16 \text{ 箇所}$$

5.9 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

$$\begin{aligned}
 v2 &= \pi/4 \times 0.016^2 \times 0.110 \times 568 & = 0.013 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= & 0.013 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

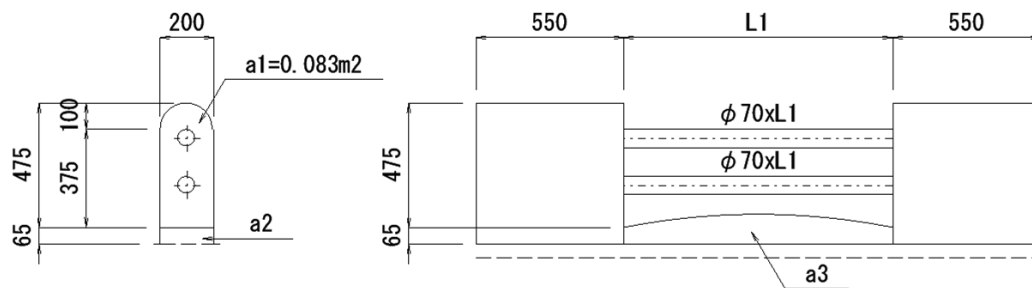
5.10 殻処分 (がれき類)

$$V = 0.013 = 0.013 \text{ m}^3$$

$$W = 0.013 \times 2.35\text{t} = 0.031 \text{ t}$$

6 橋梁用防護柵撤去工

6.1 橋梁用防護柵撤去



L1 及び 鋼製ビーム φ70延長

第1径間 1.000 m × 6 箇所 1.065 m × 1 箇所

第2径間 0.950 m × 6 箇所 0.870 m × 1 箇所

第3径間 1.000 m × 6 箇所 1.065 m × 1 箇所

a3

第1径間 0.098 m² × 6 箇所 0.105 m² × 1 箇所

第2径間 0.094 m² × 6 箇所 0.086 m² × 1 箇所

第3径間 0.098 m² × 6 箇所 0.105 m² × 1 箇所

6.2 既設防護柵撤去 (高欄撤去)

$$\begin{aligned}
 v1 &= (\overset{a1}{0.083} + \overset{a2}{0.065} \times 0.200) \times 0.550 \times 8 \times 2 = 0.845 \text{ m}^3 \\
 v2 &= (0.083 + 0.065 \times 0.200) \times 0.550 \times 8 \times 2 = 0.845 \text{ m}^3 \\
 v3 &= (0.083 + 0.065 \times 0.200) \times 0.550 \times 8 \times 2 = 0.845 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma v &= 2.535 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 v4 &= (\overset{a3}{0.098} \times 6 + \overset{a3}{0.105} \times 1) \times 0.200 \times 2 = 0.277 \text{ m}^3 \\
 v5 &= (0.094 \times 6 + 0.086 \times 1) \times 0.200 \times 2 = 0.260 \text{ m}^3 \\
 v6 &= (0.098 \times 6 + 0.105 \times 1) \times 0.200 \times 2 = 0.277 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma v &= 0.814 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$\Sigma V = 2.535 + 0.814 = 3.349 \text{ m}^3$$

6.3 既設防護柵撤去 (鋼製ビーム φ70)

$$\begin{aligned}
 L1 &= (1.000 \times 6 + 1.065 \times 1) \times 2 \times 2 &= 28.260 \text{ m} \\
 L2 &= (0.950 \times 6 + 0.870 \times 1) \times 2 \times 2 &= 26.280 \text{ m} \\
 L3 &= (1.000 \times 6 + 1.065 \times 1) \times 2 \times 2 &= 28.260 \text{ m} \\
 \hline
 \Sigma L &= 82.800 \text{ m} \\
 W &= 82.800 \times 3.300 \text{ kg / m} &= 273.240 \text{ kg}
 \end{aligned}$$

6.4 既設支柱跡処理

(1) カッター切断 (コンクリート構造物)

$$L = (11.465 + 10.970 + 11.465) \times 2 = 67.800 \text{ m}$$

※ カッター必要幅は既設支柱から5cmの余裕幅を見込んで算出を行った。

6.5 構造物とりこわし工 (鉄筋構造物 人力施工)

$$V = 3.349 = 3.349 \text{ m}^3$$

6.6 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

$$v1 = 3.349 = 3.349 \text{ m}^3$$

6.7 殻処分 (がれき類)

$$V = 3.349 = 3.349 \text{ m}^3$$

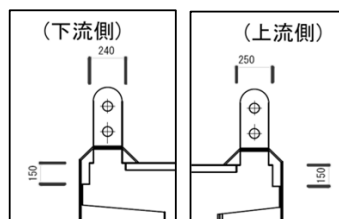
$$W = 3.349 \times 2.35 \text{ t} = 7.870 \text{ t}$$

7 既設地覆撤去工

7.1 地覆撤去

$$\begin{aligned}
 a &= 0.150 \times 0.240 + 0.150 \times 0.250 = 0.074 \text{ m}^2 \\
 v1 &= 0.074 \times 33.960 = 2.513 \text{ m}^3 \\
 v2 &= 0.074 \times 33.960 = 2.513 \text{ m}^3 \\
 v3 &= 0.074 \times 33.960 = 2.513 \text{ m}^3 \\
 \Sigma v &= 7.539 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

(資料) 地覆現況図



7.2 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

$$v1 = 7.539 = 7.539 \text{ m}^3$$

7.3 殻処分 (がれき類)

$$V = 7.539 = 7.539 \text{ m}^3$$

$$W = 7.539 \times 2.35 \text{ t} = 17.717 \text{ t}$$

8 伸縮部補修工（舗装版クラック補修工）

8.1 クラック抑制シート

(1) 車道部 ~~（ガラス基材 b=20cm）~~

$$L = 5.600 \times 2$$

$$= 11.200 \text{ m}$$

(2) 車道部 （ガラス基材 b=30cm）

$$L = 5.600 \times 4$$

$$= 22.400 \text{ m}$$

8.2 クラック防止シート張 （クラック抑制シート）

$$L = 0.000 + 22.400$$

$$= 22.400 \text{ m}$$

9 路面取壊し工

9.1 舗装版破碎・切断

(1) 舗装版破碎 15cm以下

$$A = 11.465 \times 5.600 \times 2 + 10.970 \times 5.600 = 189.840 \text{ m}^2$$

(2) 舗装版切断 15cm以下

$$L = 6.200 \times 2.000 = 12.400 \text{ m}$$

9.2 殻運搬

$$v = 189.840 \times 0.140 = 26.578 \text{ m}^3$$

9.3 殻処分 (がれき類)

$$V = 26.578 = 26.578 \text{ m}^3$$

$$W = 26.578 \times 2.35\text{t} = 62.458 \text{ t}$$

10 橋面防水工

10.1 橋面防水

(1) 塗膜系アスファルト加熱型防水層

$$A = 11.465 \times 5.600 \times 2 + 10.970 \times 5.600 = 189.840 \text{ m}^2$$

10.2 ドレーン材

(1) スプリング管 (φ18) (縦断排水管)

$$\text{第1径間 } L1 = 0.537 + 10.853 + 0.586 + 10.804 = 22.780 \text{ m}$$

$$\text{第2径間 } L1 = (0.720 + 9.495 + 0.705) \times 2 = 21.840 \text{ m}$$

$$\text{第3径間 } L1 = 10.842 + 0.548 + 10.890 + 0.499 = 22.779 \text{ m}$$

$$\Sigma L1 = 22.780 + 21.840 + 22.779 = 67.399 \text{ m}$$

(2) スプリング管 (φ18) (横断排水管)

$$L1 = 5.668 \times 2 \times 3 = 34.008 \text{ m}$$

10.3 目地工

(1) 成型目地材 (b=30mm・t=5mm)

$$\text{第1径間 } L1 = (11.465 + 5.771) \times 2 = 34.472 \text{ m}$$

$$\text{第2径間 } L1 = (10.970 + 5.771) \times 2 = 33.482 \text{ m}$$

$$\text{第3径間 } L1 = (11.465 + 5.771) \times 2 = 34.472 \text{ m}$$

$$\Sigma L1 = 34.472 + 33.482 + 34.472 = 102.426 \text{ m}$$

11 アスファルト舗装工

11.1

表層工 (t=150mm)

表層（車道・路肩部）（再生密粒度As(20) t=5cm PK-4)

基層（車道・路肩部）（再生粗粒度As(20) t=5cm PK-4）

基層（車道・路肩部）（再生粗粒度As(20) t=5cm 瀝青材無し）

$$A = 11.465 \times 5.600 \times 2 + 10.970 \times 5.600 = 189.840 \text{ m}^2$$

12 伸縮部補修工（目地材充填）

12.1 下地処理工（遊間部清掃）

$$L = 6.200 + 6.200 + 6.200 + 6.200 = 24.800 \text{ m}$$

12.2 目地材充填（ゴム状高弾性目地材）

~~-(1)-~~ 20×40mm

$$L1 = 6.200 + 6.200 = 12.400 \text{ m}$$

(2) 30×60mm

$$L1 = 6.200 + 6.200 + 6.200 + 6.200 = 24.800 \text{ m}$$

12.3 バックアップ材（ウレタンフォーム）

~~-(1)-~~ 20×40mm

$$L = 12.400 = 12.400 \text{ m}$$

$$V1 = 12.400 \times 0.020 \times 0.040 \times 1000 \text{ ℓ/m}^3 = 9.920 \text{ ℓ}$$

(2) 30×60mm

$$L = 24.800 = 24.800 \text{ m}$$

$$V1 = 24.800 \times 0.030 \times 0.060 \times 1000 \text{ ℓ/m}^3 = 44.640 \text{ ℓ}$$

13 水切り工

13.1 水切り材 (EPDM系ゴム製水切り材 W25×H20mm)

$$L = (11.465 + 10.970 + 11.465) \times 2 = 67.800 \text{ m}$$

13.2 下地処理

$$A = 67.800 \times 0.025 = 1.695 \text{ m}^2$$

13.3 接着剤塗布 (エポキシ樹脂系接着剤)

$$A = 67.800 \times 0.025 = 1.695 \text{ m}^2$$

14 防護柵補修工（ガードレール設置）

14.1 部材設置（B種 ガードレール）

（１） 設置延長

$$L = 34.000 + 34.000 = 68.000 \text{ m}$$

（２） 4mビーム

$$N = 8 + 8 = 16 \text{ 枚}$$

（３） 2mビーム

$$N = 2 + 2 = 4 \text{ 枚}$$

（４） 巻き袖ビーム

$$N = 2 + 2 = 4 \text{ 枚}$$

（５） 2m用笠木

$$N = 2 + 2 = 4 \text{ 枚}$$

（６） 4m用笠木

$$N = 8 + 8 = 16 \text{ 枚}$$

（７） 袖笠木

$$N = 2 + 2 = 2 \text{ 枚}$$

15 排水管補修工（ステンレス排水管）

15.1 取付金具 (SS400)

$$N = 8 = 8 \text{ 組}$$

15.2 ボルト・ナット (M12×45)

$$N = 8 \times 4 = 32 \text{ 組}$$

15.3 アンカーボルト (M12×100)

$$N = 8 \times 2 = 16 \text{ 本}$$

15.4 EPDM (100×3×160)

$$N = 8 \times 2 = 16 \text{ 枚}$$

15.4 鉄筋探索工 (横向き)

$$A = 0.5000 \times 0.5000 \times 16 = 4.000 \text{ m}^2$$

15.5 排水管 K-1

(1) プレート SUS304

$$1) \quad 250 \times 175 \quad N = 1$$

$$W = 1 \times 0.7 = 0.7 \text{ kg}$$

(2) 排水管 SUS304

$$1) \quad \phi 102 \times 1269 \quad N = 1$$

$$W = 1 \times 3.1 = 3.1 \text{ kg}$$

(3) アンカーボルト(ずん切) SUS304

$$1) \quad M10 \times 120 \quad (1\text{-SW, } 1\text{-W, } 2\text{-N})$$

$$N = 4 = 4 \text{ 本}$$

$$\Sigma W = 0.70 + 3.1 = 3.8 \text{ kg}$$

15.6 排水管 K-2

(1) プレート SUS304

$$1) \quad 200 \times 200 \quad N = 1$$

$$W = 1 \times 0.6 = 0.6 \text{ kg}$$

(2) 排水管 SUS304

$$1) \quad \phi 102 \times 1147 \quad N = 1$$

$$W = 1 \times 2.8 = 2.8 \text{ kg}$$

(3) アンカーボルト(ずん切) SUS304

$$1) \quad M10 \times 120 \quad (1\text{-SW}, 1\text{-W}, 2\text{-N})$$

$$N = 4 = 4 \text{ 本}$$

$$\Sigma W = 0.60 + 2.8 = 3.4 \text{ kg}$$

16 構造物取壊し工

16.1 鉄筋探査工

(1) 下向き

1) 橋梁地覆補修工

$$A = 20.340 = 20.340 \text{ m}^2$$

16.2 コンクリート削孔工

(1) 削孔径φ10mm以上～30mm未満 電動ハンマードリル 30mm以上200mm未満

1) 橋梁地覆補修工

$$N = 568 = 568 \text{ 孔}$$

16.3 構造物とりこわし工

(1) 鉄筋構造物 人力施工

1) 高欄撤去

$$V = 3.349 = 3.349 \text{ m}^3$$

17 運搬処理工

17.1 殻運搬

※ 運搬は、「運搬距離10km DID区間:無し」程度を想定。

(1) コンクリート構造物 人力積込

1) 断面修復工 (左官工法) (無筋)

$$V = 2.072 \quad \begin{array}{r} = 2.072 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V1 = 2.072 \text{ m}^3 \end{array}$$

2) 橋梁地覆補修工 (有筋)

$$V = 7.539 + 0.013 \quad \begin{array}{r} = 7.552 \text{ m}^3 \\ \hline \end{array}$$

3) 高欄撤去 (有筋)

$$V = 3.349 \quad \begin{array}{r} = 3.349 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V2 = 10.901 \text{ m}^3 \end{array}$$

17.2 殻処分

AS	=	189.8	x	0.140		=	26.6 m ³
					(2.35t/m3)	=	62.46 t
C0無筋	=	2.072				=	2.10 m ³
					(2.35t/m3)	=	4.9 t
C0有筋	=	10.901				=	10.90 m ³
					(2.5t/m3)	=	27.3 t

18 土のう工

(P1橋脚)

18.1 土のう積 (小口並べ 62×48cm)

(1) 仕拵

$$\begin{aligned} A &= 7.600 \times 3.200 &= 24.320 \text{ m}^2 \\ & &= 24.000 \end{aligned}$$

(2) 積立

$$A1 = 7.600 \times 3.200 = 24.320 \text{ m}^2$$

(3) 撤去

$$A1 = 7.600 \times 3.200 = 24.320 \text{ m}^2$$

土のう工

(P2橋脚)

.18.2 土のう積 (小口並べ 62×48cm)

(1) 仕拵

$$A = 5.300 \times 3.200 = 16.960 \text{ m}^2$$

(2) 積立

$$A = 5.300 \times 3.200 = 16.960 \text{ m}^2$$

(3) 撤去

$$A1 = 5.300 \times 3.200 = 16.960 \text{ m}^2$$

19 仮設足場工

19.1 吊足場

(1) 吊足場 (TYPE A1 吊足場 桁高 $h < 1.5$)

$$a1 = 6.200 \times 9.400 \times 2 = 116.560 \text{ m}^2$$

$$a2 = 6.200 \times 7.900 = 48.980 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 165.540 \text{ m}^2$$

(2) 床面シート張防護設置 (TYPE A1-3 床面シート張防護設置時)

$$A = 165.5 = 165.540 \text{ m}^2$$

(3) 朝顔 (TYPE B 朝顔(両側))

$$A = 165.5 = 165.540 \text{ m}^2$$

(4) 防護工 (TYPE B シート張防護工(両側))

$$A = 165.5 = 165.540 \text{ m}^2$$

19.2 片側朝顔防護足場 (TYPE E シート+板張防護 両側施工)

$$a1 = 1.460 \times 9.400 \times 4 = 54.896 \text{ m}^2$$

$$a2 = 1.460 \times 7.900 \times 2 = 23.068 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 77.964 \text{ m}^2$$

19.3 橋脚回り足場 (TYPE F)

(1) 橋脚回り足場

$$A = (4.610 + 3.930) \times 8.550 = 73.017 \text{ m}^2$$

(2) 床面シート張防護設置 (床面シート張防護設置時)

$$A = 73.017 = 73.017 \text{ m}^2$$

(3) 手摺部防護工 (TYPE F 手摺部シート張防護)

$$A = 73.017 = 73.017 \text{ m}^2$$